



令和元年度  
研究成果報告書

総合的な学習・探究の時間  
真庭トライ&レポート (TR) まとめ冊子  
岡山県立真庭高等学校 (落合校地)

## 【目次】

1. 巻頭言	1
2. 総合的な学習・探究の時間 全体計画・評価表	2～4
・平成31年度 総合的な探究の時間 全体計画(1年)	
・平成31年度 総合的な学習の時間 全体計画(2・3年)	
・真庭トライ&レポート評価表	
3. 令和2年度真庭トライ&レポート成果発表会【令和2年2月7日(金)】	5～15
・レジュメ	
・参加者名簿	
・プログラム	
・講師の先生方からのおことば	
・研究協議まとめ	
・本校の取組(パワーポイント資料) *全体(ポンチ絵・外部連携) *1年生TR *2年生TR	
4. 総合的な学習・探究の時間で育った学力についてのアンケート集計結果	16
5. その他資料	17～24
・PPT作成講習会資料	
・まとめ冊子原稿作成資料	
・真庭SDGsパートナー関係資料	
6. 第1学年	25～59
・年間活動計画	
・指導用資料・ワークシート	
・1年生TR中間発表会プログラム	
・各班発表資料(パワーポイント資料)『SDGs～ MANiWA 真庭の真ん中には愛(い)がある』 [メディア][MANIWA][プロモーション]	
7. 第2学年	60～83
・年間活動計画	
・2年生TR5チャンネル各班探究テーマ一覧	
・各班発表資料(パワーポイント資料)『SDGs』 [健康][教育]国際・文化][美容・ファッション][暮らし]	
8. 第3学年	84・85
・年間活動計画	

## 巻頭言

校長 赤松一樹

本校の総合的な学習・探究の時間「真庭 Try & Report」は平成21年から始まり、本年度10回目の成果発表会を迎えた。「真庭 Try & Report」では地域をフィールドにして、地域で行動し、地域と連携し、地域に貢献することを目指して様々な探究活動に取り組んでいる。活動の中で地域の皆様方に色々とお協力いただき、生徒を育てていただいている。発表会では1年生が9つの教室に分かれて発表し、2年生が落合総合センターでスライド発表を行った。発表を見て、1年生は探究活動を通して、論理的思考力や仲間と協働する姿勢をしっかりと身につけていると感じたし、2年生はさらに表現力を高め、課題解決に向けて地道な努力を重ねている姿を見せてもらった。

今年はSDGsを1・2年生共通のテーマにあげて取り組んだ。SDGsとは国連が採択した持続可能な開発目標であるということを生徒諸君は知識として知っているであろう。しかし、それが自分達の生活とどのような関係があるかというところまで考えられているだろうか。国連が今地球上にどのような課題があるかを考えて定めた目標が17あり、その下に169の具体的な行動目標がある。物質的だけでなく精神的にも豊かに暮らしていくためには、その行動目標に照らし合わせながらどのように生きてゆけばよいのか、さらに、今だけではなくて将来にわたって、すなわち自分達だけでなく自分達の子孫の時代も豊かに暮らしていくためにはどうあればいいのかを生徒諸君が考えていくことこそSDGsの最終的な目標だと思う。そういう意味では生徒諸君が今具体的な答えをもっていないだろうし、何をしたいのかわからないだろうと思う。しかしながら、自分たちでしっかりと課題を把握して周りの人、同世代や親の世代さらには祖父母の世代、逆に自分たちより下の世代の人たちと一緒に協働しながらどうしていけばいいのか考え、それを行動に移していくことこそが大切なのである。この探究活動の中で、自分たちがこれから毎日をどのように過ごしていくことが自分たちの豊かな生活を作っていくことにつながっていくのかについて考えてもらいたい。

発表に関して、生徒諸君に大切にしてもらいたいことが2つある。1つ目は、自分達が考えてきたことをどのように「伝える」かではなくて、聞いている人に「伝わる」ためにどうしたらいいかについて工夫することを大切にしてほしい。一生懸命準備して自分たちの思いを「伝えた」つもりになっているかもしれないが、ただ一方的に話をするだけでは聞いている相手には十分「伝わらない」のである。では、「伝わる」ためにはどうしたらよいか。それはわかりやすく説明することに加えて、聞いている人がワクワクするような、面白いなと思ってもらえるような説明することである。原稿を作ることはとても大切だが、その原稿を元に自分の言葉で相手に伝えようとする意欲や努力が必要だ。2つ目は、発表を聞く態度や心構えを大切にしてほしい。聞く側の人には発表を聞きながら、これは本当にそうなのかなとか、こうすればもっと素晴らしいかな、といった具合に発表内容を自分の疑問点や自分の課題として聞いてもらいたいと思う。

最後に、発表会で御指導御助言をいただいた大学の先生方や、会場に御参集いただいた保護者そして地域の皆様に厚く感謝を申し上げ、巻頭言としたい。

# 平成31年度(1年生) 総合的な探究の時間(落合校地) 全体計画

岡山県立真庭高等学校(落合校地)

**生徒の実態**

純朴で素直な生徒が多い。学習面に苦手意識を持つ生徒が多いが、授業態度は総じて真面目であり、部活動や清掃などの諸活動に誠実に取り組むことができる。  
近年、県北中山間地域の急激な少子化により志願者が減少している。入学してくる生徒の進路希望も多様化している。

**地域・社会の実態**

真庭市は、少子高齢化という問題を抱える一方で、国内外でバイオマスタウンとしての先進的な取組が目ざされており、「地域エネルギー自給率100% 2030“SDGs”未来都市真庭の実現～持続的に発展する農山村のモデルを目指して(私がわたしらしく生きるまち)～」をタイトルとして、SDGs未来都市選定都市29の1つに選ばれている。  
学校近隣に垂水向津矢住民会メンバーで構成される「まにわ・しめ山プロジェクト」がある。

**学校の実態**

2014年9月25日付でユネスコスクールに加盟承認されており、Think Globally Act Locally - 地球的な視野で考え、地域で行動する - を本校のミッションに掲げ、高い志を持ち、広く郷土の自然や伝統・文化・産業に学び、学力を高め、探究的・体験的な学習を通して、創造力にあふれ、たくましく豊かな人間性や社会性を育て、地域や社会の発展に貢献できる実践力を身に付けた若者を育成している。

**学校における教育目標**

- (1) 知識や技術を確実に身に付け、思考力、判断力を養い、主体的に課題を解決する資質能力を持った人間を育成する。
- (2) 生涯にわたって自ら進んで学び、絶え間なく変化する社会に対応できる人間を育成する。
- (3) 社会規範を尊重し、人を思いやる心など豊かな人間性を身に付け、心身ともに健康でたくましい人間を育成する。
- (4) 郷土の伝統や文化、産業に学び、広く社会の発展に貢献できる人間を育成する。

**学校において定める目標**

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。
- (4) 学校設定教科「課題探究サポート(1学年・2学年)」での学びと結びつけて、「探究のプロセス」(①課題設定、②情報収集、③整理・分析、④まとめ・表現)と「思考のスキル」を身に付ける。

**保護者の願い**

(普通科)進学・就職と多様な進路実現に向けて、生徒一人ひとりを支援して欲しい。  
(看護科)一人前の看護師になれるようしっかりサポートして欲しい。  
社会人になるための基礎力を養成して欲しい。  
挨拶・服装・言葉遣い・時間を守ることなど、生徒の品位を向上させて欲しい。

**地域の願い**

進学実績を上げて欲しい。  
優秀な看護師を養成して欲しい。  
地域外へ進学しても、最終的には地元で働く人材を育成して欲しい。  
地域に根ざした学校であって欲しい。

**教職員の願い**

確かな学力を獲得させ、進路希望を実現させたい。  
自己指導能力を育成したい。  
持続可能な地域社会をつくるユネスコスクールとしてのグローバルな人材を育成したい。  
安全で安心な学習環境を整備したい。

**学校において定める内容**

名称「真庭トライ&レポート(略称:TR)」 トライ:実体験を重視する, レポート:必ず発表に結びつける(成果発表会・まとめ冊子・外部コンテストやイベントへの参加)

<p>目標を実現するにふさわしい探究課題</p> <p>地域の課題に対して、五感を通じた体験活動を積み重ねることによって、改善策・解決策について考える。 体験活動においては、質と量の向上を心がける。(体験の量を増やして質の向上を図る)</p> <p>1学年:課題別グループ探究活動 学校周辺の地域の課題について考える。</p> <p>2学年前期:修学旅行を利用した職場体験学習 2学年後期:課題別グループ探究活動 真庭市全体の地域の課題について考える。</p> <p>3学年:進路別課題探究活動 進路希望に応じて、地域(学校周辺・真庭市・岡山県・日本・アジアなど)の課題について考える。</p>	<p>探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力</p>			
	<p>論理的思考力</p> <p>「インプット(聞く・読む)時」 「アウトプット(話す・書く)時」に、シンキングツールを積極的に活用できる。</p> <p>「聞いたことや読んだこと」を、分かりやすくまとめて、論理的に伝えることができる。</p>	<p>協働性</p> <p>みんなで協力できる。 各自の強みを生かして分担できる。 集団で意見を出し合える。</p>	<p>ねばり強さ</p> <p>「失敗＝×」ではないことを理解する。 (失敗から学び、改善策を考えて次につなげる) 試行錯誤を前向きに繰り返し、PDCAサイクルをまわすことができる。 積極的に疑問を持ち、体験を通して疑問を解決できる。 [「?」→「体験」→「!」]</p>	<p>地域参画力</p> <p>(=地域貢献力) 地域課題解決の担い手として、地域と積極的につながることができる。 地域に関心を持つ。 地域の課題を知る。 地域の人と協働する。</p>

**学習活動**

週1時間(1・3年生…月曜日6限、2年生…金曜日0限)

1学年:ものごとを調べ、まとめる方法を学習する。  
2学年:自ら課題を設定し、調べ、まとめ、発表する方法を学習する。  
3学年:自らの進路実現に向けて、具体的に必要内容を学習する。

**指導方法**

HR担任の枠を越え、各学年団全教員で指導にあたる。  
少人数グループを編成し、各担当教員の指導のもと、学習に取り組む。  
外部講師招聘や企業訪問など、校外へ積極的に赴く体験的な学習場面を設けるように配慮する。

**指導体制**

TR推進リーダー、TR推進チーム、TR総務からなる実施組織を中心に指導体制を構築する。  
TR小委員会で全体計画・年間指導計画を作成する。  
全体計画に基づき、各学年団で具体的な学習活動計画を作成し、実施する。  
共有サーバーを利用し、ワークシートなど各学年間・過年度の資料を有効活用する。

**学習の評価**

TR小委員会で評価規準を作成する。  
学習の過程での取組や、完成したレポート・プレゼンテーションなどから総合的に評価する。  
生徒一人ひとりの個人内で、能力や態度に伸びが見られたかどうかを中心に評価する。  
評価規準をもとに、観点別に評価を行う。

**各教科等との関連**

シンキングツールを活用して、論理的思考力を育成する。  
各教科指導において、表現活動(スピーチ・プレゼンテーション・ポスターセッションなど)を積極的に取り入れ、TRと関連づけて指導する。  
コンピュータや本・新聞・テレビなどを通して情報を収集する方法だけでなく、五感を通してアンケートやインタビューなど直接情報を収集する方法についても、TRと関連づけて指導する。

**地域や大学との連携**

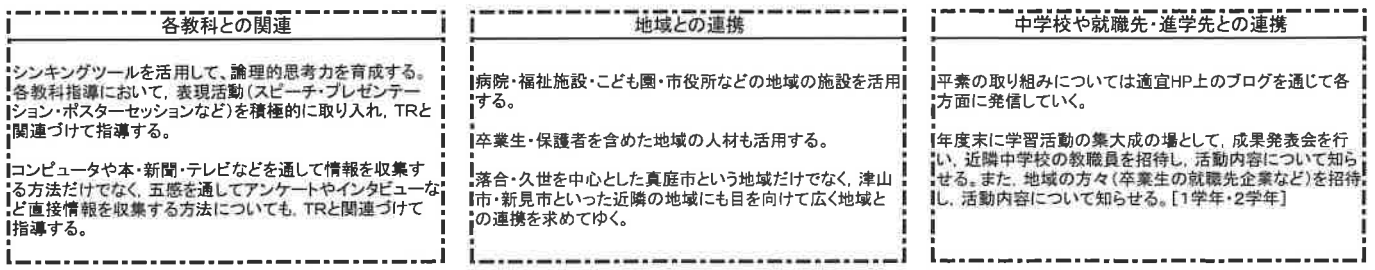
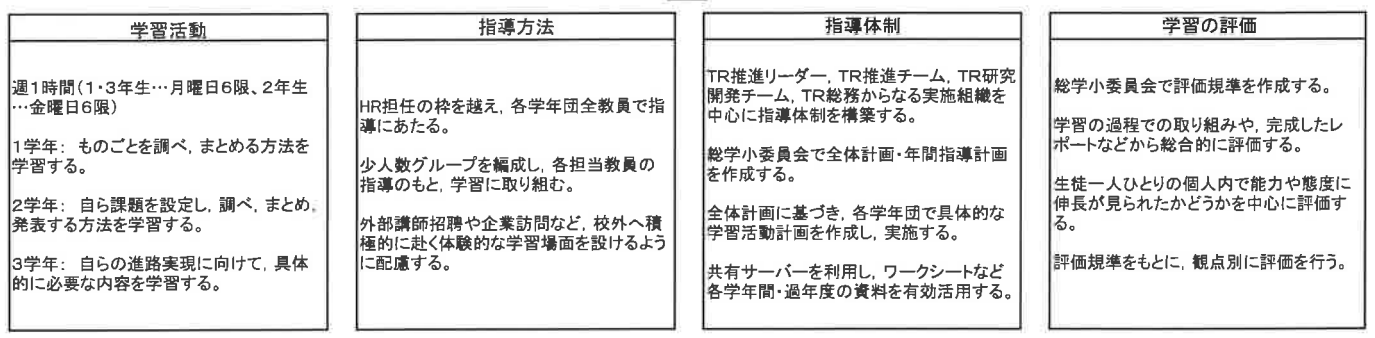
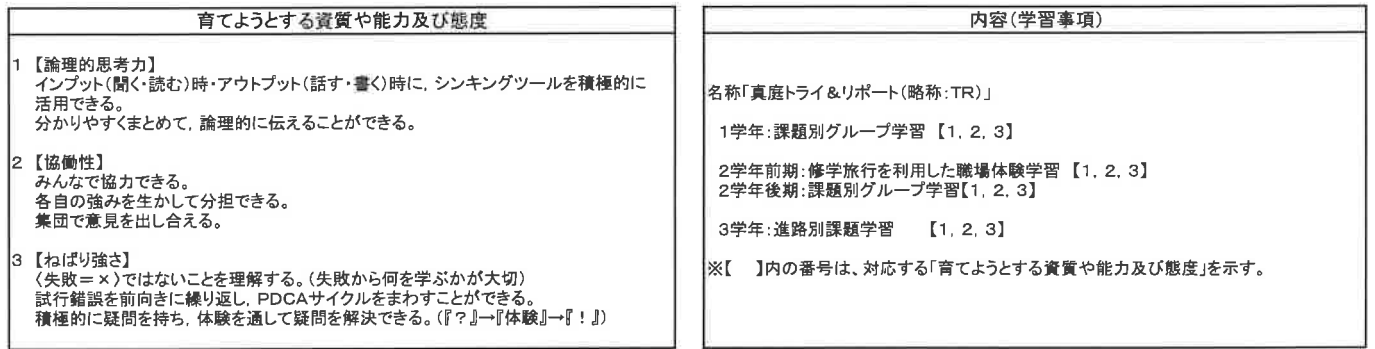
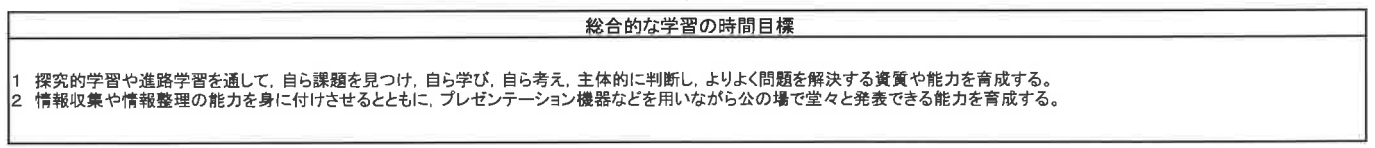
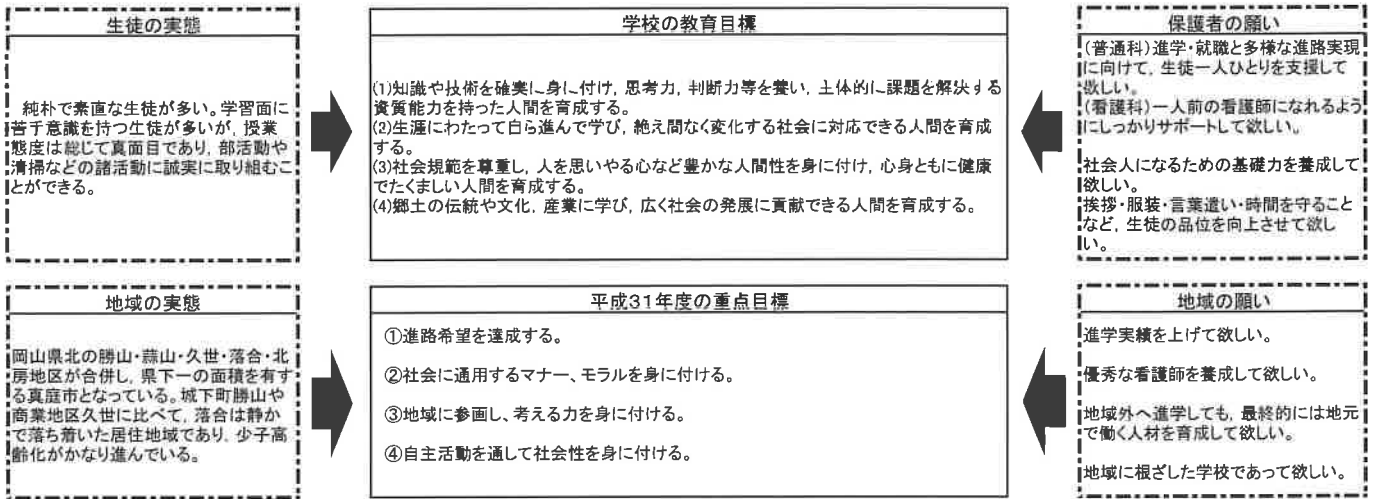
病院・福祉施設・子ども園・市役所などの地域の施設を活用する。  
卒業生・保護者を含めた地域の人材も活用する。  
落合・久世を中心とした真庭市という地域だけでなく、津山市・新見市といった近隣の地域にも目を向けて広く地域との連携を求めてゆく。

**小・中学校や他の高等学校との連携**

平素の取組については適宜HP上のブログを通じて各方面に発信していく。  
年度末に学習活動の集大成の場として、成果発表会を行い、近隣小・中学校や他の高等学校の教職員を招待し、活動内容について知らせる。また、地域の方々(卒業生の就職先企業など)を招待し、活動内容について知らせる。[1学年・2学年]

平成31年度(2・3年生) 総合的な学習の時間(落合校地) 全体計画

岡山県立真庭高等学校(落合校地)



		五感を通じた実体験（質・量の向上）				
学年	時期	柱 つげたい力 探究活動 7つのプロセス	論理的思考力	協働性	ねばり強さ	地域参画力
1 年 時	4月 ～ 5月	(1) 全体テーマ導入 (2) テーマ設定 (3) 探究活動計画	★シンキングツールの活用 ・インプット【聞く・読む】 ・アウトプット【話す・書く・行動する】	★グループが「チーム」になるために ・グループで1つのことに取り組む ・グループで権限のことに役割分担をする	★PDCAサイクル Plan計画 Do実行 Check評価 Act改善 ★OODAループ Observeみる Orientわかる Decideきめる Actうごく Loop繰り返す ★「失敗×N」ではない！ →成功へのステップ！	・周囲のサポート（友人・家族・先生・地域住民など）を活用する考えを持つことができる。 ・地域の課題に対して知ろうとする。
			・インプット（講義・講演会・資料集め・情報収集）の場で、ワークシートにしながらシンキングツールを活用する。	・グループ内で自分の意見を発言できる。 ・グループ内で他者の意見を尊重できる。	・全体テーマ導入の場面で、意欲的に取り組むことができる。 ・テーマ設定・計画立案に対して意欲的に取り組むことができる。	・周囲のサポート（友人・家族・先生・地域住民など）を活用する考えを持つことができる。 ・地域の課題解決に向けて考えを提案できる。
			・インプット（資料集め・情報収集）の場で、ワークシートにしながらシンキングツールを活用しようとする。	・グループ内で自分や他者の考えをまとめて行動（体験活動）に移すことができる。	・失敗を恐れず、積極的に行動（体験活動）することができる。 ・失敗を前向きに捉え、次につなげることができる。	・周囲のサポート（友人・家族・先生・地域住民など）を活用する考えを持つことができる。 ・地域の課題解決に向けて考えを提案できる。
			・アウトプット【話す・書く・発表・PPT作成・まとめ冊子】の場で、シンキングツールを活用できる。	・グループ内で役割分担を意識して発表準備に取り組むことができる。	・活動に対する思い入れ・情熱をもつことができる。 ・「ゴールの自覚」を持って取り組むことができる。 ・活動の社会的意義を理解することができる。	・地域の課題解決に向けた取組から今後の課題を考えることができる。
2 年 時	4月 ～ 5月	(1) 全体テーマ導入 (2) テーマ設定 (3) 探究活動計画	・インプット（講義・講演会・資料集め・情報収集）の場で、ワークシートにしながらシンキングツールを活用できる。	・グループ内で自分の意見を積極的に発言できる。 ・グループ内で他者の意見を積極的に尊重できる。	・全体テーマ導入の場面で、意欲的に取り組むことができる。 ・テーマ設定・計画立案に対して意欲的に取り組むことができる。	・周囲のサポート（友人・家族・先生・地域住民など）を活用する考えを持つことができる。 ・地域の課題に対して意欲的に知ろうとする。
			・インプット（資料集め・情報収集）の場で、ワークシートにしながらシンキングツールを活用できる。	・グループ内で積極的に自分や他者の考えをまとめて行動（体験活動）に移すことができる。	・失敗を恐れず、積極的に行動（体験活動）することができる。 ・失敗を前向きに捉え、次につなげることができる。	・周囲のサポート（友人・家族・先生・地域住民など）を活用する考えを持つことができる。 ・地域の課題解決に向けて具体的考えを提案できる。
			・アウトプット【話す・書く・発表・PPT作成・まとめ冊子】の場で、シンキングツールを活用できる。	・グループ内で積極的に役割分担を意識して発表準備に取り組むことができる。	・活動に対する思い入れ・情熱をもつことができる。 ・「ゴールの自覚」を持って取り組むことができる。 ・活動の社会的意義を理解することができる。	・地域の課題解決に向けた取組から今後の課題を具体的に考えることができる。
			・インプット（講義・講演会・資料集め・情報収集）の場で、自ら考えてシンキングツールを活用できる。	・自分の進路に関わる他者他機関との、協働的な探究活動計画を立てることができる。	・全体テーマ導入の場面で、意欲的に取り組むことができる。 ・テーマ設定・計画立案に対して意欲的に取り組むことができる。	・周囲のサポート（友人・家族・先生・地域住民など）を活用する考えを持つことができる。 ・自分の進路と地域の課題を結びつけて考えることができる。
3 年 時	4月 ～ 5月	(1) 全体テーマ導入 (2) テーマ設定 (3) 探究活動計画	・インプット（講義・講演会・資料集め・情報収集）の場で、自ら考えてシンキングツールを活用できる。	・自分の進路に関わる他者他機関との、協働的な探究活動計画を立てることができる。	・全体テーマ導入の場面で、意欲的に取り組むことができる。 ・テーマ設定・計画立案に対して意欲的に取り組むことができる。	・周囲のサポート（友人・家族・先生・地域住民など）を活用する考えを持つことができる。 ・自分の進路と地域の課題を結びつけて考えることができる。
			・インプット（資料集め・情報収集）の場で、ワークシートにしながらシンキングツールを活用できる。	・グループ内で積極的に自分や他者の考えをまとめて行動（体験活動）に移すことができる。	・失敗を恐れず、積極的に行動（体験活動）することができる。 ・失敗を前向きに捉え、次につなげることができる。	・周囲のサポート（友人・家族・先生・地域住民など）を活用する考えを持つことができる。 ・地域の課題解決に向けて具体的考えを提案できる。
			・アウトプット【話す・書く・発表・PPT作成・まとめ冊子】の場で、シンキングツールを活用できる。	・グループ内で積極的に役割分担を意識して発表準備に取り組むことができる。	・活動に対する思い入れ・情熱をもつことができる。 ・「ゴールの自覚」を持って取り組むことができる。 ・活動の社会的意義を理解することができる。	・地域の課題解決に向けた取組から今後の課題を具体的に考えることができる。
			・インプット（講義・講演会・資料集め・情報収集）の場で、自ら考えてシンキングツールを活用できる。	・自分の進路に関わる他者他機関との、協働的な探究活動計画を立てることができる。	・全体テーマ導入の場面で、意欲的に取り組むことができる。 ・テーマ設定・計画立案に対して意欲的に取り組むことができる。	・周囲のサポート（友人・家族・先生・地域住民など）を活用する考えを持つことができる。 ・自分の進路と地域の課題を結びつけて考えることができる。
3 年 時	6月 ～ 12月	(4) 探究活動 (5) まとめ (6) 発表 (7) 総括・フィードバック	・インプット（資料集め・情報収集）の場で、ワークシートにしながらシンキングツールを活用できる。	・自分の進路に関わる他者他機関との、協働的な探究活動計画を立てることができる。	・全体テーマ導入の場面で、意欲的に取り組むことができる。 ・テーマ設定・計画立案に対して意欲的に取り組むことができる。	・周囲のサポート（友人・家族・先生・地域住民など）を活用する考えを持つことができる。 ・自分の進路と地域の課題を結びつけて考えることができる。
			・インプット（資料集め・情報収集）の場で、ワークシートにしながらシンキングツールを活用できる。	・グループ内で積極的に自分や他者の考えをまとめて行動（体験活動）に移すことができる。	・失敗を恐れず、積極的に行動（体験活動）することができる。 ・失敗を前向きに捉え、次につなげることができる。	・周囲のサポート（友人・家族・先生・地域住民など）を活用する考えを持つことができる。 ・地域の課題解決に向けて具体的考えを提案できる。
			・アウトプット【話す・書く・発表・PPT作成・まとめ冊子】の場で、シンキングツールを活用できる。	・グループ内で積極的に役割分担を意識して発表準備に取り組むことができる。	・活動に対する思い入れ・情熱をもつことができる。 ・「ゴールの自覚」を持って取り組むことができる。 ・活動の社会的意義を理解することができる。	・地域の課題解決に向けた取組から今後の課題を具体的に考えることができる。
			・インプット（講義・講演会・資料集め・情報収集）の場で、自ら考えてシンキングツールを活用できる。	・自分の進路に関わる他者他機関との、協働的な探究活動計画を立てることができる。	・全体テーマ導入の場面で、意欲的に取り組むことができる。 ・テーマ設定・計画立案に対して意欲的に取り組むことができる。	・周囲のサポート（友人・家族・先生・地域住民など）を活用する考えを持つことができる。 ・自分の進路と地域の課題を結びつけて考えることができる。

①HOW TO LEARN

ものごとを調べ、まとめる方法を学ぶ  
(課題別グループ学習)

※担当教員主導・グループ単位

②WHAT TO LEARN

グループで課題を設定し、調べる  
(課題別グループ学習)

※生徒主体・グループ単位

③HOW TO LIVE

個々の進路実現・卒業後のために学ぶ  
(進路別課題学習)

※進路実現に直結・個人単位

令和元年度 真庭トライ&リポート (TR) 成果発表会

令和 2年 2月 7日 (金)  
岡山県立真庭高等学校落合校地

【受付】 9:00 ~ 9:30

- 1 日程説明 (中山) <会議室> 9:30 ~ 9:35  
説明後、教室棟に移動  
応接室から講師案内 (①住野先生・校長②酒井先生・教頭③中澤先生・中山)  
(9:35に会議室に1年生が迎えに来て、各会場まで御案内します。)  
(会議室は12:40まで施錠致します。中山)

- 2 1年生発表会 <教室棟1~3階> 9:45 ~ 10:35  
課題別グループ探究活動 学年テーマ「SDGs ~MANiWA 真庭の真ん中にはiがある~」

~~~~~ 落合総合センターへ移動 ~~~~~

(応接室の方々・中山送迎, 会議室の方々・10:45 生徒昇降口集合→徒歩で移動)

- 3 2年生発表会 <落合総合センター> 11:05 ~ 12:25  
課題別グループ探究活動 学年テーマ「SDGs」

- 4 指導・講評 <落合総合センター> 12:25 ~ 12:40

~~~~~ 学校へ移動 ~~~~~

- 5 アンケート記入・担任講評 <各HR> 13:30 ~ 14:00

- 6 研究協議 <会議室> 司会進行 (教頭) 14:10 ~ 15:30

(1) 校長挨拶

(2) TR全体の取組について (中山)

(3) 1年生TRの取組について (宗田)

(4) 2年生TRの取組について (鈴木)

(5) 参観者自己紹介ならびにご意見・ご質問

(6) 指導・助言 中国学園大学 副学長 住野 好久 氏

武庫川女子大学文学部教育学科 准教授 酒井 達哉 氏

高知大学地域協働学部 准教授 中澤 純治 氏

(7) その他

- 7 閉会挨拶 (教頭) 15:30 ~

※令和2年度TR成果発表会は令和3年2月5日(金)の予定です。

令和元年度 真庭トライ&レポート成果発表会 参加者名簿

|    |                               | (敬称略)  | グループ  |
|----|-------------------------------|--------|-------|
| 1  | 中国学園大学 副学長                    | 住野 好久  | ①     |
| 2  | 武庫川女子大学文学部教育学科 准教授            | 酒井 達哉  | ②     |
| 3  | 高知大学地域協働学部 准教授                | 中澤 純治  | ③     |
| 4  | 山陽学園大学地域マネジメント学部地域マネジメント学科 教授 | 中村 聡志  | ④     |
| 5  | 真庭市役所 落合振興局 局長                | 松尾 憲和  | ⑤     |
| 6  | 真庭市役所 落合振興局 地域振興課 課長          | 武村 良江  | 2年生のみ |
| 7  | 真庭市役所 落合振興局 地域振興課 参事          | 中川 晃吉  | 2年生のみ |
| 8  | 真庭市立落合小学校 校長                  | 奥山 仁   | 2年生のみ |
| 9  | 真庭市立落合中学校 校長                  | 三村 公一  | ⑥     |
| 10 | 真庭市役所生活環境部環境課                 | 田島 吉章  | ⑦     |
| 11 | 真庭市役所生活環境部環境課                 | 栢野 美圭  | ⑦     |
| 12 | まにわ・しめ山プロジェクト(垂水向津矢住民会 会長)    | 小林 淳一  | ⑧     |
| 13 | まにわ・しめ山プロジェクト(垂水向津矢住民会)       | 芦田 有正  | ⑨     |
| 14 | まにわ・しめ山プロジェクト(垂水向津矢住民会)       | 梅井 康司  | ①     |
| 15 | まにわ・しめ山プロジェクト(垂水向津矢住民会)       | 片岡 孝文  | ②     |
| 16 | 真庭市議会議員 副議長                   | 緒形 尚   | ③     |
| 17 | 真庭市議会議員                       | 岩本 壯八  | 2年生のみ |
| 18 | 真庭市議会議員                       | 大月 説子  | 2年生のみ |
| 19 | 真庭市議会議員                       | 河部 辰夫  | 2年生のみ |
| 20 | 真庭市議会議員                       | 柴田 正志  | 2年生のみ |
| 21 | 真庭市議会議員                       | 庄司 史郎  | 2年生のみ |
| 22 | 真庭市議会議員                       | 竹原 茂三  | 2年生のみ |
| 23 | 真庭いきいきテレビ                     | (記者未定) | 2年生のみ |
| 24 | 学校評議員                         | 高橋 渉   | 2年生のみ |
| 25 | 静岡県立遠江総合高等学校                  | 鈴木 志津子 | ④     |
| 26 | 静岡県立遠江総合高等学校                  | 萩原 まこと | ⑤     |
| 27 | 岡山県立笠岡商業高等学校                  | 野崎 武彦  | ⑥     |
| 28 | 岡山県立林野高等学校                    | 吉川 英明  | ⑧     |
| 29 | 岡山県立高梁高等学校                    | 佐々木 徹  | ⑨     |
| 30 | 創作家具MOMO工房                    | 元井 哲治  | ①     |
| 31 | 創作家具MOMO工房                    | 元井 恵子  | ①     |
| 32 | 真庭市立遷喬小学校                     | 松浦 浩澄  | 2年生のみ |
| 33 | 服部興業株式会社山林部課長                 | 川原 洋平  | ③     |
| 34 | まにわ・しめ山プロジェクト(垂水向津矢住民会)       | 伊藤 忠司  |       |
| 35 |                               | 内藤 昌子  |       |
| 36 |                               | 山本 フサコ |       |
| 37 |                               | 山本 博子  |       |
| 38 | 1年2組保護者                       | 保護者    |       |
| 39 | 1年2組保護者                       | 保護者    |       |
| 40 | 2年1組保護者                       | 保護者    |       |



令和元年度 真庭トライ&リポート 成果発表会 プログラム

R02.02.07

□受付 9:00~9:30 @教職員玄関 2-3⑥奥田・桑木・土山・松田・山崎・余座(森下・難波)

■1年生発表会 【50分】(9:45-10:35) 課題別グループ探究活動 学年テーマ『SDGs~MANIWAの中には愛がある~』  
 [メディア] [MANIWA] [プロモーション] 3チャンネルの番組をそれぞれお楽しみください。

【11分(発表8分+質疑応答3分)】 → 【教室内待機2分】 → 【11分(発表8分+質疑応答3分)】  
 ----- 次の会場に移動してください。(生徒が案内) 【移動2分】 -----  
 【11分(発表8分+質疑応答3分)】 → 【教室内待機2分】 → 【11分(発表8分+質疑応答3分)】

※会議室から各会場への移動、また、会場間の移動については、生徒がご案内いたします。(タイムキーパー:花谷)

| 会場[会場担当教員]     | テーマ                           | 生徒(◎司会進行)<br>(上●10:09-10:11移動案内/下▼9:35会議室お迎え) |
|----------------|-------------------------------|---|
| ①1階講義室[中山]     | ×:森林でドローン飛ばしてGがんばる整備活動        | ◎尾崎葵・●松岡杏織・辻総太郎・村上太郎                          |
|                | ×:SDGsから始まるサコッシュ              | ◎貝阿彌葵・▼加藤愛梨・塚本春菜・中川心那                         |
| ②1年1組HR[竹田]    | M:空き家写真展                      | ◎長尾愛楓・●櫻井希・佐田光・原田美空・林愛音                       |
|                | M:農泊が与える地域への影響                | ◎森谷光喜・▼服部海成・本多真人                              |
| ③1年2組HR[森年]    | プ:ヒノキの廃材を使ったノベルティ             | ◎中山拓斗・●仁澤亜紀・古川雄斗                              |
|                | プ:SDGsを身近なものにするために...ノベルティ作成~ | ◎船木優愛花・▼森岡美遥・大原菜緒・宮地樹音                        |
| ④2階講義室[麻田]     | ×:カルタを使ってSDGsを広める             | ◎渡野彩華・●植村孝太・柴田将・松岡里佳                          |
|                | ×:SDGsから繋がる生物多様性              | ◎岡崎芹奈・▼大林久姫・澤山希望・水杉七聖                         |
| ⑤3年1組HR[宗田]    | M:コミュニティスペースを盛り上げるArt活動       | ◎小野愛美・●河原真心・築澤ありさ・中畑澪                         |
|                | M:コミュニティスペースを盛り上げるArt活動       | ◎平田らん・▼関本勇輝・丸本裕士・岡田千菜歩                        |
| ⑥3年2組HR[花谷]    | プ:交通からひろまるSDGs                | ◎藤田梨紗子・●牧美澪・岨田廉・戸田優希                          |
|                | プ:人の目にとまるホームページを作る!           | ◎遠藤翔・▼梶田瑞樹・浅尾心・出口瑠々                           |
| ⑦3階講義室[中川]     | ×:汚染対策で真庭の川を守る                | ◎山田昌・●横田実夢・保田柚月・寺崎友香                          |
|                | ×:不要なクросを活用しよう               | ◎林実来・▼黒田真衣・寺崎千夏・横河心和                          |
| ⑧2年1組HR[山口]    | M:空き家の現状                      | ◎石本陽暉・●大谷友哉・山本泰誠                              |
|                | M:空き家調査                       | ◎中山萌・▼小林伊織・中山あみ・小見山結名                         |
| ⑨2年2組HR[安東・宮地] | プ:みやすいホームページとSDGs             | ◎佐田笙華・●森元偉楓・山口敦登・山田宝良                         |
|                | プ:真庭高校のホームページについて             | ◎山口こまち・▼森下真妃・溝尾杏美里                            |

□落合総合センターへ移動 【30分】(10:35-11:05) 徒歩で西門から、会場座席誘導着席指示(栗木・竹原) 講師の先生方(中山送迎)、参観の方々と生徒は10:45生徒昇降口集合→まとまって移動(1年担任は生徒と同行、2年団②サンプラ交差点)

■2年生発表会 【80分】(11:05-12:25) 課題別グループ探究活動 学年テーマ『SDGs』

1. 校長挨拶(3分) 2. 発表(10分×6組) 司会:池永智章・山本愛奈

| 順 | チャンネル<br>[担当教員] | テーマ                            | 代表生徒                              |
|---|-----------------|--------------------------------|-----------------------------------|
| 1 | 健康[小林・田中・栗木]    | 子どもと親のよりよい関係を目指して              | ◎小林海翔 金崎巧樹 山本真莉 硯千波海              |
| 2 | 教育[松本・沼野]       | 食育<br>~規則正しい食生活を目指して~          | ◎植木紫帆 石田和加奈 藤井美実 柳朱乃 横山綾香 松島麗未    |
| 3 |                 | 夢のある子育てを目指して<br>~私たちができる子育て支援~ | ◎宮本流那 有平優花 高橋菜々美 見尾来夢 山本実玖        |
| 4 | 国際文化[池田・藤田]     | 全ての人に教育を<br>~私たちにできること~        | ◎坂根佑菜 本多礼緒奈 宮本妃菜 森本真子             |
| 5 | 美容ファッション[杉]     | 古着から防災へ<br>~持続可能な衣生活を目指して~     | ◎谷本未鈴 青木芽衣 岡田菜摘 北畑光菜実             |
| 6 | 暮らし[佐古・鈴木]      | 働きやすい職場とは<br>~安心・安全な労働環境を目指して~ | ◎林大輔 河野智久 森岡拓巳 渡辺貴行 大澤陽 武井紀奈乃 森下力 |

■指導講評 【15分】(12:25-12:40)

中国学園大学副学長 住野好久先生 / 武庫川女子大学文学部教育学科 酒井達哉先生 / 高知大学地域協働学部 中澤純治先生

□学校へ移動(1年生は教室棟片付け)・昼食(各HRにて)・休憩 【50分】(12:40-13:30)

■TRアンケート記入+担任講評【30分】(13:30-14:00) @各HR

□SHR(参観者の方は会議室へご移動お願いします) 【10分】(14:00-14:10) @各HR

■研究協議 【80分】(14:10-15:30) @会議室

①校長挨拶(3分)→②TR全体(中山5分)→③1年TR(宗田10分)→④2年TR(鈴木10分)  
 →⑤参観者自己紹介ならびにご意見・ご質問(30分)→⑥指導・助言(大学の先生方3名各5分)

## 令和元年度真庭トライ&レポート成果発表会 講師の先生方からのおことば

### ■中国学園大学副学長 住野好久先生より（平成22年度から10年連続）



今年もみなさんのプレゼンテーションからたくさんのプレゼントをいただいた。一番のプレゼントはみなさんがこのTRを通して『さまざまな力』を向上させた姿を見せてくれたことだ。〔1年生〕①ものごとを多角的・多面的に見る力。自分たちの探究活動がSDGs17の目標のどこに貢献するものなのか、各自がそれぞれ異なる視点で意味づけていて、1つの取組が多様な視点からいろいろな価値を持っていることをアピールできていた。②プレゼン力と応答力。どんなプロセスでどんな成果と課題があったのか、しっかり伝えられていて、予想もしなかったような質問にも臨機応変に答えられていた。〔2年生〕①事実に基づく論理的思考力。何となくとか、多分とかではなく、収集したデータから得られた事実・実態をもとにして語る事ができていた。②主体的な問題意識。どこかで起こっている他人事ではなく、身近な地域で起こっている我が事として捉え、当事者として世界・人類が抱える問題を考える事ができていた。21世紀は予想もつかないさまざまな課題がみなさんに襲いかかってくる。そういう時に、このTRで身に付けた力がきっと役に立つだろう。SDGsの担い手としてぜひがんばってもらいたい。

### ■武庫川女子大学文学部教育学科 酒井達哉先生より（平成26年度から6年連続）

今年SDGsをテーマにしたことで、その観点から、自分たちにできることを考え、実行し、それをSDGsの観点から評価するというスマートな学びになっていた。5点。①TRでなくRRになっていないか、リサーチだけしてそれをレポートしていないかこれまで話してきたが、1年2年ともにトライできていた。古い写真を集めて写真展を開いていた1年生の班について、今しないとなくなっていく地域の財産を自分たちで集めていて、まさにTRだと感心した。②フィールド。発表に多く出てきた『地元の小学校』など連携を進めてもらいたい。③まず体験して、課題意識を醸成して、アンケートしたり、研究者や施設の方にインタビューしたり、大学の授業のように論文を読んだりして、根拠を元に論じるという探究プロセスの進化が2年生に見られた。④活動の評価。課題について、『今後の課題』だけでなく、『この活動をふり返ってどんな課題があったのか』という視点でも考えるべき。また、どんな力が身についたのか考えることも大切。振り返りを重視することで『深い学び』が達成される。⑤つなぐということ。『リサイクルの視点から防災に』、『今年の成果を来年家庭クラブで』など1つ出た成果を来年につなぐということこれまではなかった新しい考え・姿勢が示されていた。2年生の発表を1年生が見ることで、次の年のグレードアップにつながっている。今後も1・2・3年生のつながりを大切にしてもらいたい。



### ■高知大学地域協働学部 中澤純治先生より（平成26年度以来2回目）

4年ぶりに見て、格段にグレードアップしていると感じた。3つ伝えたい。①ロジカルな考え方が身に付いている。『調べてみた。分からないので現場に出てみよう。実態は分かっただけでまた疑問が出てきた。専門家に聞きに行こう。アンケートやってみよう。また出てきた新たな疑問をどうしようか』というトライ&エラー（試行錯誤）を繰り返す探究プロセスが1年生2年生すべてに貫かれていた。②地域協働性。TRで地域の方と協働して取り組むことが当たり前という考えにみなさんなっているが、それは全国的に見れば珍しい。学校の中だけ、調べただけという活動がまだまだ多い。地域の方が一緒になって真庭高校のみなさんを育てようとしてくれているのはすごいことだと知っておいてもらいたい。自分たちだけでは気づかないことに気づかせてもらえる、この地域協働性を今後も広め進めていってもらいたい。③教科横断的な学び。2年生の発表の中で、『これって1年生の家庭科で習ったこと!』という学びの振り返りがあって感心した。TR活動はその活動自体でやり抜く力・コミュニケーション力など重要な力を伸ばしてくれるが、基本的な教科の学力もやはり必要だ。教科で学んだことが、自分の身の回り・社会とどうつながっているか実感することで、単に先生に言われて教科学習しているのではなく、もっと積極的に学習する動機ができると思う。TRと教科学習間のフィードバック・行ったり来たりという往還が芽生えているので大事にしてほしい。



■参加者の方々より（抜粋・簡略）

山陽学園大学地域マネジメント学部中村聡志先生より

自分で意識した課題を突き詰めていくうちに、徐々に分からないことが出てきて、そこで人に訊いたりアンケートをとったりして事実を把握する。さらに足りない部分を論文などで補い、その後実際に行動してみて課題に対する考察を深める。この一連のプロセスがちゃんとできている。SDGsをテーマにしているため、目標達成に向けて行動に結びつける活動になっており、真庭の地で自分たちに何ができるか考える、地に足が付いた活動になっている。真庭で起きていることは世界の動向と関わっていることなので、真庭と世界とを結びつけることが重要だが、教科学習の内容と結びつけているところにその姿勢がうかがえた。高大連携として今後も協力を。



■質問〔中村先生〕：課題設定がうまくいっている。テーマ設定をどう指導しているのか？

〔1年生宗田〕テーマ設定が一番の悩みどころ。4月中旬に全員で地域散策をして、自分たちの目で地域の問題を見つける。4月下旬の宿泊研修で、その問題点を出し合いまとめて発表。3クラスの発表を考慮しながら1年回教員が3つのチャンネルを設定。担当教員主導の部分が大きい。

〔2年生鈴木〕SDGs17の目標とさらに169のターゲットを見ていく中で、自分たちの進路・興味関心とを結びつけてテーマ設定をした。

■質問〔吉原教頭先生〕：次年度の構想は？

〔宗田〕TRと別に本校が取り組んでいる『こち防』・『ユネスコ』をTRの中に入れて、生徒・教員の負担を減らしたいという考えがある。

〔中山〕この1年生から普通科看護科でTRに取り組むことになり、2年間継続した活動も期待できる。



■中国学園大学副学長 住野好久先生より



①1・2年生ともにSDGsという共通テーマ。1年生は、自分たちが取り組んできたことが何番の目標に合っているか、後で考えるSDGs後付けアプローチ。逆に2年生は、まず17の目標169のターゲットから何番かを決めてから活動を計画していくSDGs前付けアプローチ。アプローチの方向性に違いがあり、それぞれで見えてくるものも違いがあるはずなので面白いと感じた。②『教える技術』刈谷剛彦著（ちくま新書）より、オクスフォード大学では、学部生は、先生がテーマを参

考文献リストを示して学生にエッセイを書かせる。修士課程では、自分の興味から研究テーマを決めさせる。TRでは、テーマ設定・課題発見に時間をかけるのか、探究プロセスに時間をかけるのか、10年間の積み上げもあるだろうが、さらに検討を重ねてほしい。③生徒たちにどういった力がどのように付いたのかを示す、TRに取り組んだ価値を伝える『評価』が重要。論理的思考力・協働性・粘り強さ・地域参画力という4つの力がどのように伸びたのかルーブリックを使ってしっかり示すことが必要。論理的思考力では、イメージマップなどシンキングツールを使って思考プロセスを見える化させるのが本校の特色なので、思考の広がり・深まり・整理を評価する。協働性では、グループでの話し合いの質・役割分担の質。粘り強さでは、プロセスの中で失敗したこと・分からなかったこと・できなかったことを乗り越えているのか評価する。地域参画力では、地域のSD課題を発見し、地域の人と関わっているか評価する。何をどのように評価するかを明確にすれば、カリキュラムも作りやすくなる。

■武庫川女子大学文学部教育学科 酒井達哉先生より



持続可能なTRのために3点。①学校の特質に合った活動を整理していくこと。②トライの部分を一層重視して活動の成果を出すこと。1年生の写真展を例に。地域の財産である昔の写真を集めて地域に伝えていく取組で、『もっと多くの写真を集めたかった、もっと多くの人に来てほしかった』という反省はそれをやったからこそ到達できた内容であり素晴らしいものだ。トライの部分を確認するためには、教員の『時間を逆算する力』が必要。『課題』では、1年間やってみてできなかった

ことを伝えるべきで、『今後したいこと』で終わらせない。SDGsがテーマと聞いて、SDGsについて教えてばかりして頭でっかちなRR（リサーチ&レポート）になるのではと心配していたが、ちゃんとTR（トライ&レポート）になっていくうれしかった。小中学校までの学びの成果を高校へとつなげるために、小中の探究活動を見に行くべき。③3年TR-How to liveについて鈴木先生が言及しているため驚き嬉しく感じた。自己のあり方・生き方を考えることは大切。来年この場で3年TRの成果を1分でもよいので発表してもらいたい。

■高知大学地域協働学部 中澤純治先生より



真庭高校を探究活動に取り組む同士だと思っている。地域協働学部では、結果的にそうならばよいが、『地域課題を解決すること』は重視していない。すぐに解けないからこそ学ぶフィールドに適している。チャレンジし失敗し試行錯誤を繰り返して粘り強く取り組めるのが地域というフィールド。フィールドワークを通して、学生は地域の人の期待に応えたいという重いから、学習意識も高まり成長を実感している。重視しているのは『振り返り』。『それなんで？』と学生に問い続ける。先輩が後輩に教えるという縦の関係も意識している。ルーブリック評価は重要で、毎年見直している。



岡山県立真庭高等学校

総合的な探究の時間

# 真庭トライ&リポート (TR)

■2014年9月25日 地球サステイナブル加盟承認 → ESD (持続可能性) の視点  
■2019年5月〜真庭SDGsハイク → Think Globally Act Locally



トライとは：実体験重視

リポートとは：必ず発表に結びつける姿勢 (まとめ冊子・発表会・外部イベントなど)

H22,H23 岡山県学力向上プロジェクト「高等学校教科指導が「7-77」事業」研究指定  
H24,H25 教育課程研究指定校事業「思考力・判断力・表現力」

3年生：HOW TO LIVE  
進路実現・卒業後の生活のために学ぶ

※進路実現に直結・個人

2年生：WHAT TO LEARN  
自分で課題を設定し、調べる

※生徒主体・グループor個人

1年生：HOW TO LEARN  
ものごとを調べ、まとめる方法を学ぶ

※担当教員主導・グループ単位

学年団教員全員で！(各チャネルに複数教員)  
⇒ 相互サポート・バランス  
(相談・不在時・新旧・教科専門性・得意分野)

五感を通じた **実体験**

質・量  
の向上

TRを通して身につけさせたい4つの力

論理的思考力

ねばり強さ

協働性

地域参画力

シンキングツール活用 (OUTPUT書く話す行動する ⇒ INPUT聞く読む)

【失敗=×じゃない！】 ⇒ 失敗体験 (試行錯誤) からの気づき

【集団がチームになるまで】 ⇒ みんなで一つのこと・各自の強みで役割分担

【=地域貢献力】 ⇒ 地域に関心、地域課題の理解、地域の人との協働

RO1第1学年 (普通科38名、看護科34名) 学年テーマ：SDGs～MANIWAの「=愛」 3チャネル 各24名

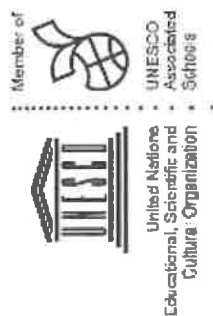
①X7: イチャネル：真庭いきいき777 と協働⇒番経『SDGsって何?』制作など②MANIWAチャネル：地域おこし協力隊と協働⇒空き家コミュニティが「活用など③777: 活用など④777: 活用など⑤777: 活用など⑥777: 活用など⑦777: 活用など⑧777: 活用など⑨777: 活用など⑩777: 活用など⑪777: 活用など⑫777: 活用など⑬777: 活用など⑭777: 活用など⑮777: 活用など⑯777: 活用など⑰777: 活用など⑱777: 活用など⑲777: 活用など⑳777: 活用など㉑777: 活用など㉒777: 活用など㉓777: 活用など㉔777: 活用など㉕777: 活用など㉖777: 活用など㉗777: 活用など㉘777: 活用など㉙777: 活用など㉚777: 活用など㉛777: 活用など㉜777: 活用など㉝777: 活用など㉞777: 活用など㉟777: 活用など㊱777: 活用など㊲777: 活用など㊳777: 活用など㊴777: 活用など㊵777: 活用など㊶777: 活用など㊷777: 活用など㊸777: 活用など㊹777: 活用など㊺777: 活用など㊻777: 活用など㊼777: 活用など㊽777: 活用など㊾777: 活用など㊿777: 活用など



# ■ユネスコスクール、真庭SDGsパートナーとして



- 真庭SDGsパートナー 加盟
- 岡山県高校ボランティアアワード 参加
- 芝浦工業大学来校一学生との交流サコッシュ制作
- 海の市 山の市 2019 参加
- ESD大賞 応募
- エコワンングランプリ 応募 → 最終審査会@東京 観覧
- 環境講演会 参加
- 聞き書き甲子園 応募
- おかやま環境ミーティング 参加
- ESDワークショップ@島根 参加
- 石川文化志向財団地域未来づくり貢献活動助成事業
- 真庭市SDGs円卓会議 参加
- 地域創造ハイスクールサミット@鳥取 参加
- 福知山田舎力甲子園 応募
- プレゼンテーション学会 参加
- 市長と話そう



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



OKAYAMA Prefectural MANIWA HIGH SCHOOL

真庭高校 TR  
「MANIWAのI=愛」プロジェクト

Think Globally・Act Locally

持続可能な地域の実現を目指して(SDGs)

東田 勇  
令和元年2月7日(金)  
岡山県立真庭高等学校(履合校地)



OKAYAMA Prefectural MANIWA HIGH SCHOOL

TR(総合的な探究の時間)の背景

教科指導  
(各教科での取り組み)

総合的な探究の時間(探究の見方・考え方)



実社会における 自己の生き方・在り方 を見つめ  
探究の 見方・考え方 を身に付け  
社会に開かれた人材の育成 を育む

OKAYAMA Prefectural MANIWA HIGH SCHOOL

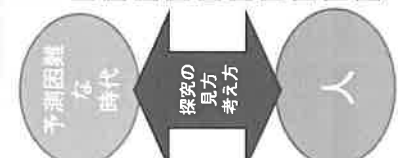
1年TRの重点(持続可能な探究活動の実現)

① 持続可能な探究活動と、そのフィールド  
(社会に開かれた教育 × 継続したTR活動)

② SDGs  
(横断的カリキュラム × Think Globally・Act Locally)

③ 研究計画書・記録用紙  
(HOW TO LEARN × 探究の見方・考え方)

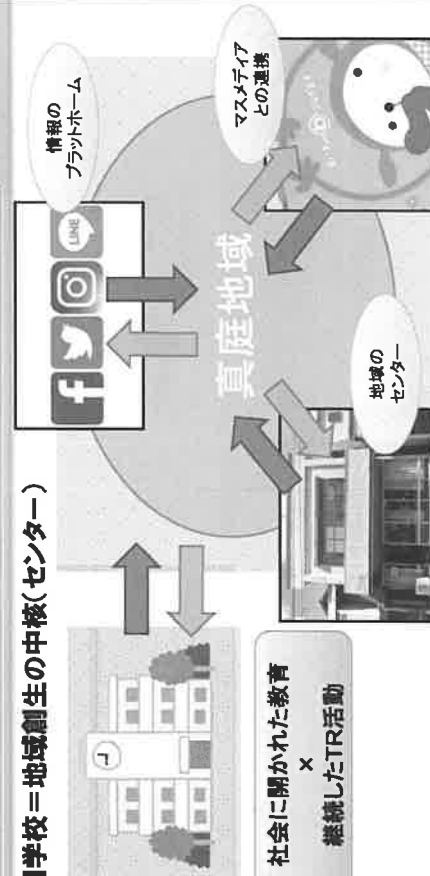
④ 2年TR「進路実現にむけて」  
(become目標 × being目標 × 自己の生き方・在り方)



OKAYAMA Prefectural MANIWA HIGH SCHOOL

持続可能な探究活動と、そのフィールド

■ 学校 = 地域創生の中核(センター)



社会に開かれた教育 × 継続したTR活動

地域のセンター

情報のプラットフォーム

マスメディアとの連携

SDGs

学校教育目標  
(Think Globally, Act Locally)

総合的な探究の時間 (SDGs)

教科指導  
(国語・数学・英語・理科・社会  
情報・家庭・体育・芸術・看護)  
(SDGs)

横断的カリキュラム  
×  
Think Globally・Act Locally

研究計画書

PDCAサイクルのフォーマット化(探求の見方・考え方)

①研究計画書

②探究構想

③記録用紙

経験の蓄積

2年TR『進路実現にむけて』

まとめ用紙項目

- 今年度の自己評価
- 進路希望の列記
- アドミッションポリシー or 企業理念
- 自分の成績(評定平均・調査)
- 自己像
- 2年TRの展望

become 目標 × being 目標 ○  
×  
自己の生き方・在り方

1年TRの課題と展望

『総合的な探究の時間』で大切なこと

★教員自身の「探究の見方・考え方」

★持続・継続可能な教育構想

1年

2年

3年

■課題

- 活動意識の自覚(生徒・教員)
- 指導方法(教員のHow to learn)
- 活動規模(活動時間とクオリティ)
- 落としどころ(共に進む支援)
- 探究の高度化・自律化(生徒の主体性)
- 評価(まとめ) × 展開

■展望

- 学校の特質に合った活動整理(ユネスコ・こと防)
- 探サポとの連携
- 社会に開かれた教育 × 社会に開かれた人材
- 進路意識(人格形成)
- 地域貢献・課題解決

OKAYAMA Prefectural MANIWA HIGH SCHOOL

# 「2年生 真庭トライ&レポート (TR)」

～ 総合的な学習の時間～

2年団 鈴木啓介

OKAYAMA Prefectural MANIWA HIGH SCHOOL

# 真庭トライ&レポート (校内名称TR) - 3年間の見通しと柱

トライ：実体験重視  
レポート：必ず発表に結びつける要素 (まとめ冊子・発表会)

③HOW TO LIVE

進路実現・卒業後の生活のために学ぶ  
(進路別課題学習)  
※進路実現に直結・個人

②WHAT TO LEARN

自分で課題を設定し、調べる (進路別課題学習)  
※生徒主体・グループor個人

①HOW TO LEARN

ものごとを調べ、まとめる方法を学ぶ (課題別グループ学習)  
※担当教員主導・グループ単位

実 体 験

探 究 する 力

【探究する力】『?』をもちか、『?』→体験→『!』を回す!  
自分たちで課題をみつければ、実体験を確して、課題を解決できる力

OKAYAMA Prefectural MANIWA HIGH SCHOOL

## 2年生TRのテーマ



SDGs


持続可能な社会の実現に向けて、自分の進路の立場で、  
地元真庭で何ができるか



進路

OKAYAMA Prefectural MANIWA HIGH SCHOOL

## 課題設定



「169のターゲット」  
の中からキーワードを  
見つける

課題設定しやすい

**ターゲット**

81 各国の状況に応じて、一人当たり経済成長率を維持させる。特に発展途上国は少なくとも年率7%の成長率を維持する。

82 高付加価値セクターや労働集約的セクターに重点を置くことにより、多様化、技術向上及びイノベーションを促進し、高いレベルの経済生産性を達成する。

83 生産活動や適切な雇用開出、起業、創造性及びイノベーションを促進する開創者支援型の政策を促進するとともに、労働者や起業家へのアクセス改善などを通じて中小規模企業の設立や成長を促進する。

84 2030年までに、世界の消費と生産における資源効率を体系的に改善させ、先進国主導の下、持続可能な消費と生産に関する10年枠組協定に強い、経済成長と環境持続性の両方を支える。

85 2030年までに、若者と労働者を合わせたすべての層に及び女性の、安全かつ生産的な雇用及び働きがいのある労働環境を確保し、就労、就学及び職業訓練のいづれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。

86 強制的労働を排除し、現代の奴隷制、人身売買を終わらせるための効果的な措置の実施、過剰な労働の根絶、労働者の禁止及び保護を確保する。2025年までに「児童労働の撲滅と使用を旨とする労働の児童労働者撲滅」に関する国際条約を批准し、地方の文化復興・産業振興につながる持続可能な観光を促進するための政策を立案し実施する。

87 2030年までに、国内の労働力の能力を強化し、すべての人々の雇用取引、除却及び労働者サービスへのアクセスを促進、拡大する。

88 発展途上国への資源管理技術支援のための拡大統合プラットフォーム(EFP)などを通じて支援を含み、開発途上国、特に後進途上国に対する貿易のための関税の削減を拡大する。

89 2030年までに、若年層用のための世界的労働及び職業訓練(OL)の比率に関する世界協定の実施を促進し、適用化する。





| 岡山県立真庭高等学校(落合校地) 総合的な探究・学習の時間 アンケート集計 |      |    |   | 肯定的回答                   |         |          |          | 肯定的回答   |          |         |         | 肯定的回答   |          |         |         |         |
|---------------------------------------|------|----|---|-------------------------|---------|----------|----------|---------|----------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|
| 観点                                    | 観測点  | NO | 令和元年度全体集計                                     | R01                     |         |          | H30      |         |          |         | H29     |         |          |         |         |         |
|                                       |      |    |   | 全生徒<br>1FN<br>2FN<br>3F | 3年<br>普 | 2年<br>普普 | 1年<br>普普 | 3年<br>普 | 2年<br>普普 | 2年<br>普 | 2年<br>普 | 1年<br>普 | 2年<br>普普 | 2年<br>普 | 2年<br>普 | 1年<br>普 |
| 学習意欲に関すること                            | 課題設定 | 1  | 日常生活の中で「知りたいな」と思うことや「不思議だな、なぜだろう」と思うことがある。    | 87.0                    | 82.2    | 88.6     | 88.4     | 91.4    | 85.3     | 80.4    | 95.5    | 87.8    | 87.7     | 86.0    | 91.7    | 75.0    |
|                                       | 課題設定 | 2  | 何か分からないことや困ったことがあった時に、どこに問題があるかを考えることができる。    | 83.7                    | 84.4    | 84.3     | 82.6     | 93.1    | 80.9     | 82.6    | 77.3    | 90.2    | 83.8     | 78.9    | 95.7    | 70.8    |
|                                       | 課題設定 | 3  | 課題解決の道筋を予測し、課題を解決するための計画を立てることができる。           | 74.5                    | 84.4    | 67.1     | 75.4     | 77.6    | 69.1     | 65.2    | 77.3    | 70.7    | 69.1     | 64.9    | 79.2    | 56.3    |
|                                       | 収集分析 | 4  | 解決したいことを、書籍やインターネット等を使って調べることができる。            | 96.7                    | 97.8    | 95.7     | 97.1     | 98.3    | 97.1     | 95.7    | 100     | 97.6    | 98.8     | 98.2    | 100     | 93.8    |
|                                       | 収集分析 | 5  | 解決したいことを、電話やメール、インタビューでたずねることができる。            | 66.8                    | 80.0    | 65.7     | 59.4     | 74.1    | 61.8     | 69.6    | 45.5    | 63.4    | 60.5     | 57.9    | 66.7    | 50.0    |
|                                       | 収集分析 | 6  | 収集した情報が正しいかどうかについて考えることができる。                  | 84.7                    | 95.6    | 81.2     | 81.2     | 96.6    | 82.4     | 78.3    | 90.9    | 87.8    | 86.4     | 86.0    | 87.5    | 75.0    |
|                                       | 収集分析 | 7  | 課題の解決に役立つ情報かどうかを考えながら、情報を集めることができる。           | 89.7                    | 88.9    | 85.7     | 94.2     | 91.4    | 91.2     | 89.1    | 95.5    | 87.8    | 90.0     | 89.5    | 91.3    | 89.6    |
|                                       | 思考判断 | 8  | 収集した情報を関連づけて、比較したり、推測したりして考えを広げることができる。       | 81.0                    | 88.9    | 80.0     | 76.8     | 84.5    | 77.9     | 73.9    | 86.4    | 73.2    | 70.4     | 68.4    | 75.0    | 68.8    |
|                                       | 思考判断 | 9  | 課題の原因や現状等を理解して、自分の考えを持つことができる。                | 87.0                    | 91.1    | 87.1     | 84.1     | 94.8    | 85.3     | 82.6    | 90.9    | 75.6    | 81.5     | 84.2    | 75.0    | 81.3    |
|                                       | 思考判断 | 10 | 課題を解決する時に、何から始めれば良いか優先順位を付けることができる。           | 84.2                    | 86.7    | 82.9     | 84.1     | 75.9    | 73.5     | 71.7    | 77.3    | 75.6    | 85.2     | 84.2    | 87.5    | 72.9    |
|                                       | 思考判断 | 11 | 課題の解決のために、複数の方法を考えることができる。                    | 82.1                    | 88.9    | 84.3     | 75.4     | 77.6    | 72.1     | 69.6    | 77.3    | 70.7    | 75.9     | 72.7    | 83.3    | 77.1    |
|                                       | 表現省察 | 12 | 相手や目的に合わせて、自分の考えの根拠を明確に整理して表現することができる。        | 78.1                    | 84.4    | 73.9     | 78.3     | 86.2    | 58.8     | 65.2    | 45.5    | 63.4    | 58.2     | 52.7    | 70.8    | 66.7    |
|                                       | 表現省察 | 13 | 学習の仕方や進め方を振り返り、次の学習や生活に生かすことができる。             | 84.2                    | 84.4    | 81.4     | 87.0     | 79.3    | 79.4     | 73.9    | 90.9    | 85.4    | 72.8     | 68.4    | 83.3    | 64.6    |
| 自分自身に関すること                            | 意思決定 | 14 | 人とは異なる意見でも、自分の考えを状況に応じて伝えることができる。             | 77.6                    | 84.4    | 84.3     | 66.2     | 82.8    | 70.6     | 65.2    | 81.8    | 75.6    | 67.9     | 68.4    | 66.7    | 75.0    |
|                                       | 意思決定 | 15 | 自分の考えに責任を持ち、自分がすべきことを決定できる。                   | 82.1                    | 84.4    | 84.3     | 78.3     | 89.7    | 73.5     | 67.4    | 86.4    | 90.2    | 76.5     | 75.4    | 79.2    | 68.8    |
|                                       | 計画実行 | 16 | 課題解決に向けて、見直しをもって行動できる。                        | 82.1                    | 88.9    | 78.6     | 81.2     | 72.4    | 70.6     | 78.3    | 54.5    | 75.6    | 74.1     | 70.2    | 83.3    | 70.8    |
|                                       | 計画実行 | 17 | 自分の役割を自覚し、計画的に行動できる。                          | 86.4                    | 88.9    | 85.7     | 85.5     | 82.8    | 73.5     | 73.9    | 72.7    | 92.7    | 77.5     | 75.0    | 83.3    | 75.0    |
|                                       | 計画実行 | 18 | 失敗しても、もう一度挑戦したり、最後までやり遂げたりしようとする。             | 88.0                    | 95.6    | 90.0     | 81.2     | 93.1    | 85.3     | 80.4    | 95.5    | 92.7    | 90.1     | 89.5    | 91.7    | 87.5    |
|                                       | 自己理解 | 19 | 自分の良いところや得意なことをあげることができる。                     | 67.4                    | 86.7    | 67.1     | 55.1     | 75.9    | 64.7     | 63.0    | 68.2    | 68.3    | 64.2     | 63.2    | 66.7    | 60.4    |
|                                       | 自己理解 | 20 | 自分は、地域や社会から必要とされていると思う。                       | 64.1                    | 77.8    | 67.1     | 52.2     | 65.5    | 57.4     | 58.7    | 54.5    | 70.7    | 61.7     | 61.4    | 62.5    | 52.1    |
|                                       | 自己理解 | 21 | 学習や生活での気付きを、自らの改善につなげている。                     | 80.9                    | 88.9    | 78.6     | 77.9     | 77.6    | 67.6     | 69.6    | 63.6    | 78.0    | 79.0     | 71.9    | 95.8    | 75.0    |
|                                       | 将来展望 | 22 | 自分の将来について考えることがある。                            | 97.3                    | 97.8    | 97.1     | 97.1     | 96.6    | 86.8     | 87.0    | 86.4    | 100     | 95.1     | 93.0    | 100     | 91.7    |
|                                       | 将来展望 | 23 | 興味や関心のある職業をいくつかあげることができる。                     | 89.1                    | 93.3    | 94.3     | 81.2     | 96.6    | 80.9     | 78.3    | 86.4    | 87.8    | 86.4     | 80.7    | 100     | 81.3    |
|                                       | 将来展望 | 24 | 人の役に立てる人になりたいと思う。                             | 94.0                    | 97.8    | 97.1     | 88.2     | 93.1    | 91.2     | 89.1    | 95.5    | 100     | 97.5     | 96.5    | 100     | 95.8    |
| 他者や社会に関すること                           | 他者理解 | 25 | 異なる立場や考えを受け入れ、理解しようと思う。                       | 94.6                    | 100     | 91.4     | 94.2     | 100     | 89.7     | 89.1    | 90.9    | 97.6    | 98.8     | 98.2    | 100     | 93.8    |
|                                       | 他者理解 | 26 | 異なる立場や考え方の良いところを見付けることができる。                   | 89.1                    | 91.1    | 90.0     | 87.0     | 98.3    | 85.3     | 82.6    | 90.9    | 85.4    | 97.5     | 96.5    | 100     | 87.5    |
|                                       | 協同   | 27 | 話し合いの時に、班やクラスの意見をまとめることができる。                  | 62.0                    | 73.3    | 70.0     | 46.4     | 55.2    | 57.4     | 60.9    | 50.0    | 46.3    | 45.7     | 38.6    | 62.5    | 43.8    |
|                                       | 協同   | 28 | お互いの良いところや違いを認め、協力することができる。                   | 92.3                    | 93.2    | 95.7     | 88.2     | 93.1    | 86.8     | 82.6    | 95.5    | 92.7    | 91.4     | 87.7    | 100     | 85.4    |
|                                       | 協同   | 29 | 異なる意見から得た気付きを生かして、考えを発展させることができる。             | 80.4                    | 88.9    | 80.0     | 75.4     | 81.4    | 75.0     | 67.4    | 90.9    | 82.9    | 74.1     | 70.2    | 83.3    | 68.8    |
|                                       | 共生   | 30 | 環境への影響を考えて、行動することができる。                        | 84.8                    | 93.3    | 84.3     | 79.7     | 93.1    | 82.4     | 82.6    | 81.8    | 82.9    | 82.5     | 83.9    | 79.2    | 81.3    |
|                                       | 共生   | 31 | 人や生き物の生命を守り、ともに生きようと思う。                       | 96.2                    | 95.6    | 100      | 92.8     | 100     | 89.7     | 84.8    | 100     | 97.6    | 98.8     | 98.2    | 100     | 93.8    |
|                                       | 共生   | 32 | 自分の生活だけでなく、社会全体のことを考えたいと思う。                   | 85.2                    | 93.2    | 84.3     | 81.2     | 89.7    | 85.3     | 84.8    | 86.4    | 90.2    | 87.7     | 84.2    | 95.8    | 81.3    |
|                                       | 社会参画 | 33 | 地域社会の一員として、自分にできることはないかと考えたことがある。             | 77.5                    | 86.7    | 76.5     | 72.5     | 81.0    | 75.0     | 76.1    | 72.7    | 82.9    | 75.3     | 70.2    | 87.5    | 68.8    |
|                                       | 社会参画 | 34 | 社会や地域の課題解決に向け、主体的に活動したいと思う。                   | 76.5                    | 91.1    | 75.4     | 68.1     | 87.9    | 67.6     | 69.6    | 63.6    | 90.2    | 77.8     | 75.4    | 83.3    | 70.8    |
| 学習活動に関すること                            | 価値認識 | 37 | 総合的な学習は生きていく上で大切なことを学んでいると思う。                 | 90.8                    | 91.1    | 90.0     | 91.3     | 89.7    | 88.2     | 87.0    | 90.9    | 100     | 93.8     | 93.0    | 95.8    | 81.3    |
|                                       | 価値認識 | 38 | 総合的な学習は楽しい。                                   | 79.7                    | 77.0    | 82.0     | 77.9     | 84.5    | 89.1     | 85.2    | 77.3    | 87.8    | 77.8     | 73.7    | 87.5    | 70.8    |
|                                       | 価値認識 | 39 | 総合的な学習は、何を勉強しようとしているのかわからない。(反転項目)            | 28.3                    | 42.2    | 28.6     | 18.8     | 17.2    | 27.9     | 32.6    | 18.2    | 29.3    | 23.5     | 26.3    | 16.7    | 27.1    |
|                                       | 学習意欲 | 40 | 総合的な学習に一生懸命取り組んでいる。                           | 91.8                    | 95.6    | 89.7     | 91.3     | 93.1    | 88.2     | 84.8    | 95.5    | 97.6    | 95.1     | 93.0    | 100     | 81.3    |
|                                       | 学習意欲 | 41 | 教科で学習したことを生かして、総合的な学習で調査や分析をしている。             | 68.5                    | 82.2    | 72.9     | 55.1     | 72.4    | 72.1     | 65.2    | 86.4    | 68.3    | 64.2     | 61.4    | 70.8    | 58.3    |
|                                       | 学習意欲 | 42 | 総合的な学習では、今まであまり考えなかった問題に取り組んでいる。              | 87.5                    | 91.1    | 87.1     | 85.5     | 86.2    | 79.4     | 80.4    | 77.3    | 92.7    | 87.5     | 86.0    | 91.3    | 81.3    |
|                                       | 価値認識 | 43 | 教科の学習と総合的な学習はつながっていると感じることがある。                | 79.2                    | 86.4    | 84.3     | 69.6     | 75.9    | 66.2     | 60.9    | 77.3    | 80.5    | 76.5     | 70.2    | 91.7    | 77.1    |
|                                       | 価値認識 | 44 | 総合的な学習で学んだことは、普段の自分の生活や将来に役立つと思う。             | 91.3                    | 95.6    | 94.3     | 85.5     | 89.7    | 82.4     | 78.3    | 90.9    | 92.7    | 86.4     | 82.5    | 95.8    | 81.3    |
|                                       | 学習意欲 | 45 | 家族と総合的な学習について話すことがある。                         | 50.0                    | 73.3    | 48.6     | 36.2     | 43.1    | 47.1     | 45.7    | 50.0    | 58.5    | 51.9     | 49.1    | 58.3    | 43.8    |
|                                       | 学習意欲 | 46 | 総合的な学習で取り組んでいる課題について、新聞やテレビなどで見たり聞いたりしたことがある。 | 65.8                    | 73.3    | 60.0     | 66.7     | 51.7    | 50.0     | 54.3    | 40.9    | 68.3    | 44.4     | 36.8    | 62.5    | 62.5    |

# 真庭Try&Report (TR) PPT作成講習会資料 (令和元年度1年生中間発表会に向けて作成したものを編集)

OKAYAMA Prefecture | MANIWA HIGH SCHOOL

1. TR1年生中間発表会<10月28日(月)>

## 3チャンネル×6班=全18班 (7分発表+2分質疑応答) 配布資料自由

- ・プレゼン形式(パワーポイント)
- ・観覧者を意識して、原稿なしで大きな声でハッキリとユックリと
- ・伝わりやすいスライド作成を心がけて

※TR成果発表会 令和2年2月7日(金)  
8分発表+3分質疑応答、9教室で全18班発表  
(大学・高校・地域の方々が来校→質疑あり!)

1

OKAYAMA Prefecture | MANIWA HIGH SCHOOL

## 2. 発表用スライドの流れ(例)

※発表スライドは1枚(タイトル・メンバー)+6枚の合計7枚で作るのがオススメ!  
まとめ冊子原稿作成時に、この最初の一枚を削除するだけでよいので楽!。年度末原稿提出の頃は忙しいぞ!

活動の目的・きっかけ

取り組んだ内容(過去)

結果に対する考察・気づき(現在)

成果・今後の課題(未来)

まとめ・感想・SDGs17のアイコンの図2, 3枚

※この流れが絶対ではないが、主要ポイントは外さないように!

2

OKAYAMA Prefecture | MANIWA HIGH SCHOOL

## 3. 発表用スライドのラストに

17 パートナシップ  
持続可能な開発目標

自分たちの取り組み船団のこと  
が17の目標の間に  
つながると  
考えだが、  
高校のまとめ、感想のスラ  
イドに2, 3枚のアイコン  
を選んでね!

SDGs⇔TR  
Think globally, Act locally  
つながりの実感

3

OKAYAMA Prefecture | MANIWA HIGH SCHOOL

## 4. まとめ冊子(成果報告書)原稿作成

児童クラブ

1 児童クラブの発行

2 タイトル

3

4

5

6

スライド6枚(手書きの解説)モノクロ  
①活動の目的・きっかけ  
(タイトル・メンバーはページ上に入力)  
②~⑤取り組み内容・考察  
⑥成果・今後の課題・まとめ  
12月作成スタート→2月末提出が切

スライドに加えて、必要な情報・  
解説をスライド下に入力。

※だから、発表スライドは1枚(タイ  
トル・メンバー)+6枚の合計7枚で  
作るのがオススメ!

※別紙まとめ冊子作成マニュアルあり 4

OKAYAMA Prefectural MANIWA HIGH SCHOOL

5. スライドの作り方 伝わりやすいスライドとは

- 文字の大きさ(大きすぎず、小さすぎず)
- 文字の量(少なめで。口頭で伝えれば良い)
- 色使い(スクリーン映り具合も要確認)
- アニメーション(むやみに使わない)
- イラスト・写真・図・表(伝わりやすい)

6

OKAYAMA Prefectural MANIWA HIGH SCHOOL

6. 写真を使うと...

- ① Aさんの畑は1ヘクタールもあります！(1ヘクタールって伝わる?)
- ② 1ヘクタール=100m x 100m
- ③ Aさんの畑は1ヘクタール  
ちよど落合校地のグラウンドくらい  
(伝わるでしょ!)



6

OKAYAMA Prefectural MANIWA HIGH SCHOOL

7. 写真を使うと...

自分たちが写っている  
→ 実体験している様子が伝わる

写真選びのポイント

- ◎ 何をしているかよく分かる
- ◎ 関係ない人が写っていない
- ◎ 伝えたい部分だけを切り取る

校外に出て行ったときの記録など、  
頻繁に写真を撮っておくべき！  
★ 恥ずかしいとか言って写真に写らない人がいると、チームみんなが最終的に困るぞ！



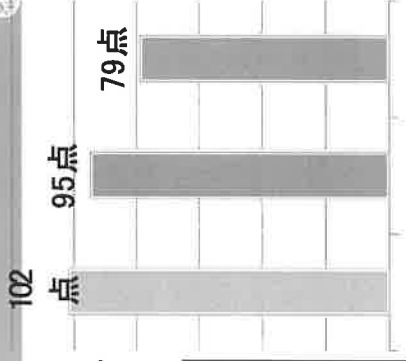
7

OKAYAMA Prefectural MANIWA HIGH SCHOOL

8. 図や表を使うと...

- ① 体育祭の順位は、1位A組102点、  
2位B組95点、3位C組79点でした。
- ② 体育祭の順位

|    |    |      |
|----|----|------|
| 1位 | A組 | 102点 |
| 2位 | B組 | 95点  |
| 3位 | C組 | 79点  |



A組 B組 C組

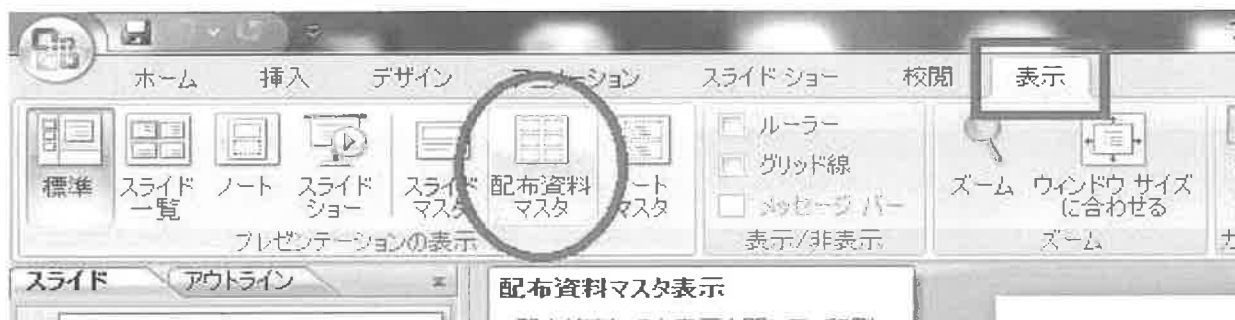
8

## まとめ用紙原稿パワーポイント 印刷前の設定！！

¥WS5420DN611D¥otiai\_terastation¥2019¥T\_TR(真庭トライ&レポート)¥000.作成マニュアル  
(PPT・まとめ冊子原稿) 内にある パワーポイントまとめ冊子原稿マニュアル(R01.07.12 修正済)

### ☆設定する手順

「表示」タブの「配布資料マスタ」をクリック



### ①発表者名の入力

左上のヘッダーに名前を入力



入力範囲を広げることできます!!

### ②日付の削除

日付のチェックをはずす



### ③ページ番号の削除

ページ番号のチェックをはずす



一応・・・  
フッターもチェックをはずしておいてください！

### ④挿入

横書きテキストボックス

フォントサイズ10で160文字以内

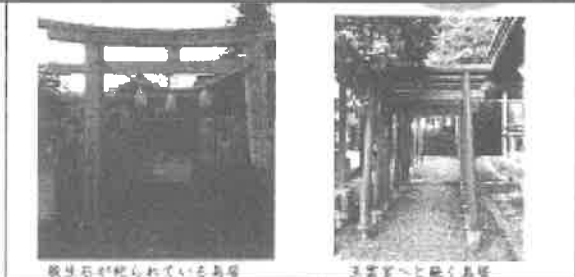
☆ 印刷手順 ☆

① 「印刷」もしくは「印刷プレビュー」画面にする。

**【完成イメージ】**  
 網掛けの部分にコメントを書く。  
 詳しくは昨年度冊子を参照。



【ヘッダーに入れるもの】  
 O班『タイトル～サブタイトル～』  
 メンバー名(クラス・番号不要)

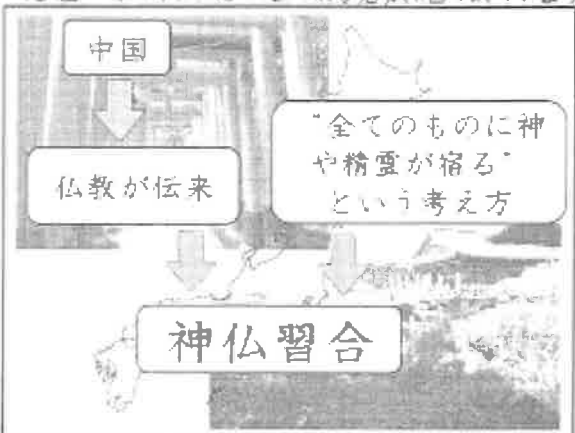


私達がこのテーマを選んだ理由は、私達が歴史に興味があるから。今年が美作の国、健国1300周年だ。

**タイトルスライドは入れない!**  
 ※ヘッダーに情報は入れるため



1386年当時の勝山藩主 三浦貞宗によって建てられました。お寺の中に鳥居があるのは不思議な光景です。これは元々お寺があった場所に神社を呼びよせたからだそうです。このお寺には「九尾の狐の伝説」にまつる石が祀られています。



化生寺や岡山寺が神様という異質な存在を受け入れられたのは、神仏習合の歴史のおかげです。それぞれのお寺の住職さんに、神仏習合ならば、せが木山寺・木山神社を調べたらどうかとおすすめされ調査をしました。

スライドに掲載できなかったことを補足してください。手書きもOK。右半分の例のように入力するのもOKです。その場合はスライドを画像化してWORDなどを使う方法になる。詳細は聞いて下さい★

【手書きの場合の注意点】  
 濃い字  
 (清書はボールペンでも良いくらい)  
 丁寧な字  
 読めない字は何度でも書き直し

まとめ・将来に向けて

- 現在では再び神と仏の境目があいまいになっている
- 日本人独特の宗教観が生まれた

- 生徒に歴史を持ってもらえるような教材になりたい (三村 香奈代)
- 調べた内容を今後深めながら進路決定に生かす (前川 貴紀)
- 楽しい企画展示のできる学習日になる (小林 詩歩)

現在では、仏壇と神棚が一つの場所に存在したりと神仏の境目が再びあいまいになってきている。私達は、今回の経験を自分の将来に生かしていきたいと思っております。

大お客でした。しかし、明治の神仏分離の政策により、神と仏が別々のものとされ、現在の形に鎮まりました。

○班 「タイトル～サブタイトル～」

○○○○, △△△△, □□□□, ☆☆☆☆

①  
目標・目的  
当初の疑問点  
など

考察は必ずいれてください！

②  
仮説  
or  
内容

手書きでもかまいません！

③  
内容  
or  
考察

④  
内容  
or  
考察

⑤  
考察

⑥  
考察  
or  
まとめ




















## 真庭SDGsパートナー宣言書

企業・団体名 岡山県立真庭高等学校

代表者名 校長 赤松 一樹

次のとおり真庭市とともに持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献することを宣言します。

### 1 関係するSDGs目標（ゴール）（○を入れてください。）

|   |   |  |  |  |  |
|---|---|--|--|--|--|
|    |    |  <input type="checkbox"/>   |  <input type="checkbox"/> |                             |   |
|   |   |                            |                          |                            |  |
|  |  |  <input type="checkbox"/> |                         |  <input type="checkbox"/> |  |

### 2 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する内容

#### Think Globally Act Locally

- ユネスコスクールとしてSDGs目標達成に向けて学校全体で取り組みます。
- 【学校全体】こちら高校市民課防災係『通称こち防』で地域と協働して防災活動に取り組みます。
- 【普通科・看護科】真庭トライ&レポート『通称TR』（総合的な学習の時間、総合的な探究の時間）の取組を通して、SDGsについて学び、高校生にできることを地球的な視野で考え、地域で行動します。
- 【生物生産科・食品科学科】真庭市と連携・協働しジビエを活用した商品開発や、バイオ液肥実証研究に取り組みます。
- 落合校地が中心となり、真庭市内2校4校地で真庭いきいきテレビ『SDGsって何?』番組協働制作。（令和元年5月～令和2年3月）

企業・団体の事業等において、持続可能な開発目標（SDGs）の達成にどのように貢献するか、1で○を入れたSDGs目標（ゴール）の達成にどのように貢献するかなどを記載してください。

真庭SDGsパートナー一覧(RO2.02.25現在)

| 番号 | 企業・団体名                    | 番号  | 企業・団体名               |
|----|---------------------------|-----|----------------------|
| 1  | ランデス株式会社                  | 66  | 真庭市電水協同組合            |
| 2  | 株式会社イシン住宅研究所              | 67  | ワイテック工業株式会社          |
| 3  | 中高年から始める らくらくピアノサークルinまにわ | 68  | ひるぜんワイン有限会社          |
| 4  | 株式会社藤岡エンジニアリング            | 69  | 岡山県小学校長会真庭支部         |
| 5  | 株式会社グリーンピア蒜山              | 70  | 岡山県中学校長会真庭支部         |
| 6  | 株式会社マルイ                   | 71  | 岡山地方法務局津山支局          |
| 7  | 梶岡建設株式会社                  | 72  | 真庭市立河内小学校            |
| 8  | 服部興業株式会社                  | 73  | 一般社団法人真庭観光局          |
| 9  | 大島技術コンサルタント株式会社           | 74  | 岡山パールライス株式会社         |
| 10 | 真庭農業協同組合                  | 75  | まにわ・しめ山プロジェクト        |
| 11 | 株式会社三謳                    | 76  | 有限会社ファインアートかわばた      |
| 12 | 有限会社エコライフ商友               | 77  | 社会福祉法人秋桜会            |
| 13 | 銘建工業株式会社                  | 78  | 真庭地域自立支援協議会          |
| 14 | 十字屋グループ                   | 79  | 株式会社齋藤燃糸             |
| 15 | 株式会社アストピア蒜山               | 80  | 中国電力株式会社津山営業所        |
| 16 | 公益財団法人真庭エスパス文化振興財団        | 81  | 真庭市環境衛生協議会           |
| 17 | 特別養護老人ホーム千寿荘              | 82  | 一般社団法人真庭市医師会         |
| 18 | 株式会社ヒルゼン高原センター            | 83  | 真庭市議会                |
| 19 | 山下木材株式会社                  | 84  | 株式会社すえ木工             |
| 20 | (株)HAPPY FARM plus R      | 85  | 小林測量設計株式会社           |
| 21 | 岡山トヨタ自動車株式会社              | 86  | 真庭交通安全協会             |
| 22 | NPO法人真庭あぐりガーデンプロジェクト      | 87  | 真庭市人権教育推進委員会         |
| 23 | CHICK                     | 88  | 株式会社四方一商店            |
| 24 | 有限会社フクモトタクシー              | 89  | NPO法人子育て支援の会「サポートあい」 |
| 25 | 岡山県立真庭高等学校                | 90  | 放課後児童クラブ ピオキッズ学童クラブ  |
| 26 | 真庭圏域危険物安全協会               | 91  | 昭和化学工業株式会社           |
| 27 | 真庭市栄養改善協議会                | 92  | 真庭市立久世中学校            |
| 28 | 株式会社トンボ                   | 93  | 真庭市立北房小学校            |
| 29 | 合同会社PORT-LAIT             | 94  | 真庭市立湯原小学校            |
| 30 | 真庭歯科医師会                   | 95  | 真庭市立湯原中学校            |
| 31 | 真庭市愛育委員会                  | 96  | 真庭市立八束小学校            |
| 32 | 株式会社三木工務店                 | 97  | 真庭市立落合中学校            |
| 33 | 一般社団法人岡山県建築士会真庭支部         | 98  | 真庭市立木山小学校            |
| 34 | 真庭市消防団                    | 99  | 真庭市立川上小学校            |
| 35 | 一般財団法人真庭スポーツ振興財団          | 100 | 真庭市立北房中学校            |
| 36 | 真庭市老人クラブ連合会               | 101 | 真庭市立美川小学校            |
| 37 | 公益社団法人真庭市シルバー人材センター       | 102 | 真庭市立余野小学校            |
| 38 | 岡山県建設業協会真庭支部              | 103 | 真庭市立蒜山中学校            |
| 39 | 真庭森林組合                    | 104 | 真庭市立檜邑小学校            |
| 40 | 真庭木材事業協同組合                | 105 | 真庭市立勝山小学校            |
| 41 | 真庭市立草加部小学校                | 106 | 真庭市立落合小学校            |
| 42 | 真庭バイオマス発電株式会社             | 107 | 真庭市立富原小学校            |
| 43 | 真庭市立天津小学校                 | 108 | 真庭市立川東小学校            |
| 44 | 社会福祉法人真庭市社会福祉協議会          | 109 | 真庭市立美甘小学校            |
| 45 | 真庭市民生委員児童委員協議会            | 110 | 真庭市立勝山中学校            |
| 46 | 真庭地区保護司会                  | 111 | 有限会社竹中商店             |
| 47 | 岡山県栄養士会真庭支部               | 112 | 真庭市立米来小学校            |
| 48 | 真庭市文化連盟                   | 113 | 真庭市立中和小学校            |
| 49 | 真庭商工会                     | 114 | 生活協同組合おかやまコープ        |
| 50 | 有限会社ダイサン                  | 115 | 株式会社三協商建             |
| 51 | テクノス株式会社真庭支店              | 116 | 岡山県農業共済組合            |
| 52 | 株式会社明日香                   | 117 | 岡山県立勝山高等学校蒜山校地       |
| 53 | 株式会社マニワプラン                | 118 | 有限会社富永ふとん店           |
| 54 | 株式会社ケーアイケーコンサルタント         | 119 | 真庭市内郵便局              |
| 55 | 有限会社ナラサキシビルエンジニア          | 120 | 家庭食堂 ROOF            |
| 56 | 大成コンサルタント真庭支店             | 121 | 草澤水路組合               |
| 57 | 株式会社アークコンサルタンツ真庭営業所       | 122 | 有限会社醍醐の里             |
| 58 | 株式会社ウジョウ                  |     |                      |
| 59 | 岡山県看護協会真庭支部               |     |                      |
| 60 | 真庭市立月田小学校                 |     |                      |
| 61 | 東真産業株式会社                  |     |                      |
| 62 | 参画まにわ                     |     |                      |
| 63 | 津山人権擁護委員協議会真庭地区           |     |                      |
| 64 | 真庭市DV被害者サポーター             |     |                      |
| 65 | 真庭市立遷喬小学校                 |     |                      |



# 第1学年



令和元年度 1年生 真庭トライ&レポート (TR) 年間活動計画

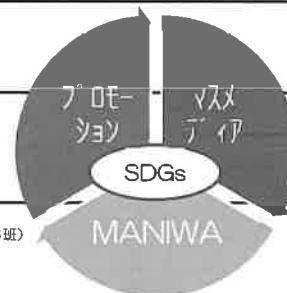
| 回  | 月   | 日           | プロセス             | 評価            | 内 容   | 形 態  | 活動場所  | 担当者          |                |  |              |      |     |
|----|-----|-------------|------------------|---------------|---|--|---|--------------|----------------|--|--------------|------|-----|
| 1  | 4月  | 15日         | (1)テーマ導入         | 評価Ⅰ           | ■TR導入：TRムービー・説明 (Tryやってみる・Report人に伝える)・3年間の見通し<br>■地域散策：落合総合センター・しめ山付近・サンブラザ・コミュニティスペース・商店街   | 1年全体   | 会議室<br>校外   | TR担当者<br>1年団 |                |  |              |      |     |
| 2  | 4月  | 22日         |                  |               | ■宿泊研修でのTR活動の事前準備<br>イメージマップ作成と学校周辺のファクター分析  | 各クラス   | 各HR   | 各担任          |                |  |              |      |     |
| 3  | 4月  | 25日         |                  |               | ■SDGsについて (PPT説明) Think Globally, Act Locally   | 1年全体   | 宿泊研修2日目<br>友愛の丘   | TR担当者        |                |  |              |      |     |
| 4  | 4月  | 25日         |                  |               | ■学校周辺にあったもの・あったらいいもの (付箋紙色分け→イメージマップ→各班発表)  | 各クラス   |   | 各担任          |                |  |              |      |     |
| 5  | 4月  | 25日         |                  |               | ■学校周辺にあったもの・あったらいいもの (クラス代表発表→質疑応答→指導講評)  | 1年全体   |   | 1年団          |                |  |              |      |     |
| 6  | 5月  | 21日         |                  |               | (2)テーマ設定<br>(3)探究活動計画   | 評価Ⅰ  | ■『SDGs～MANIWAの“I=愛”～』チャンネル希望調査アンケート<br>(総計にて調査→即回収→審査期間中にグループ編成)  | 各クラス         | 各HR            | 各担任  |              |      |     |
| 7  | 5月  | 27日         |                  |               |   |  | ■MIT『SDGsって何?』視聴<br>→『SDGs～MANIWAの“I=愛”～』ガイダンス・4チャンネル活動内容 (PPT説明) | 1年全体         | 会議室            | TR担当者  |              |      |     |
| 8  | 6月  | 3日          | (4)探究活動①         | 評価Ⅱ<br>Ⅲ      | ■チャンネル内グループ割り<br>→計画・テーマ設定 →活動計画書 (A4版) 担当者へ提出  | 各チャンネル   | ①3組HR<br>②美術室<br>③講義室<br>+<br>視聴覚教室<br>図書室<br>校外など                | 各担当者         |                |  |              |      |     |
| 9  | 6月  | 10日         |                  |               | ■五感を通じた体験を積み重ねる。<br>■input (読む聞く) + output (話す書く行動する) → outcome (成果・効果)<br>自分の目で見る、耳で聞く、手で触れる、足で訪れる。<br>メディア情報 (本・TV・PC) だけに頼らない。<br>・各プロジェクトで外部講師講義OK<br>・図書館・インターネットでの調べ学習<br>・校外インタビュー<br>・アンケート (生徒・教員・保護者・地域)<br>・実験・実習・制作<br>・カメラ・ビデオ活用・パソコン<br>・調査 (同じ場所にて複数回) (異なる場所でも比較分析) |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 10 | 6月  | 17日         |                  |               | ※7月 8日 ④看護科臨地実習<br>※7月25日 ⑤PPT講習会<br>※9月18日 (水) 1～5限スタサポ、6限・7限TR  |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 11 | 6月  | 24日         |                  |               | ■中間発表に向けたまとめ パワーポイントなど発表準備  |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 12 | 7月  | 7日          |                  |               | ■中間発表会 3・4限+5・6限<br>3・4限：チャンネル内発表会 各チャンネル6班 【7分発表→2分質疑応答】<br>5・6限：2年発表会 3チャンネル×2班 (6班) 【7分発表→2分質疑応答】<br>2020/02/07 成果発表会は【8分発表→3分質疑応答】  |  |   |              | 3・4限<br>各チャンネル | 3・4限<br>①②③  | 3・4限<br>各担当者 |      |     |
| 13 | 7月  | 8日          |                  |               | ■実体験を通じた学習<br>中間発表会での学びを活かして、さらにスケールアップを図る。   |  |   |              | 各チャンネル         | ①3組HR<br>②美術室<br>③講義室<br>+<br>視聴覚教室<br>図書室<br>校外など | 各担当者         |      |     |
| 14 | 7月  | 補習<br>7/25  |                  |               | ■成果発表会に向けたまとめ パワーポイントなど発表準備<br>■まとめ冊子原稿作成 (パワーポイント印刷+手書きメモ)<br>※今年度は成果発表会のあと1時間しか授業がないため、<br>成果発表会準備と並行してまとめ冊子原稿作成を行う。  |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 15 | 9月  | 18日         |                  |               | ■チャンネル内発表会→Q&Aまでできれば。   |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 16 | 9月  | 30日         |                  |               | ■TR成果発表会  |  |   |              |                |  |              | 教室棟  | 1年団 |
| 17 | 9月  | 30日         |                  |               | ■TRアンケート・年間振り返り   |  |   |              |                |  |              | 各クラス | 各HR |
| 18 | 10月 | 7日          | (5)まとめ①          | 評価Ⅰ<br>Ⅱ<br>Ⅲ | 各チャンネル  | 教室棟  | 1年団   |              |                |  |              |      |     |
| 19 | 10月 | 21日         |                  |               |   |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 20 | 10月 | 28日         |                  |               |   |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 21 | 10月 | 28日         |                  |               |   |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 22 | 10月 | 28日         |                  |               |   |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 23 | 11月 | 11日         | (4)探究活動②         | 評価Ⅱ<br>Ⅲ      | 各チャンネル  | ①3組HR<br>②美術室<br>③講義室<br>+<br>視聴覚教室<br>図書室<br>校外など | 各担当者  |              |                |  |              |      |     |
| 24 | 11月 | 25日         |                  |               |   |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 25 | 11月 | 25日         |                  |               |   |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 26 | 12月 | 9日          |                  |               |   |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 27 | 12月 | 16日         |                  |               |   |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 28 | 12月 | 16日         |                  |               |   |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 29 | 12月 | 補習<br>12/26 | (5)まとめ②          | 評価Ⅰ<br>Ⅱ<br>Ⅲ | 各チャンネル  | 教室棟  | 1年団   |              |                |  |              |      |     |
| 30 | 1月  | 20日         |                  |               |   |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 31 | 1月  | 27日         |                  |               |   |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 32 | 1月  | 27日         |                  |               |   |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 33 | 2月  | 3日          | (6)発表②           | 評価Ⅰ<br>Ⅱ<br>Ⅲ | 各クラス  | 各HR  | 各担任   |              |                |  |              |      |     |
| 34 | 2月  | 7日          |                  |               |   |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 35 | 2月  | 7日          |                  |               |   |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 36 | 2月  | 7日          |                  |               |   |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 37 | 2月  | 7日          |                  |               |   |  |   |              |                |  |              |      |     |
| 38 | 2月  | 17日         | (7)フィードバック<br>総括 |               |   |  |   |              |                |  |              |      |     |

※1年団：花谷・安楽・森年・宮地/宗田・山口・宮地/麻田・中川・中山

■形態：学年単位とし、3年間を通して段階的に発展していく。3年間の見通しをもって、総合的な探究の時間『真庭Try&Report (TR)』を計画する。  
【第1学年】『HOW TO LEARN』(ものごとを調べ、まとめる方法を学ぶ) 課題別グループ学習【興味・関心を広げる】  
【第2学年】『WHAT TO LEARN』(自分で課題を設定し、調べる) 進路別課題学習【知識・理解を深める】  
【第3学年】『HOW TO LIVE』(進路実現・卒業後の生活のために学ぶ) 進路別課題学習【具体的な自身の進路実現】

■学年テーマ『SDGs～MANIWAの“I=愛”～』  
【普通科4.0名+看護科3.4名】→3チャンネル【①2.4・②2.5・③2.5】→各チャンネル6班【各班4名】  
→ビデオ・まとめ冊子を用いてTRの説明 → 各クラスイメージマップで考えを広げて整理  
→ 生徒は自身の興味・関心・目標に応じて希望調査用紙提出 → チャンネルメンバー分け

| SDGs<br>MANIWA<br>の<br>“I=愛” | ①マスメディアチャンネル 24名 (男子8名・女子16名) 4名×6班 (計6班)<br>真庭いきいきテレビ番組制作『SDGsって何?』<br>サンブラザ実習調査・インタビュー・アンケート→トンボ学生服素材活用エコバッグ制作イベント<br>割りばしと森林活用・森林伐採 など | 3組HR | 中川<br>麻田             |
|------------------------------|---|------|----------------------|
|                              | ②MANIWAチャンネル 25名 (男子10名・女子15名) 4名×5班+5名×1班 (計6班)<br>しめ山プロジェクトSDGs事業 地域おしほ協力隊 コミュニティスペース活用<br>空き家の問題を多面的に見る<br>耕作放棄地ぐ再び農業の取組を試みる など        | 美術室  | 宗田<br>竹田<br>山口       |
|                              | ③プロモーションチャンネル 25名 (男子10名・女子15名) 4名×5班+5名×1班 (計6班)<br>真庭市SDGsプロモーション企画 SDGsプロモート商品開発<br>学校ホームページのSDGsっぽいデザイン化<br>学校のSDGsの取組を学校ホームページで紹介 など | 講義室  | 森年<br>宮地<br>花谷<br>安楽 |



※各プロジェクトに複数教員を割り当て、出張休暇等に柔軟に対応する。(不在予定は事前に連絡を。)

※活動場所【図書室】【社会科教室】【視聴覚教室】【電算室】【4-1】【4-2】【5-1】【5-2】【5-3】【5-4】などは1・3年団で事前協議。  
電算室・視聴覚教室PC使用について：3年生が電算室、1年生が視聴覚教室を原則とする。(3年生が使わない3学期は電算室も使用可能)

※『MIT』『真庭市』『しめ山プロジェクト』などの外部機関と積極的に協働して探究活動を深める。

## (H31) 1年TR

### TR概要・SDGs概要・「MANIWAの“I=愛”プロジェクト」概要

※斜体は学校資料より

#### ■真庭高校落合校地の学校教育目標

1. ミッション *Think Globally Act Locally* —地球的な視野で考え、地域で行動する—
2. 育てるべき生徒像
  - (1) 高い志を持ち、進路希望の実現に向けて、確かな学力を磨く生徒
  - (2) 心身ともに健康で、自己指導力を身に付けた生徒
  - (3) 地域に参画し、地域の未来を想像する生徒

※基礎学力向上に常に立ち返りつつ、思考力と実践力を両軸とし、想像力・人間性・社会性を養い、地域社会の発展に貢献できる人間性豊かな人材を育成する。

ミッション *Think Globally Act Locally* は、世界という共同体の一員として、自分が身を置く場所から、共同体の持続的継続的幸せのために、何ができるかを考え、行動していくということである。この学校教育目標の元に、キャリア教育の重点目標を定めている。

#### ■キャリア教育の重点目標

- 生徒 自己理解を深めるとともに、地域社会の一員としての自覚と責任をもち、周囲への理解に努める姿勢を育成し、自己の適性を活かした進路の実現を図り、具体的展望を得る。
- 教員 「育てたい生徒像」を全教職員が共通理解しつつ、総合的な探究の時間の運用や、インターンシップ等における体験学習、各種学校行事の企画実施等、様々な教育活動をキャリア教育として横断的に位置づけ、体系的・組織的に捉えて取り組む。

本校のキャリア教育の特徴は、学校全体で教育の“ミッション”と“育てるべき生徒像”が指針として明確に示されており、その指針に向けてのキャリア教育の目標が、“生徒”と“教員”、どちらともに設定されていることである。

#### ■TR（キャリア教育の観点から）

TRとは、“Try=やってみた”ことを“Report=発表する”活動である。生徒たちは地域貢献をキーワードに地域に繰り出し、様々な体験を通しながら自分たちに何ができるかを考え、実践していき、その取組を発表として形にする。昨今の変化の激しい社会において求められている、答の無い問いに向き合い、考える、探究型の教育活動である。

TRは、各学年ごとに3年間の活動の見通しを持たせて活動を展開している。そして、各学年の活動ごとに、キャリア教育としての位置づけも設定されている。

- 1年時TR【How to learn】・・・物事の調査、総括の手法を学ぶ。

キャリア教育としての位置づけ：キャリア体験講座や総合的な探究の時間における地域参画体験を通じ、自己理解を深めるとともに、地域の大人から生き方や在り方を学び、進路選択について考える端緒とする。

- 2年時TR【What to learn】・・・自分で課題を設定し、調べる。

キャリア教育としての位置づけ：総合的な探究の時間での体験学習で、より主体性を発揮し、地域や集団と協議・交流を行いつつ、地域の課題を発見し、その解決に努めようとする姿勢や解決力を身に付けていく。また、企業へのインターンシップを実施し、職業観の獲得に努める。

- 3年時TR【How to live】・・・卒業後の生活確立のために学ぶ。

キャリア教育としての位置づけ：1・2年時に得た知見を土台として、地域活動では大人と一緒に企画等の意思決定を行ったり、自治体における企画の提案を行っていく等、企画力・実践力・調整力のある人材育成に努め、根拠ある進路決定と展望ある自己実現を図る。

## ■SDG s

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

※斜体は外務省HPより

- ・持続可能な開発目標 (SDG s)
- ・17のゴールと169のターゲット
- ・2015年9月の国連サミットで採択
- ・2016年から2030年までの国際目標



真庭市は、持続可能な開発目標 (SDG s) の達成に向けた優れた取組を行う都市として全国29都市の「SDG s 未来都市」に、また、その取組自体も先導的なものとして全国10事業の「自治体SDG s モデル事業」に選定されました。

今後は、選定されたモデル事業をはじめ、真庭市の事業をSDGsの理念と結び付け、真庭版SDGsの取組を「SDGs 未来都市」の取組として全国に発信しながら、「真庭ライフスタイル (多彩な真庭の豊かな生活)」の実現に向けて引き続き取り組んでいきます。

※斜体は真庭市HPより

SDG s の考え方は、現代を生きる全世界の人間にとって、国際社会に生きるのに必要な資質と指針を示している。そして本校の教育のミッション Think Globally Act Locally の実現にあたり、SDG s に掲げられたアジェンダは、教育活動とも関連性を持たせやすく、地域社会と教育とのつながりを教員ないし生徒に示している。

SDG s を TR 教育活動の中核に置くことで、生徒の活動は社会的意義と生産性を持ち、進路選択と進路実現のためのキャリア教育に重要な役割を果たす。それと同時に、AO や推薦入試における面接や小論文試験において、自分の考えを展開する源泉となる、価値観や問題意識を醸成することにつながる。

■ (H31) 1年 TR「MANIWAの「I=愛」プロジェクト」

年間活動概要(案)

| チャンネル名                  | 内容  | 担当教員                   |
|-------------------------|---|------------------------|
| <p>マスメディア<br/>チャンネル</p> | <p>■概要：真庭イキイキTVと本校生徒が協働し、番組制作を行う。</p> <p>■番組名：「SDGsって何？」</p> <p>■放送時間と期間：1か月に30分×7日（同じ内容を7回放送）<br/>5月20日～3月の計11カ月（本校の参加は6月から）</p> <p>■番組趣旨：2018年より、真庭市が「SDGs未来都市」として全国29都市の一つとして選定されたことを受けて、地域全体でSDGsの取組を活発化させるために、SDGsに対する理解を真庭地域に広めることを目的としている。</p> <p>■番組内容案：30年度より真庭市から交付金を受けてSDGsの取組を推進した企業の紹介VTR動画に、本校生徒がナビゲーターとして取材し、SDGsについて視聴者とともに学ぶ。本校を含む真庭市4校地の学校におけるSDGsの取組も取り上げ、真庭地域にSDGsを「身近なもの」として発信し、周知を図る。</p> | <p>中山・中川<br/>麻田</p>    |
| <p>MANIWA<br/>チャンネル</p> | <p>■概要：「まにわ・しめ山プロジェクト」が進めている、空き店舗をコミュニティスペースとして再生する取組と協働し、「①地域に開かれた学校②学校をセンターとした地域の活性化」を目指す。コミュニティスペースを活用し、様々な催しを企画する。</p> <p>■キーワード：【地域の窓口・地域の交流の場・地域のセンター】</p> <p>■活動内容：空き家の改装<br/>空き家の活用<br/>【候補】（アート作品展示・写真展・課題研究の発表・ワークショップ）<br/>（学童保育の場・学校と地域の議会や交流の場）</p>  | <p>宗田・竹田<br/>山口</p>    |
| <p>SNS<br/>チャンネル</p>    | <p>■概要：学校でSNSのアカウントを開設し、学校HPと連携して、生徒に運営管理をさせる。SNSの特性を活かし、学校の取組や意見を発信し、地域社会の取組や意見を受信する、真庭情報社会のプラットフォームを形成する。<br/>真庭市が推進する、SDGsの取組をホームページ上で発信しあう「真庭SDGsパートナー」に該当する取組。</p> <p>■キーワード：ネットでの【地域の窓口・地域の交流の場・地域のセンター】</p> <p>■活動内容：SNSのアカウント開設と運営管理、学校HPとの連携<br/>学校の取組や意見の情報発信<br/>地域社会の取組や意見の情報受信（目安箱）<br/>地域社会と真庭生徒の情報の仲介、斡旋</p>   | <p>森年・宮地<br/>花谷・安東</p> |

※「MANIWAの「I=愛」プロジェクト」(仮)は、進捗具合を加味しながら、2学年も継続して行う。

■ (H31) 1年 TR「MANIWAの“I=愛”プロジェクト」(仮)

立ち上がり活動内容

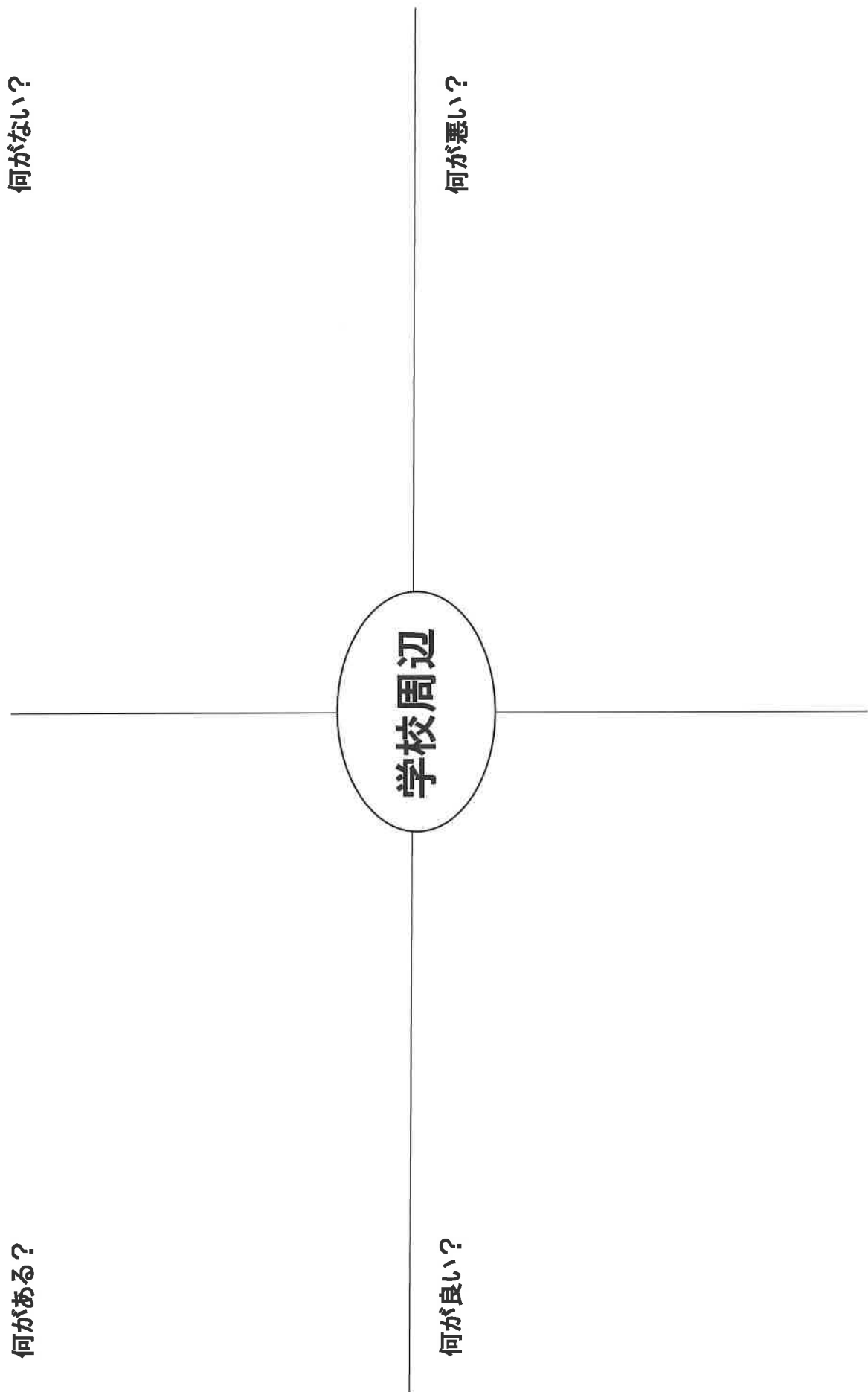
| チャンネル名   | 内容   | 担当教員           |
|--|--|----------------|
| 共通   | ①プロジェクト名の公募<br>②チーム分け(チームごとの探究テーマの決定)<br>③探究活動計画 + 研究活動計画(生徒と担当者ともに、状況把握に活用)<br>④告知(中間発表、PowerPointの作成)<br>⑤<br>⑥  |                |
| マスメディア<br>チャンネル<br><br>24人(+1)<br><br>1チーム<br>3~4人 | ①「真庭いきいきTV」との打ち合わせ<br>②収録スケジュールの確認とシフト組み<br>③取材企業の予習<br>④SDGs学習<br>⑤<br>⑥<br><br>☎「真庭いきいきTV」森下さゆり様：0867-42-7205  | 中山・中川<br>麻田    |
| MANIWA<br>チャンネル<br><br>24人(+1)<br><br>1チーム<br>3~4人 | ①コミュニティスペース活用の企画立案<br>②空き家について学習<br>③「地域おこし協力隊」吉原さんの講話(事前に質問を確認)<br>④<br>⑤<br>⑥<br><br>☎「地域おこし協力隊」吉原さん：  | 宗田・竹田<br>山口    |
| SNS<br>チャンネル<br><br>24人(+1)<br><br>1チーム<br>3~4人    | ①SNS学習(情報モラル)<br>②SNSアカウント開設(LINE・Facebook・Twitter・Instagram)<br>(運用ポリシー及び規約の設定⇒県に届ける)<br>③フォロワー拡大<br>④投稿用取材(学校・TRの取り組み、地域の取り組み、地域のスポット紹介)<br>⑤地域の情報収集と、学校への還元<br>⑥<br><br>☎岡山県広聴広報課 河原さん：086-226-7158 | 森年・宮地<br>花谷・安東 |



# 1年TR「地域散策」

目標：真庭を感じよう！真庭を知ろう！真庭を考えよう！

1年( )組( )番 名前( )



1年( )組( )番 名前( )

## 学校周辺で見つけたこと、感じたこと、色分けしてみよう!

【課題】：地域のために何をできるか考えよう!

【色分けの観点】：『地域を良くするために何かができる?』

青

赤

黄

緑

学校周辺

# 1年TR『進路実現に向けて』

組 番 名前：

チーム名：

テーマ

MANIWAの“I=愛”プロジェクト

1年TR目的

HOW TO LEARN : ものごとを調べ、まとめる方法を学ぶ

目標

- ①ICTを活用したり、人とのコミュニケーションを通して、ものごとを調べ、まとめ、発表する！
- ②探究活動を通して、自分と社会に繋がりを見出す！
- ③探究活動を通して、自分の価値観を深め、仮説を立てる力を身に付ける！
- ④地域課題に目を向け、粘り強く、解決を試行する！

## ■【研究計画書】以下の内容をまとめましょう

○ チーム名

○ メンバー（組：番号：名前を記入）

○ 研究テーマ（タイトル）

○ 研究背景（研究の動機）

○ 研究目的・意義（研究は社会にどう役に立つ？研究は未来にどういう影響を与える？）

# 1年TR『進路実現に向けて』

組 番 名前：

チーム名：

テーマ

MANIWAの“I=愛”プロジェクト

目標

- ①ICTを活用したり、人とのコミュニケーションを通して、ものごとを調べ、まとめ、発表する！
- ②探究活動を通して、自分と社会に繋がりを見出す！
- ③探究活動を通して、自分の価値観を深め、仮説を立てる力を身に付ける！
- ④地域課題に目を向け、粘り強く、解決を試行する！

■【探究構想用紙】以下の内容をまとめ、探究テーマましよう

① 研究キーワード（探究に関係がありそうなキーワードを、とにかくたくさん挙げてみよう！）

② イメージマップ（キーワードの“繋がり”や“関連性”を図に表してみよう！）

③ イメージマップの文章化（マッピングの内容を言葉で表してみよう！）

# 1年TR『進路実現に向けて』

組 番 名前： \_\_\_\_\_

チーム名： \_\_\_\_\_

テーマ

MANIWAの“I=愛”プロジェクト

目標

- ①ICTを活用したり、人とのコミュニケーションを通して、ものごとを調べ、まとめ、発表する！
- ②探究活動を通して、自分と社会に繋がりを見出す！
- ③探究活動を通して、自分の価値観を深め、仮説を立てる力を身に付ける！
- ④地域課題に目を向け、粘り強く、解決を試行する！

■【記録用紙】【 月 日】

○今日の目的

○今日行ったこと

○メモ（結果・データ）

○気づいた点・困った点

○次に行うこと

| 日程          | できること・することの例  | できること・すること  | 担当 |
|-------------|---|---|----|
| 5月27日       | <ul style="list-style-type: none"> <li>■チャンネル結成</li> <li>■チャンネル内チーム編成</li> <li>○テーマ設定</li> <li>○探究活動計画</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>                       |    |
| 6月3日        | <ul style="list-style-type: none"> <li>■実体験を通じた学習</li> <li>・図書館</li> <li>・インターネットでの調べ学習</li> <li>・校外インタビュアー</li> <li>・アンケート</li> <li>(生徒・教員・保護者・地域)</li> <li>・実験</li> <li>・実習</li> <li>・制作</li> <li>・カメラ・ビデオ活用・パソコン</li> <li>・調査(同じ場所に複数回)</li> <li>(異なる場所で比較分析)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> |    |
| 6月10日       |   |   |    |
| 6月17日       |   |   |    |
| 6月24日       |   |   |    |
| 7月8日<br>夏休み |   |   |    |
| 9月30日       |   |   |    |
| 10月7日       | <ul style="list-style-type: none"> <li>■中間発表に向けたまとめ</li> <li>パワーポイントなど発表準備</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>            |    |
| 10月21日      |   |   |    |
| 10月28日      | <ul style="list-style-type: none"> <li>■中間発表会</li> <li>【7分発表→3分質疑応答】</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>   |    |

1年 チーム名 ( )

代表者 ( )

メンバー ( )

| 日程       | できごと・することの例  | できごと・すること (誰が、なにを、いつまでに) | 担当 |
|----------|--|--------------------------|----|
| 11月11日   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■探究活動</li> <li>・図書館</li> </ul>                                  |                          |    |
| 11月25日   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットでの調べ学習</li> <li>・校外インタビュー</li> </ul>                    |                          |    |
| 12月9日    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート</li> <li>(生徒・教員・保護者・地域)</li> </ul>                       |                          |    |
| 12月16日   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験</li> <li>・実習</li> <li>・制作</li> </ul>                        |                          |    |
| 補習       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラ・ビデオ活用・パソコン</li> <li>・調査 (同じ場所に複数回) (異なる場所で比較分析)</li> </ul> |                          |    |
| 1月20日    | <ul style="list-style-type: none"> <li>■発表に向けたまとめ</li> <li>パワーポイントなど発表準備</li> </ul>                    |                          |    |
| 1月27日    |  |                          |    |
| 2月3日     | <ul style="list-style-type: none"> <li>■チャンネル内発表会 (Q &amp; A)</li> </ul>                               |                          |    |
| 2月7日 (金) | <ul style="list-style-type: none"> <li>■最終発表</li> </ul>  |                          |    |
| 2月17日    | <ul style="list-style-type: none"> <li>■年間振り返り</li> </ul>  |                          |    |

# 令和元年度 1年生TR中間発表会

- 令和元年10月28日(月) 3・4限キャンネル内①3組HR②2組HR③1組HR 5・6限代表班④会議室
- 1年生72名(普通科38名・看護科34名)3キャンネル全⑩班 各班7分発表・2分質疑応答

| CH                                   | 班  | 発表タイトル                  | 班員                    |
|--------------------------------------|----|-------------------------|-----------------------|
| ①<br>X<br>T<br>E<br>A                | 1  | SDGs 環境問題と私たちの取組        | 尾崎葵・松岡巻織・塚本香菜・中川心那    |
|                                      | 2  | 資源の再利用と活用               | 辻総太郎・村上太郎・員阿彌葵・加藤愛梨   |
|                                      | 3  | カルタを使ってSDGsを広める         | 瀧野彩華・柴田将・樺村孝太・松岡里佳    |
|                                      | 4  | 真庭の生き物からSDGsを考える        | 澤山希望・大林久姫・岡崎芹奈・水杉七聖   |
|                                      | 5  | 真庭の水質保全と学び              | 保田柚月・横田実夢・寺崎友香・山田昌    |
|                                      | 6  | エコバッグ～使用されなくなった布を活用しよう～ | 黒田真衣・寺崎千夏・林実来・横河心和    |
|                                      | 7  | 空き家問題 私たちが解決!!          | 長尾愛楓・佐田光・櫻井希・原田美空・林愛香 |
| ②<br>M<br>A<br>N<br>I<br>W<br>A      | 8  | 空き家の現状                  | 大谷友哉・日下祐伊・石本陽暉・山本泰誠   |
|                                      | 9  | コミュニティースペースを盛り上げるA++活動  | 河原真心・築澤ありさ・小野愛美・中畑澤   |
|                                      | 10 | 農泊が与える地域への影響            | 森谷光喜・服部海成・本多真人        |
|                                      | 11 | 空き家調査                   | 中山萌・中山あみ・小見山結名・小林伊織   |
| ③<br>ア<br>ロ<br>モ<br>ー<br>シ<br>ョ<br>ン | 12 | コミュニティースペースを盛り上げるA++活動  | 丸本裕士・開本勇輝・平田らん・岡田千菜歩  |
|                                      | 13 | ヒノキの廃材を使ったノベルティ         | 中山拓斗・古川雄斗・仁澤亜紀・小山ここあ  |
|                                      | 14 | 木を使ったSDGs / ノベルティ作成     | 大原菜緒・船木優愛花・宮地樹音・森岡美運  |
|                                      | 15 | 身近なものをつかってSDGsを広める      | 嵯田廉・戸田優希・藤田梨紗子・牧美湊    |
|                                      | 16 | 人の目にとまるホームページを作る!       | 浅尾心・遠藤翔・梶田瑞樹・出口璃々     |
|                                      | 17 | みやすいホームページとSDGs         | 佐田笙華・森元偉楓・山口敦寛・山田宝良   |
|                                      | 18 | 真庭高校のホームページと真庭の現状       | 大佛遥己・溝尾杏美里・森下真妃・山口こまち |

| 3・4限                        | キャンネル内発表会  |
|-----------------------------|------------|
| 10:55-挨拶・説明(マイク・ホワイトボード・時間) |            |
| 11:00-11:09                 | 班1         |
| 11:10-11:19                 | 班2         |
| 11:20-11:29                 | 班3         |
| 11:29-11:39                 | (休憩)       |
| 11:40-11:49                 | 班4         |
| 11:50-11:59                 | 班5         |
| 12:00-12:09                 | 班6         |
| 12:10-12:25                 | 指導講評・代表班選出 |
| 12:25-13:05                 | (昼休み)      |

| 5・6限        | 1年代表発表会 |
|-------------|---------|
| 13:05-挨拶    |         |
| 13:10-13:19 | ①-代表班1  |
| 13:20-13:29 | ①-代表班2  |
| 13:30-13:39 | ①-代表班3  |
| 13:40-13:49 | ②-代表班1  |
| 13:50-13:59 | ②-代表班2  |
| 13:59-14:09 | (休憩)    |
| 14:10-14:19 | ②-代表班3  |
| 14:20-14:29 | ③-代表班1  |
| 14:30-14:39 | ③-代表班2  |
| 14:40-14:49 | ③-代表班3  |
| 14:49-14:55 | 指導講評    |

- ※ 令和元年度TR成果発表会【令和2年2月7日(金)】では、各班8分発表・3分質疑応答です。
- 司会・進行：中山(発表6分キーン、7分キーン)
- Q&Aのあいだに次のPPTを準備(麻田) / 次の発表者を入り口付近に事前整列指示(森年・中川)
- 記録：竹田・宮地(写真)・山口(ビデオ) ■ PC(データ：デスクトップ)、マイク/スピーカー：中山
- 指導講評：花谷先生(3分) → 宗田先生(3分)





# マスメディア チャンネル



# S森林で Dドローン飛ばして Gがんばる S整備活動

## 尾崎葵・松岡杏織・村上太郎・辻総太郎



■学年テーマはSDGs。正直よく分からない。これって僕たちだけじゃないはず。そこで真庭いきいきテレビと協働して『SDGsって何?』という番組を制作。視聴者と一緒にSDGsが何か考えていこう。服部興業川原さんやMOMO工房元井さんの話から少しずつSDGsを具体的に理解できるようになった。



■津山市、倉敷市、岡山市、島根大学、東京ビッグサイト...県内外のさまざまなイベントに参加して、SDGsに対する理解をさらに深めた。  
■海洋プラスチック問題は、場所や人が変わってもよく聞く話で、それだけ重要な問題なんだと感じた。  
■他校の高校生のプレゼンのうまさも勉強になった。



■藻谷浩介さん(@真庭SDGs円卓会議)の印象的な話。緑豊かな日本では、『緑ばかりで田舎だ!』なんて言っているけど、西アジアでは緑がほとんどなく、その限られた緑を巡って争いが起きている。この豊かな自然資源を誇りに思い、大切にしていこう!何か自然資源に関わる活動に取り組んでみたい。



■そこで山整備にトライ!実際には、山に入るための道を整備するだけでも、5回訪れて5時間くらいの作業。高齢化による放置林が問題になっているが、若者にとっても大変だと身をもって実感した。  
■石川財団の助成金でドローンを購入し、山道整備のBefore-Afterを記録した。



■山道にはトゲのある草や種子を飛ばす植物などに悩まされた。しかし、トゲとか種子とか、植物たちも生き残るために身を守っていたり、種子を飛ばしていたりするんだと感じた。  
■ドローン操作では目に見えない上空の風に悩まされた。



■一年間の取組とSDGs17の目標とを結びつけてみると、4人一人一人が異なる目標と結びつけた。同じ活動に取り組んでも感じたり学んだりすることは一人一人違っている。それはそれでいいはず。  
■来年は『住み続けられるまちづくりを』めざして楽しく活動に取り組んでいきたい。

# SDGsから始まるサコッシュ

## 貝阿彌葵・加藤愛梨・塚本春菜・中川心那

### SDGsって何？

2015年9月の国連サミットで採択  
国連加盟193か国が  
2016年～2030年の15年間で  
達成するために掲げた目標。




真庭いきいきテレビの協働制作番組『SDGsって何？』収録のため、真庭市で森林資源活用に取り組みアシタカ赤木さんを訪れインタビューを行い、SDGsに対する理解を深めた。









■SDGsとは2015年9月の国連サミットで採択された、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた17の目標。  
■真庭いきいきテレビとの協働制作番組『SDGsって何？』収録のため、真庭市で森林資源活用に取り組むアシタカ赤木さんを訪れインタビューを行い、SDGsに対する理解を深めた。

### サコッシュを作るようになったきっかけ



布をもらう

■トンボ学生服さんから旧モデルのために不要となった制服の布地をいただいた。3年間毎日着られるほど丈夫な布地をどう活用しようかな？  
■レジ袋有料化を聞いてまずはエコバッグ制作を考えたが、エコバッグは多くの人が持っているはず。そこで、少しデザインの変った肩掛けカバンのサコッシュを作ることに決めた！

### サコッシュの作り方

石川財団の助成金でミシン2台を購入








①型をとる ②ミシンで縫う ③形が完成！  
④穴をあける ⑤ひもをつける ⑥完成！

■手順は上記の通り簡単で、1時間あれば10個のサコッシュが制作できる。サイズはA4ノートが横向きにして入るくらいの大きさ。  
■イベントに間に合わせるときに100枚作ったときは大変だったけど、石川財団の助成金でミシン2台・肩かけ用のヒモなどを購入し、作業もはかどるようになった。


### イベント配布

・海の市 山の市 9月29日(土) 真庭市蒜山被災に遭われた方々へ向けて募金をしてくれた人達に配布をした。100枚すべてを配布!!

13,421円


・ボランティアアワード 11月16日(土) 津山市圏域雇用労働センター

真庭高校で行っている活動やこれからやっていきたいことなどを発表しました。その際に作ったサコッシュも持っていき、他の学校の人達に配布しました。




■海の市・山の市(@蒜山)では100枚をわずか1時間半で配布。一枚につき100円の募金をお願いして、集まったお金は真庭市社会福祉協議会を通じて真備の水害に遭われた方々へ募金させていただきました。  
■他には、岡山県高校生ボランティアアワードや真庭市SDGs円卓会議、AEONeco-1グランプリで配布。

### サコッシュ制作を通して『人との関わり』を学ぶことができました。



「いない。」  
「自分たちで作ったの？すごいね！」  
「頑張ってるね！」

・大学生  
・地元の人  
・他校の高校など



■『人との関わり』が私たちの活動を支えてくれた。トンボ学生服柴田さんや、アシタカ赤木さん、MOMO工房元井さん、服部興業川原さん、MIT森下さん、蜂谷さん、真庭市総合政策課河本さん、富永さん、真庭市環境課田島さん、栢野さん、イベントに参加された地域の方々、芝浦工業大学中口先生と学生のみなさん。他校の高校生。真庭高校のみな。

### <今後の活動>

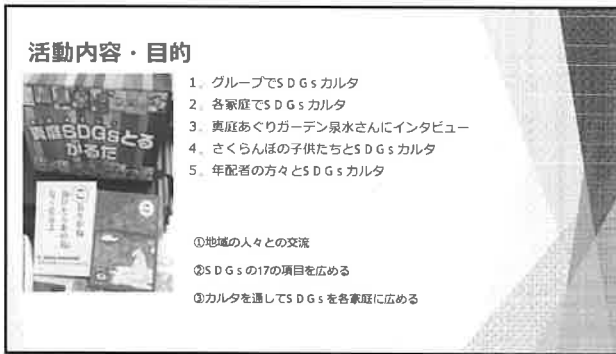


私たちみんな看護科！  
→ この布を医療・看護に役立てよう！




■話を聞いたり自分たちで活動したり、行動することでSDGsとは何か、自分たちなりに考えることができたようになった。  
■私たちメンバー全員が看護科なので、来年度はこの布地を医療・看護に役立てられるように活動を継続・発展させていき、目標3の『すべての人に健康と福祉を』の達成を目指したい。

# カルタを使ってSDGsを広める 渡野彩華・松岡里佳・楨村孝太・柴田将



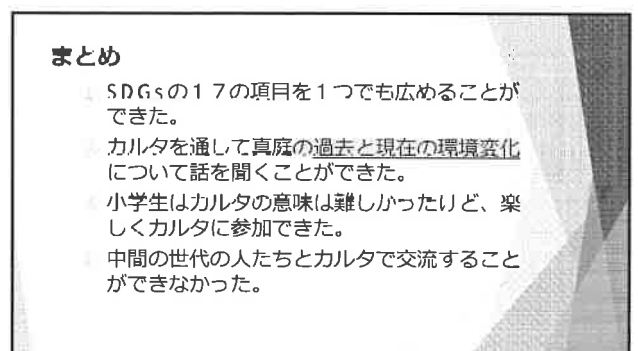
私たちのグループは、昨春完成したSDGsカルタを活用して、SDGsについての理解を広げていく取り組みを始めました。まず、真庭市の様々な世代とカルタでの交流をおこない、SDGsの17の目標を地域の人たちに広げていくことから始めました。

カルタは「真庭めぐりガーデン」という会社が、昨年の春、様々な世代からカルタの絵を作ってもらい商品化しました。親会社は十字屋という企業で循環社会を目指しています。SDGsカルタは知名度が低いので、私たちの班は普及活動をテーマとしました。



まず、班員が各家庭に持ち帰り、家族でSDGsカルタに挑戦した。各班員の感想は「知らない言葉が出てきて勉強になった」「真庭の取り組みを知ることが出来た」「種類がいっぱいあって楽しかった」「環境のカードが多かった」「色々情報が知れてよかった」自ら経験してわかることが多かった。

地域の放課後児童クラブ「さくらんぼ」の小学生とSDGsカルタをしました。小学校の低学年ではカルタの意味を考えながら遊ぶところまでは難しそうでした。多くの児童が「楽しかった」等の感想を終了後の取材で話していました。小さなことからでもSDGsを広めることには成功しました。



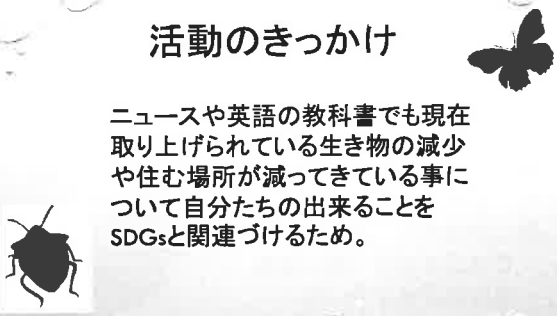
めぐりガーデン仲介で年配者の方々とSDGsカルタをする機会をもちました。みなさん真剣にカルタ大会に参加してくれました。後の取材で昔の真庭の環境などを教えていただきました。また、「カルタを家庭でやってみたい」という方もいて、カルタ普及が少しできたと感じました。

私たちの目標は小さいながらも達成できました。後は大学生から30代くらいの人たちとカルタを広めることが課題として残りました。将来的には真庭市の外にもこのカルタの取り組みを発信したいと思います。

# SDGsから繋がる生物多様性

岡崎芹奈・大林久姫・水杉七聖・澤山希望

## 活動のきっかけ





ニュースや英語の教科書でも現在取り上げられている生き物の減少や住む場所が減ってきている事について自分たちの出来ることをSDGsと関連づけるため。

私たちの取り組んだ内容は、

- 1 イメージマップの作成
- 2 校内・郊外の散策
- 3 本やインターネットで調べる
- 4 雪江さんにインタビュー

## イメージマップ

リバートレッキング

醍醐桜

“MS”という“真庭の自然”中心におき山、川、花、虫の4つのキーワードに分類しました。と分けて色々関連づけました。真庭には多くの観光資源があり、中でも美しい自然環境があります。自然の中には、植物・動物・昆虫などの生物環境が豊かです。

## 校外と校内の散策



校外

校内

校外校内散策で、色々な生き物がたくさんいました。その中で、私たちが一番着目したのは“ゴミが捨てられている”ことです。この散策で、生き物に及ぶ影響は何かを津黒生き物ふれあいの里の館長さんの雪江祥貴さんにインタビューをしました。

## 雪江さんと自分たちで考えたSDGsについて



- 9 産業と技術革新の基盤を作ろう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう


雪江さんのインタビューで学んだことをSDGsの17のゴールの中で考えて、私たちは5つのゴールに注目しました。そのゴールは私たち一人、一人が生物多様性に繋がる項目をあげ、そのことについて重点的に探求することに決めました。

## 生き物を守るためにできる4のこと


- ① 生き物の住む場所を減らさない
- ② 食べ物を大切に作る
- ③ 水の調節
- ④ 再利用できる製品を使う

私たちが出来ることを4つ考えました。一つ目は、ゴミを捨てないこと。二つ目は、フードロスを最小限にし、残飯を減らすこと。三つ目は、下流の環境に考慮した水の利用すること。四つ目は、マイバッグやマイボトル持参するなど。

## 今後の展望

11 住み続けられるまちづくりを 

例) 農業と生物の共生 ⇨ 害虫(カメムシなど)について

15 陸の豊かさを守ろう 

例) 分別 ⇨ 3R活動(インタビュー)

11の目標については、生物と共存できる社会を考えたいと思います。昆虫の生息数のバランスが崩れて、害虫(カメムシ)の発生にまだ疑問が残ります。15の目標は、3R活動の関係者の方にインタビューをし、資源の再活用とゴミの削減のについて調査してみたい。

# 汚染対策で真庭の川を守る

## 保田柚月・山田昌・寺崎友香・横田実夢

### 活動の目的

- ・真庭の川は現在汚れているから  
綺麗にする

↓


- ・海洋プラスチックの対策を考える

私たちは真庭の川を綺麗にするということが大きな目的だ。そこで真庭市役所で水質検査をすると汚れていることがわかった。その時海洋プラスチックも水質に関係することが分かったことがきっかけだ。

### 水質調査

|         |        |         |       |
|---------|--------|---------|-------|
| 鏡野吉井川   | 水温 27度 | COD 2   | ピンク   |
| 上水田の備中川 | 水温 28度 | COD 3   | 薄いピンク |
| 真庭市旭川   | 水温 27度 | COD 4   | 透明    |
| 津山市吉井川  | 水温 27度 | COD 8以上 | 薄い緑色  |

一番汚染が進んでいる



市役所の人と一緒に試験薬を使わせて頂いた、それをあらかじめ各々の地域から回収しておいた川の水を使い水質検査をした。やはり都市部のほうが汚れは酷く後もう少しで下水と同然になるところだった。


### 市役所の方々に質問

【1】不法投棄で問題視されているもの  
海洋プラスチック  
理由：5mm以下のマイクロプラスチックになり分解されないゴミが多いから

【2】川の中にいる微生物は何がいるか

①水をきれいにする微生物

ツリガネムシ    エピステイリス    ロタリア



私たちは真庭市役所に行き4つの質問をした。その中で2つの質問に絞った。1つは不法投棄の中で多いものは海洋性プラスチックだった。2つは川にいる微生物はツリガネムシとエピステイリスとロタリアがいた。

### 海洋性プラスチック

①原因と対策

- ・レジ袋・・・有料化、廃止
- ・ペットボトル・・・飲料販売の廃止
- ・ストロー・・・紙ストロー（2020）  
⇒水質汚染の予防策にも繋がる


②被害

- ・ウミガメ・・・餌と認識して摂取し窒息死
- ・トリ・・・餌と認識して摂取し腸閉塞
- ・サンゴ礁・・・表面が損傷し病気に感染  
⇒海に関連する生物に被害

海洋性プラスチックの原因としては、レジ袋、ペットボトル、ストローがあげられる。それぞれに対策が取られており、それらは、水質汚染の予防策に繋がる。被害の例としては、ウミガメ、トリ、サンゴ礁があげられる。

### エコステーションの使い方

- ①専用機にポイントカードを差し込む
- ②古紙をボックスに投入
- ③自動的に重量がはかれる
- ④ポイントが貯まる
- ⑤ポイントが500ポイント  
たまったら商品券に交換
- ⑥真庭市だとハピーマートで交換できる



海洋性プラスチック問題はポイ捨てによるものが多いと考えた。そこで身近で有効的にゴミを捨てられる方法はないかと考えたところエコステーションがあることが分かった。

### まとめ

真庭市役所で水質検査をすると真庭の川は汚れていることが分かった  
⇒ 海洋性プラスチックが多かった

↓

用水路から出てくる家庭ごみが多かった

↓

今後真庭地域の方にエコステーションとリサイクルカードの宣伝を実施していく

真庭の川は汚れていることが分かった。その原因として用水路に流れているごみが多くその中でも海洋性プラスチックが多かった。今後はエコステーションの宣伝を進めていく。

# 不要なクロスを活用しよう～プラスチック問題を解決するために～ 黒田真衣・寺崎千夏・横河心和・林実来

## 活動のきっかけ

- ・プラスチック問題を解決するために、自分達に何ができるかを考えた。  
↓
- ・1番身近なレジ袋を減らすことでそれらを解決できるのではないか!?  
↓
- ・そこで普段からエコバッグをみんなが使えばプラスチックごみが減ると思い、エコバッグを作る事にした。

## <取り組んだ内容>

- ・トンボ学生服さんから頂いた布でサコッシュ作り(海の市山の市で配布)
- ・新たに頂いた布でエコバッグ作り  
↓
- エコバッグを作るために石川振興財団助成金を頂いてミシンを購入した。

私たちがエコバッグを作ろうとした理由は、プラスチック問題に関係があります。私たちの一番身近なレジ袋でそれを減らすことができれば少しでも解決に近づけると思ったからです。

海の市山の市は9月下旬頃に行われ全国各地の特産品などを数多く販売しています。そこで、製作したサコッシュを配りました。その後新たに頂いた布でエコバッグ作りをしました。

## エコバッグの作り方

①布を型にはめて切る



②サイドを縫う(ミシン)



③口の部分を縫う(ミシン)



④ひっくり返してほつれ糸を切る



⑤紐状の布を三つ編み、四つ編みにする



⑥エコバッグに縫い付ける



⑦完成！！



エコバッグの作り方は以下の通りです。私たちはミシンの扱いに慣れておらず、大変なこともありましたが、試行錯誤しながらも完成させることができました。

工夫した点は、棒状の布を三つ編み四つ編みにしたところ。こうすることでとても丈夫になります。エコバッグは様々な大きさのものを製作しました。

## <今後の取り組み>

エコバッグを多くの人に広める。



自分たちで地域配布にチャレンジ！

## <まとめ>

12 つくる責任  
つかう責任

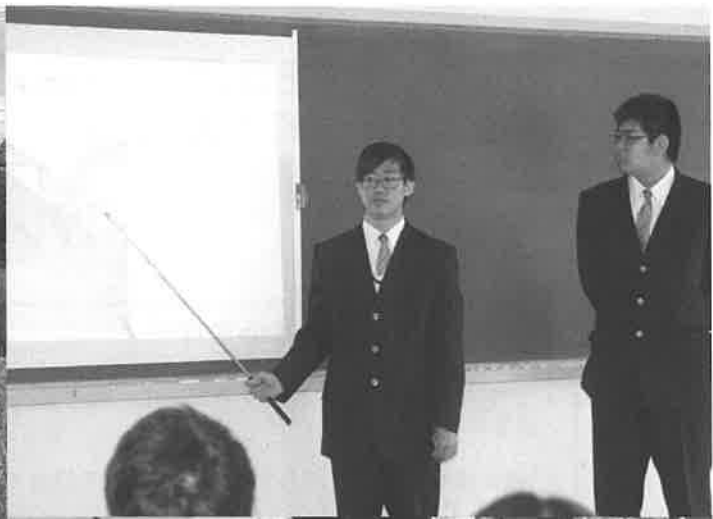


14 海の豊かさを  
守ろう

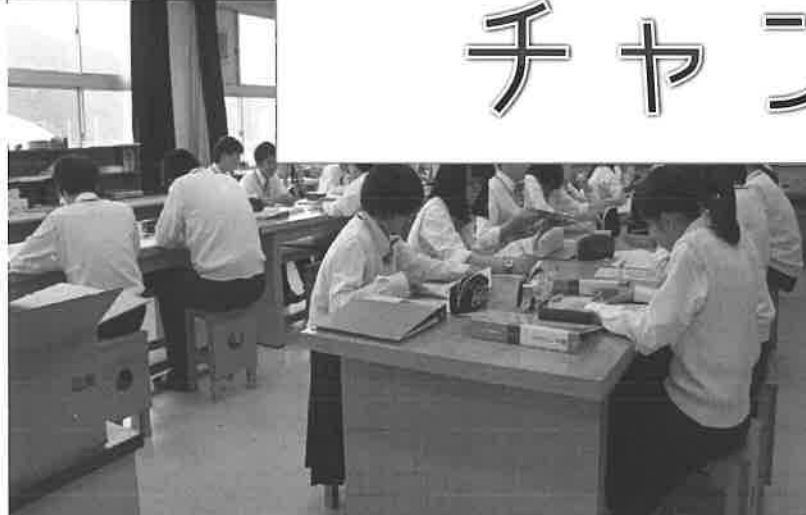


私たちはこれからプラスチック問題を解決していくためにエコバッグを多くの人に広めていきます。また、サンプラザなどで主婦の方などにエコバッグを配布していきたいです。

SDGsの17の目標の中から12番と14番を選びました。12番を選んだ理由は、エコバッグを作ることで物を作る責任使う責任両方の立場を知ることができたからです。14番を選んだ理由は、プラスチック問題を通して海の豊かさについて考えることができたからです。



# MANIWA チャンネル



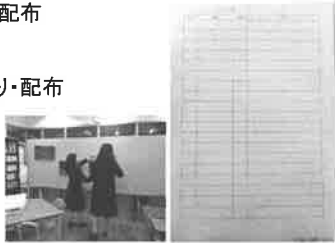


# 空き家写真展

長尾愛楓・櫻井希・林愛音・佐田光・原田美空

## 写真展開催に向けて

- ・写真募集のチラシ作り・配布
  - ・写真を借りる
  - ・会場準備
  - ・写真展開催のチラシ作り・配布
  - ・受付簿作り
- 日付・名前・年齢・一言  
の記入欄を作成



写真展開催に向けて、まず写真募集のチラシを落合・天津・美川・木山に約400枚配った。その後、集まった写真を使って会場の準備をし、同時に来て下さった方に日付、名前、年齢、一言を書いてもらう受付簿を作った。写真展開催チラシも写真募集のチラシと同様に約400枚配った。

## 地域の方から頂いた意見

### 改装前

・この町の歴史を皆さんから説明してほしい。

・写真の場所、出来事を知りたい。

### 改装後

・よい資料を集められましたね。またやってほしい。

・昔の風景が見られて良かった。

受付簿に書いて頂いた意見を参考に、改善点を見つけ写真展を改装した。改装後には、良い意見を頂くことができ、改善した所が目に見える結果となった。

## 写真展完成！

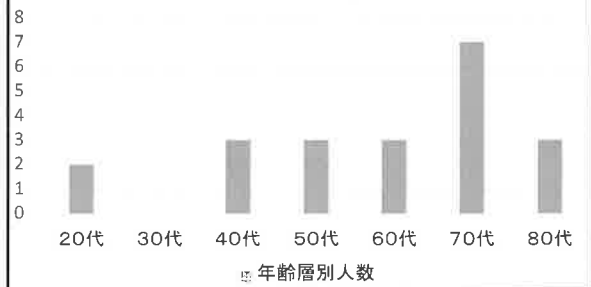
改装中...



短い期間でしたが地域の方々に支えられ、良い写真展にすることが出来ました！

写真の説明を書く等して改善した。私たちのコンセプトとしては、地域の方に昔の風景を振り返ってもらおうというものであった。地域の方々に協力してもらうことで昔の真庭高校や梅田屋、一色、洪水のときなどの写真を約30枚展示することができた。一週間という短い期間での開催であったが、良い写真展にすることが出来た。

写真展に来た年齢層別人数



写真展に来た人の年齢層別人数をグラフに表した。高齢の方がほとんどで特に70代の方が一番多く、30代の方は全くいなかった。若い年代の方が全体的に少ないことが分かった。写真展開催当初は、高齢の方は移動が難しいため、若い世代が多く来ると考えていたが、このような結果になった。

## まとめ

私たちの活動は...



- ・真庭の歴史を振り返ることが出来た。
- ・コミュニティスペースの存在を知ってもらえた。
- ・上手くターゲットを絞れていなかった。(年齢層や性別など)
- ・チラシ配りでは、効率が悪く呼び込みには効果的でないと感じた。
- ・準備期間が短く納得がいく完成度に持っていけなかった。

まとめた結果から空き家問題について考えたときに、空き家が増える原因としてもともと住んでいた人たちが何らかの事情で家を出た場合や、住めなくなったということが考えられる。この先、空き家が増えていかないようにするためには、今後のことも考え、住んでいた家は責任をもって管理するということが必要になってくると考えた。

## 今後の課題

### 写真展から

- ・まず、企画を行うための段取りを具体的にまとめる
- ・宣伝、展示期間を延ばす
- ・展示する写真の量を増やす

### 空き家問題から

- ・写真展以外の活用事例)カフェ
- 交流所 ...など

～地域活性化～  
魅力ある町へ

今後の課題をもとに、私たちは空き家が地域活性化の一つになり、魅力ある町になるための土台としてこれからも活動していきたいと思った。

# 空き家の現状

石本陽輝・大谷友哉・山本泰誠



私たちは空き家の中がどんな状態なのか分からなかった  
ので調べてみることにしました。



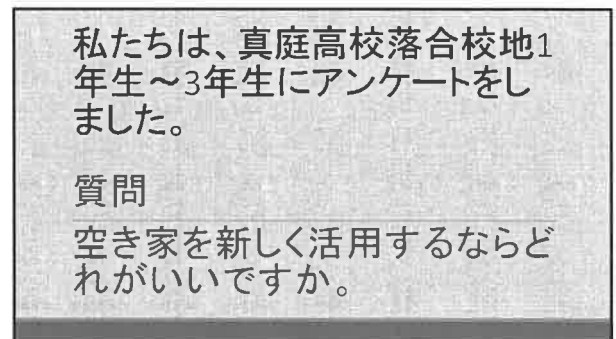
この空き家は私たちが実際に中に入って調査  
した空き家です

中に入って見て散らかっていると感じました。



**空き家の見分け方**  
最近の家は大抵、  
家電製品があるので、  
電気メーターがゆっくり  
と回っている。  
しかし空き家は、全く動  
いていない。

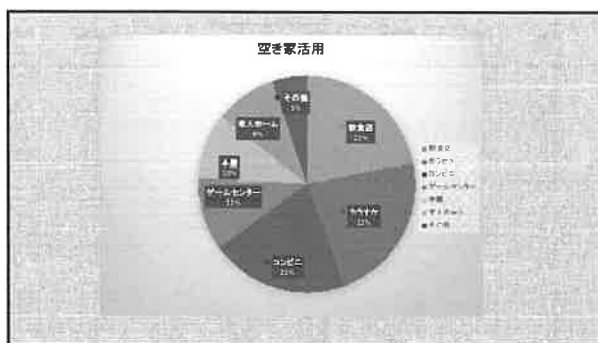
空き家の庭の周りを見ていると止まっている電気メーターを発見した。これは誰も電気製品を使ってないことだと分かりました。



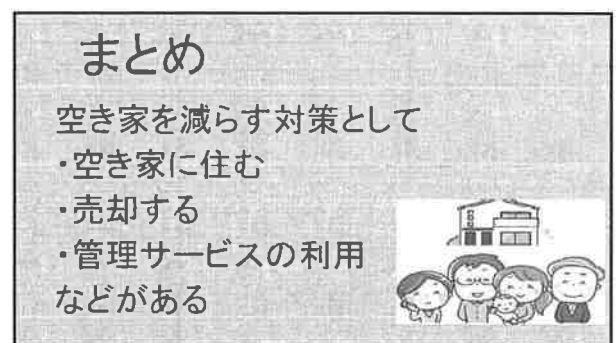
私たちは、真庭高校落合校地1年生～3年生にアンケートをしました。

**質問**  
空き家を新しく活用するならどれがいいですか。

1年生～3年生の落合校地に空き家をどのように活用したいか質問しました。



飲食店・カラオケが一番多かった  
です。



**まとめ**  
空き家を減らす対策として  
・空き家に住む  
・売却する  
・管理サービスの利用  
などがある

空き家による事故を無くしたいと思いま  
した。

# コミュニティスペースを盛り上げるArt活動


小野愛美・築澤ありさ・河原真心・中畑滯

### 活動の目的


■コミュニティスペースについての話（6月3日）

落合にある空き家について地域の人（吉原さん）に話を聞いて、コミュニティスペースというものがあるということを知りました。

コミュニティスペースには人が来ておらず、私たちはそれを解決する為にArtを通した制作活動（看板と内装）を考えることにしました。



話を聞きました



打ち合わせ中

・老若男女みんなが気軽に集まれる施設  
・様々な年齢の人と交流ができる

私たちは地域おこし協力隊の吉原さんとの会議で話を聞き、今地域で起きている問題を知り、空き家問題の解決、コミュニティスペースに人を集めることを目標に活動することになりました。そこで、吉原さんが看板が欲しいと言っていたので看板を作ることになりました。

### 活動 - 看板の制作① -



■作業工程  
看板に紙やすりをかける  
→ カビをとるため  
・表面を平らにしてニス  
を塗りやすくするため



看板の下書き中→

会議の後、私たちなりに考えた看板のデザインを、実際にコミュニティスペースを訪れて吉原さんに提案しました。その後、吉原さんと意見交換をしてアドバイスをもらいました。さらに、看板に取り入れて欲しいものがいくつか挙げられたので、今後の活動でそれら取り入れることにしました。

### 活動 - 看板の完成 -



■作業工程  
紐を通して  
掛け看板の完成

どちらの看板にも  
ニスを塗り、雨風対策をして  
長く使用できるようにしました。

最初の会議と訪問した時の意見交換を経てユニバーサルデザインを取り入れた方がいいと聞き、最初の案で吉原さんにキャラクターデザインを褒めて貰ったのでそれらを取り入れて看板と掛け看板を制作することになりました。

### 活動 - 看板の提供 -


1月23日に  
実際に吉原さんに提供しました




吉原さんは廃材から作品を作ったことに喜んでくれました。  
私たちの看板が今後使われると思うと、頑張ってよかったと思いました。

空き家に置く看板が完成しました。長く使えるようにどちらの看板にもニスを塗りました。捨てられるはずだった廃材を人々の役に立つものにしたことで資源の有効活用になったと思います。

### 吉原さんからの提案



○吉原さんからのお願い


「作ったものに自分たちの名前・写真を付けてほしい」  
→ キャプションの作成

今後、コミュニティスペースの持続的な展開を考えると、この場所に「どういう人達が、どういう想いで」関わったのが大切に積み重ねることが大切だと思いました。

コミュニティスペースに行き、出来上がった看板吉原さんに提供しました。今後コミュニティスペースの持続的な展開を考えると、この場所に「どういう人達が、どういう想いで」関わったのが大切に積み重ねることが大切だと思いました。

### 結果に対する気づき・考察・今後の課題（SDGs）

私たちの目的はコミュニティスペースの活用、空き家問題の解決です。それは、SDGsの




この3つに繋がると思いました。

■これからの活動

- ・実現できなかったART活動の実現
- ・展示会の企画（異業に関する）
- ・壁や内装のデザイン作成
- ・空き家、廃材などからでも良いものが作れることを伝えていく

↓

人々の想いやつながりを大切にして  
みんなが地域について話し合える場所になってほしい



私たちの活動はSDGsの11,12,15に繋がると思っています。私達の活動は、コミュニティスペースに人を呼び込むことでした。この問題を解決するのは大変難しいことだとわかりました。そして、今回できなかった展示会の企画や、コミュニティスペースの内装のデザイン作成などを次回に実行したいと思います。

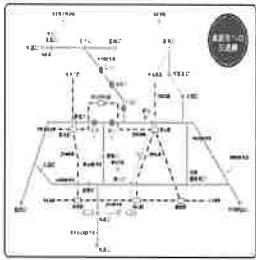
# 農泊が与える地域への影響

## 森谷光喜・服部海成・本多真人

1. 取り組んだ内容 (1) 真庭市のいいところは

- ・自然が豊か
- ・アクセスが最高なゲートウェイ

真庭市へのアクセス(車)  
 大阪から 約2時間半  
 広島から 約2時間40分  
 岡山空港から 約1時間  
 岡山・倉敷から 約1時間




僕たちは地域を活性化させるために何ができるか考えた。まず、真庭市のいいところは何か考え、2つ見つけた。そして、これらの条件を活かして何ができるか考えた。

(2) 早島町の町おこし成功例

- 早島町の伝統産業のい草栽培の復活・再生・伝承を目的(自然の利活用)
- 「ゲストハウスい草」の開業に伴い、外国人の受け入れを開始!(空き家)

【活動例】  
 い草編み体験・い草栽培…  
 (農業+住宅民泊=農泊)  
 【農泊とは】  
 自然とふれあうことを目的とした民泊のこと  
 (食体験・自然体験・農林漁業体験)



真庭市と同じような条件で地域活性化に成功しているところを探すと早島町が見つかった。そこで、早島町を例に真庭市でも自然体験と民泊を組み合わせた農泊をしようと考えた。

(3) 地域おこし協力隊・吉原さんが行っている活動

農業体験ツアー  
 個人旅行等  
 (旅行者等)  
 →農泊体験



地域おこし協力隊の吉原さんが農地・空き家連携活用を企画していて、その中に農泊体験があり一緒に活動させてもらった。実際に使おうと思っている空き家は設備も整っていて、味わい深い趣がある古民家である。

(4) 実際に農業体験をしました




実際に農業体験をしました。吉原さんに、農地で手伝わせてもらった。単純な作業でも農業の大変さや魅力を知れた。

2. 吉原さんの話を聞いて

農泊の開始時期は3月以降!  
 2月にはオープニングイベント!!

家族連れ  
 社会人  
 学生 等

都市ではできない体験  
 自然とのコミュニケーション



家族連れ・社会人・学生・海外からのリピーター・移住者をターゲットにしている。そしてメリットは重機に乗るなどできることである。

3. 今後の課題 まとめ

今後の課題

- ・労働力の確保 どうやって人手を得る?
- ・畑は手間がかかり、大変すぎる

地域の方にこの活動を広める

まとめ

真庭市の人口は年々減り続けており2040年には生産人口が1.6万人を下回ると危惧されている。僕たちの活動によって人口減少に歯止めがかかればと思いました。

今後の課題は労働力の確保である。現在吉原さん1人しかいないので、僕たちがこの活動を地域の方に広めて、地域一丸となって農泊を行っていければと思う。

# 空き家調査

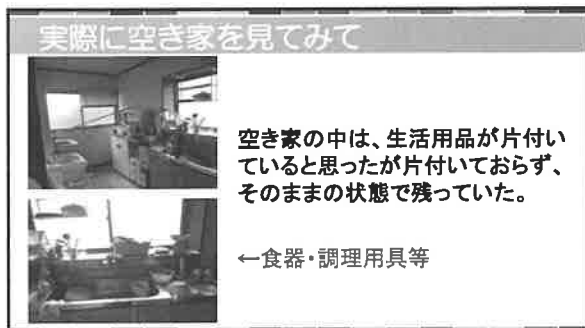
中山萌 小林伊織 小見山結名 中山あみ



実際に空き家を見た。



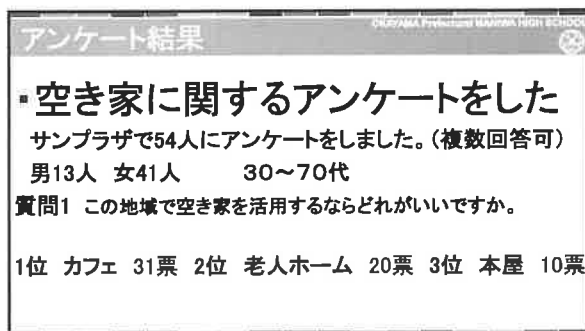
電気メーターが止まっていることから人が住んでいないことが分かる。



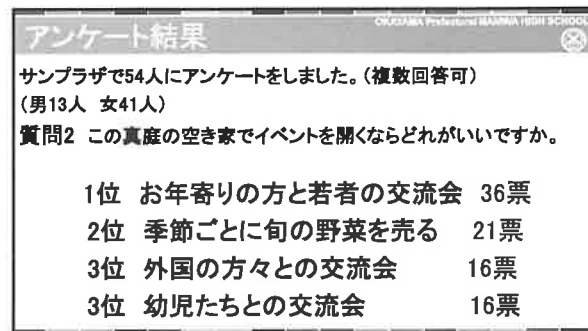
空き家の中は生活用品が残っていた。



空き家にあったカレンダーは1994年9月のままで残っていた。



空き家に関するアンケートをした  
質問1



空き家に関するアンケートをした。  
質問2

# コミュニティスペースを盛り上げるArt活動

平田らん・岡田千菜歩・丸本裕士・開本勇輝

## 活動の目的

コミュニティスペースを作ること、  
人と人が集まる場を作り、交流すること

看板を作り、高齢者と若者が親睦を深め  
る場所を作って、街を活性化させる

私たちの活動の目的は交流する場所を作ること  
です。看板を作り高齢者と若者が親睦を深めて街を  
活性化させたいと思いました。

## 地域おこし協力隊、吉原さんとの会話



吉原さんより

コミュニティスペースについてのお話

1. 空き家が増えている
2. 空き家の有効活用を進める必要性
3. コミュニティスペースで  
地域を盛り上げたい



吉原さんとコミュニティスペースについて話したとき  
に3つの要点が出てきました。私たちにできること  
は人を集めること、室内を飾るインテリアを制作すること、  
Art展示会の企画です。

## デザイン案(吉原さんに提案したもの)



地域の良さや魅力をコミュニティスペースから  
発信できるものを作ろう！！

デザイン案を作り吉原さんに提案しました。そのため  
の材料(廃材)を提供してもらいました。汚れていま  
すが空き家を再生するために空き家の廃材を再  
利用することは面白いと思いました。

## インテリアの制作④

▶ニス塗って完成！！

▶真庭の場所を強調する  
配色にし、真庭を強調  
するのを意識した



時計を作りました。岡山の形で真庭を強調させる  
配色にし、廃材の中から適切な木材を選び水洗い  
をして汚れを落としました。  
虫食いを粘土で埋め、やすり掛けをしました。色を  
塗って数字を切って張り付けました。  
最後にニスを塗り完成しました。

## 作品の引き渡し

### 吉原さんのコメント

▶コミュニティスペースにTRで参加した人の  
写真をキャプションとして残して、  
誰が参加したのか見てもらいたい



### 感想

▶コミュニティスペースに飾るものを作るの  
は案を出すところから困難でしたが、作り  
始めると意外に楽しくて止まらなくなりました。



作品の引き渡しに行った際、吉原さんに「TRで誰が  
参加したのかを見てもらいたい」という意見を頂いたの  
で、キャプションを作ることにしました。

## 最後に

材料に使った木材がかなり虫に食われていたので、  
粘土で埋めたりニス塗るために  
やすりで削るなどの工夫をしました。

### ■今後この体験を通して

コミュニティスペースを盛り上げていきたいと思  
います。時計を吉原さんにもっていくときは、少し心配でしたが、  
いいねと褒められてうれしかったです。  
時計を漬した時に、吉原さんが  
「もっと飲食ができる場所にしたい」  
と言っていたので、  
今後は、その計画に協力できる活動をすすめたいと思  
います。

材料に使った廃材がかなり虫に食われていたので  
粘土で埋める工夫をしました。今後は吉原さんの  
アイデアを深め、発展させるお手伝い、飲食のでき  
る場所の実現などを目指したいと思います。



# プロモーション チャンネル



# ヒノキの廃材を使ったノベルティ

## 中山拓斗・古川雄斗・仁澤亜紀

### ノベルティとは

無料で配る宣伝グッズ(記念品)

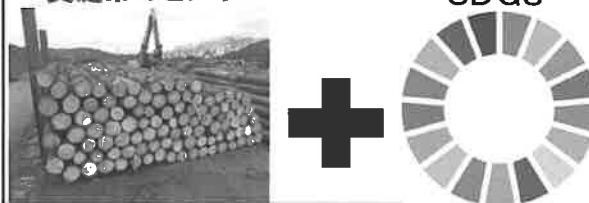


皆さんは、ノベルティとはどのようなものか知っているだろうか。周知させたいものをグッズを通して普及させるものである。例としてファイル、ペン、ティッシュなどがノベルティとしてある。皆さんも一度はもらったことがあるのではないだろうか。

### 活動のきっかけ

真庭市のヒノキ

SDGs



私たちは、「真庭市といえば、ヒノキだ！」と思いつき、材料としてヒノキを使えないかと考えた。これにSDGsを掛け合わせて考えたら、「木を切る」→「木の切れ端などの廃材が出る」→「何かに使うことができるのでは？」と考え、ヒノキの廃材を使ってノベルティを作ることにした。

### 丸共木材さんへ見学に行きました！

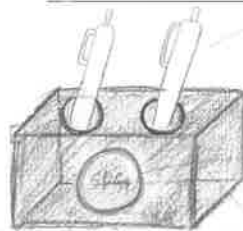


私たちの活動に真庭市月田にある丸共木材さんが協力してくださり、見学に行かせて頂いた。その際に少し廃材を分けてくださり、自分たちで試作品を作ってみた。

### ヒノキのペン立て

<ターゲット>  
全世代

<工夫した点>  
・廃材の形を活かす  
・邪魔になりにくいサイズ  
・角をやすりで磨る



ペン立ては子供からお年寄りまで全世代の方に使ってほしいと思って作った。

工夫した点は

- ①廃材そのものの形を活かしている
- ②手のひらに乗るくらいのサイズ
- ③角をやすりで削り、けがの防止

の三点。

### キーホルダー

真庭

<ターゲット>  
高齢者

<工夫した点>  
・廃材の形を活かす  
・角をやすりで磨る  
・鈴をつける



このキーホルダーは高齢者の方に使ってほしいと思って考えた。

工夫した点は、

- ①廃材そのものの形を活かしている
- ②角をやすりで削り、けがの防止
- ③鈴をつける

の三点。

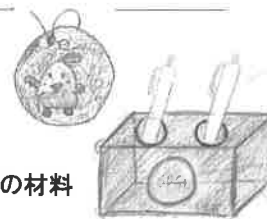
### 今後の課題

#### 1. デザインの確定

・焼き印？ レーザー？

#### 2. 金額

・ペン立て、キーホルダーの材料



今後の課題として

- ①どのようなデザインにするか  
(焼き印かレーザーを使いたい)
- ②金額  
(廃材以外の材料費等のコストは？)

の二点。



# SDGsを広めるために ~ノベルティ作成~

## 船木優愛花・宮地樹音・森岡美遥・大原菜緒

### 変更内容

木のスプーン→マスクingtテープ

なぜ木スプーンをやめたのか

1. コストがかかる
2. 加工が大変
3. スプーンには、向いている木・向いてない木がある
4. 使う人もいるが使わない人もいる
5. ノベルティにする場合1本当たりの費用が高くなる

### このノベルティにした理由

|             |          |
|-------------|----------|
| 1. 製造個数     | 380個     |
| 2. 単価       | 約150円    |
| 3. 総金額      | 約60,000円 |
| 4. 製造期間     | 約2カ月     |
| 5. メインターゲット | 10代~20代  |

・沢山の使い道があるマスクingtテープ  
作ってSDGsを知ってもらいたかったから

・前回考案したスプーンよりコストがはつきりしやすく実現しやすいと思ったから

・このマスクingtテープですこでも真庭市を知ってもらえたらと思ったから

私たちは、真庭市総合政策課の方との話し合いの結果、木のスプーンのノベルティからマスクingtテープのノベルティに変更した

話し合いを進めていくうちに、プラスチックを使ってないマスクingtテープを使ってSDGsを広めたいという考えになった。  
三月下旬には完成する予定！

### LINEスタンプに変更した理由

毎日使用するもので自分たちに身近なものは？



スマートフォン!!

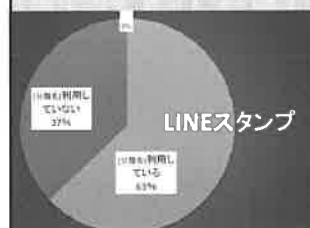


2年前に保健委員が行った携帯電話の所持調査の結果から私たちの身近にあるものはスマートフォンだと考えた。このことから校内でアンケートを実施した。

### 校内でのアンケート①

先生方対象(36人)

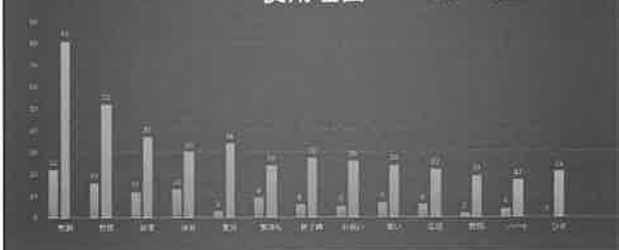
高校一年生対象(62人)



LINEスタンプの利用者率↓  
先生方は3人に2人が、生徒はほぼ全員が利用していることが分かった。

### 校内でのアンケート②

使用理由



使用理由について  
全てを比較すると「感謝」を伝える時に使用している人が多い。

### 今後の課題

- ①スタンプのデザイン作成
- ②SDGsのスタンプをどう広めるか
- ③本当にコストがかからないのか
- ④スタンプの大きさ・種類

私たちは以上4つの課題を元に今後LINEスタンプの制作をしていきたいと思っている。

# 交通からひろまるSDGs

藤田梨紗子 牧美澗 戸田優希 峪田廉

## <きっかけ>

真庭市が『SDGs未来都市』に認定されていることを知ってもらう



現在、真庭市総合政策部総合政策課の方の協力のもと商品開発を行っている

## <SDGs>

11 住み続けられるまちづくりを



私たちは真庭市とSDGsが関連ある商品を作成することを目的に1年間活動してきました。以前に取り組んだ内容から課題点を発見しました。その内容は、プラスチック製品だったため、SDGs目標の達成が困難だということでした。

その課題点を含め、改めて私たちはまた、1から考えました。

私たちが新しく選んだアイコンは11 住み続けられるまちづくりです。

## <活動目的>

事故が多発しているので交通面から真庭市で事故対策に取り組もう。と考えた



そこで着目したのは交通面です。今の世の中の現状を知り、大人の意見を聞きながら、交通面とSDGsが繋がるものを制作してきました。

## <交通ステッカーデザイン>



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

真庭市

は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

そこから私たちが制作したデザインは、大量生産可能な交通ステッカーです。ほかにも、様々な種類のものを制作していこうと考えています。現在、SDGsに制定されているガイドラインを用いて、ミスのないように取り組んでいます。

## <考察>

・真庭市が交通安全に取り組む  
→SDGs目標達成の一步となる

・他の運転手への意思表示、注意喚起、事故防止につながる

## <まとめ>

・交通ステッカー  
→企画制作途中



真庭市が『SDGs未来都市』に認定されていることを知ってもらう

次に、考察としてSDGs目標達成の1歩になることで真庭市が『SDGs未来都市』だということを知ってもらうことができると思いました。また、車に貼ることで、他者への意思表示に繋がるので、事故が減るきっかけになる商品にしていきたいと思えます。

現時点では製作途中ですが、今後は真庭市の総合政策部総合政策課の方に案を提出させていただいて、意見を活動に生かしながら今後の活動にも取り組んでいこうと思えます。

# 人の目に止まるホームページを作る！

## 遠藤翔・梶田瑞樹・浅尾心・出口璃々

### 活動の目的

- ・真庭高校のホームページでSDGsについての取り組みをアピールする
- ・人の目に留まるホームページを作る

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

### 人の目に留まるホームページとは

- ・最初の紹介文で読む人を引き付ける
- ・文字と画像の比率は4:6
- ・文字や色遣いの工夫をする

真庭高校のホームページでSDGsについての取り組みをアピールする案を考えることと、私たちがホームページを作るうえで目標にしている人の目に留まるホームページを作るということを目的に活動した。

大学や企業のホームページを見て、ホームページの見やすさについて調べ、3つにまとめた。

### 真庭高校落合校地の今のホームページ↓

### 私たちのホームページ案↓



左は必要な情報のみ記載、だが更新されていないブログがあり色の統一性がないと感じた。これらの点を改善した新しいホームページ案を考えた。

### ホームページ案の工夫のポイント

- ・真庭高校のイメージカラー緑を多く取り入れた
- ・様々な色は使わず、シンプルで見やすくした
- ・スクロールしなくていいようにまとめた
- ・現ホームページに更新されていない記事があったので省いた

真庭高校のイメージカラーの緑を多く取り入れ様々な色は使わずシンプルにし、見やすくなるようにした。また、スクロールをなくすためにまとめ、更新されていない記事は省いた。

### 今後の課題

- ・新しいホームページのデザインを完成させる
- ・寮生活の項目を加える
- ・老若男女問わず様々な世代にみてもらえるようなデザインにする
- ・看護の実習室などの特徴的な教室の情報を入れて真庭高校の強みについて知ってもらう

県外からの進学を考えている人のために寮生活についての項目を記入する。卒業生の方々への項目も入れたいと思う。

### まとめ

- ・ホームページをいつもと違う視点で見ることで新たな発見があった
- ・ホームページのデザイン案を考えるのは予想以上に困難だった
- ・初期の活動が少なく時間を有効に使えなかった
- ・もっとホームページについて調べ  
「人の目に止まるホームページ」について追求する

ホームページには見たくさせる工夫がたくさんあった。見やすさを調べ、まとめたものを活用してホームページを作るのはとても難しいことが分かった。

# 見やすいホームページとSDGs

## 佐田笙華・山田宝良・森元偉楓・山口敦誉

### 活動の目的・きっかけ

- ・真庭市が取り組んでいるSDGsの活動について知ってもらおう
- ・誰にでも分かるような見やすいホームページを作成する

### 取り組んだ内容① 真庭市のSDGsの取り組みについて調べた

#### 真庭市が2030年までに目指している事

| 項目              | 目標      | 目標      | KPI     |
|-----------------|---------|---------|---------|
| 1. 持続可能な開発目標の推進 | SDGsの推進 | SDGsの推進 | SDGsの推進 |
| 2. 気候変動の緩和      | 気候変動の緩和 | 気候変動の緩和 | 気候変動の緩和 |
| 3. 気候変動の適応      | 気候変動の適応 | 気候変動の適応 | 気候変動の適応 |
| 4. 気候変動の適応      | 気候変動の適応 | 気候変動の適応 | 気候変動の適応 |

岡山県真庭市SDGs未来都市計画岡山県真庭市  
[http://www.city.menlwa.lg.jp/webapps/ocpn\\_imgs/info/0000000203\\_0000042509.pdf?search=%27%79%9C%9F%5E%BA%AD%5E%BB%82%5D%7E%F%BD%93%27](http://www.city.menlwa.lg.jp/webapps/ocpn_imgs/info/0000000203_0000042509.pdf?search=%27%79%9C%9F%5E%BA%AD%5E%BB%82%5D%7E%F%BD%93%27)

私たちは真庭市の活動を真庭高校のホームページを通して一人でも多くの人に知ってもらいたいと思い、この活動に取り組みました。

真庭市が2030年までに目指している事はバイオマス発電所を二つに増やすこと、小、中学校でSDGsを学ぶ実践活動の実施です。これを行うことで、真庭市により、SDGsが広まることが期待されています。

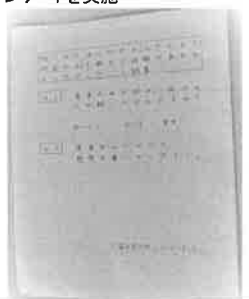
### 取り組んだ内容② 水についてのアンケートを実施

#### 意見

- ・質問の内容が具体的ではないから分からない
- ・どんな意図で実施したのか?
- ・真庭の水がおいしいのなら商品化されてもおかしくない
- ・ほかの水との違いが分からない
- ・まず飲んだことがない

#### 反省点

- ・質問の内容がざっくりしすぎていた
- ・手書きで書いたため読みづらく伝わりにくかった
- ・真庭の水を飲んだことがあるか無いかを最初に聞いたほうがよかった



### 取り組んだ内容③ アンケートをとって学校のホームページの見やすい点・見にくい点をまとめた

- 聞いた人
- ・1年団の先生方(10名)
- ・1年生(70名)

計80名

見やすい点

- ・色合い
- ・文字の量
- ・年表の前

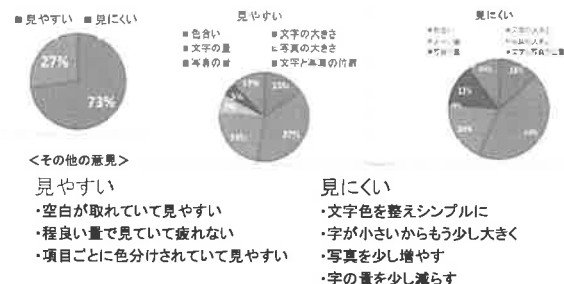
見にくい点

- ・文字の大きさ
- ・写真の大きさ
- ・文字と背景の対比

旭川の上流以外の水を飲んだことがある先生へのアンケートを実施しました。反省点のほが多かったので、次から改善していきたいと思えます。

水のアンケートの反省を生かしてWordでアンケートを作り、見やすくしました。さらに、たくさんの人にアンケートをとることで多くの意見をもらうことができました。アンケートをできるだけ見やすく、わかりやすくするように工夫しました。

### アンケート結果



### アンケートをとって

- ・アンケートを実施する側が文章に工夫をする事でアンケート結果もいいものに繋がると思った
- ・寄せられた感想を今後の活動に活かしていきたいと思った
- ・今回のアンケート結果には「見にくい」という意見もあった
- 「見にくい」の意見を0に!

### 活動を通して気づいたこと

- ・ホームページを完成させれば良い ✖
- 世界で抱えている問題や課題の根本的な内容を理解
- ・知り得たことをさらに深く探求
- 活動に活かす
- ・活動に計画をたて着目した内容を見やすく分かりやすく!
- ホームページの見やすさに繋がる

### 今後の目標

- ◎自分たちが知り得た事の有効活用
- ・写真と文字の割合 6:4
- ・文字色をシンプルに
- ・見にくい意見を0に
- ◎反省点も活かしていく
- ・質問の内容を明確に!
- ・初めに意図を伝える

アンケートをとって見やすい点、見にくい点の貴重な意見を頂いたので実際にホームページを作成するときに役立てたいと思えます。

ただホームページを作成すればいいわけではなくて、作る理由、目的を考えて作らないと意味がないことに気づきました。今後の目標は、自分たちが知り得たことの有効活用や反省点を次に生かすことです。

# 真庭高校のホームページ

## 山口こまち・森下真妃・溝尾杏美里

### 目的

真庭高校のホームページを見た人に少しでもSDGsのことを知ってもらえるようなホームページを作成する

真庭高校のホームページを見てSDGsのことを知ってもらえるようなホームページを作る。

### 取り組んだ内容

色んな高校や、SDGsに関するホームページを調べた。



デザインを参考にして真庭高校のホームページのデザインを考えた。

いろいろなホームページを調べ、ホームページのデザインを考えた。

### 現在のホームページ



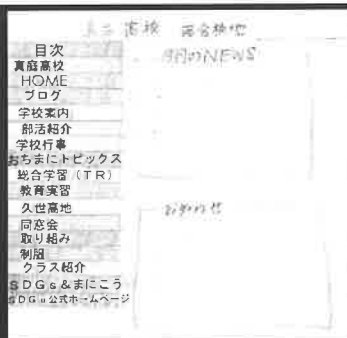
このホームページだと、色が見にくく字が小さい。そして写真があまり更新されていない。

### 見やすくするために

- ・文字が大きい
- ・文字の色（暗め）
- ・写真が多めで、頻繁に更新される
- ・SDGsの公式ホームページや、SDGsと真庭高校の取り組みを載せる

見やすくするために私たちが考えたこと。

### 改善してみた



私たちが考えたホームページのデザイン  
・目次の色はSDGsの十七色を意識した。  
・「取り組み」「SDGsのホームページ」を押すと真庭高校とSDGsの取り組みや、SDGsの公式ホームページが見える。

### まとめ

真庭高校はSDGsと関係が深い高校だけど、現在のホームページにはSDGs感がなかった。私たちの考えたホームページでは、SDGsに関係した高校だと見た人にわかるようになると思った。

真庭高校のホームページは、もう少しSDGs感を出すといいと思った。そして、さらに見やすいホームページになるように改善することが今後の課題である。



# 第2学年



# 令和元年度 2年生 真庭トライ&リポート(TR) 年間活動計画

| 回  | 月   | 日   | プロセス                             | 評価                   | 内容  | 形態     | 活動場所             | 担当者  |
|----|-----|-----|----------------------------------|----------------------|---|--------|------------------|------|
| 1  | 4月  | 12日 | 進路面談<br>修学旅行<br>班別自主研修<br>テーマの導入 | 評価<br>I<br>II<br>III | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 進路につながる探究活動のための面談</li> <li>■ 『修学旅行2日目班別自主研修』に向けた活動</li> <li>■ アンケートによるチャンネル設定(①健康②教育③国際・文化④美容・ファッション⑤暮らし)</li> </ul>   | 2年全体   | 各HR<br>電算<br>視聴覚 | 各担当者 |
| 2  | 4月  | 19日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 3  | 4月  | 26日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 4  | 5月  | 10日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 5  | 5月  | 17日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 6  | 5月  | 31日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 7  | 6月  | 7日  | (1)テーマ設定                         | 評価<br>I              | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ チャンネル内グループ割り</li> <li>SDGsの17の目標&amp;169のターゲットの中からキーワードを見つける</li> <li>→テーマ設定→活動計画書提出</li> </ul>  | 各グループ  | 各教室              | 各担当者 |
| 8  | 6月  | 21日 | (2)探究活動計画                        |                      |   |        |                  |      |
| 9  | 7月  | 12日 | (4)<br>探究活動①                     | 評価<br>II<br>III      | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実体験を通じた学習 〈体験の質と量〉『やってみよう!』『?』→(体験)→『!』</li> <li>SDGs Think Globally, Act Locally</li> <li>自分の目で見える, 耳で聞く, 手で触れる, 足で訪れる。</li> <li>メディア情報(本・TV・PC)のコピペに頼らない。</li> <li>・各プロジェクトで外部講師講演OK</li> <li>・図書館・インターネットでの調べ学習</li> <li>・校外インタビュー</li> <li>・アンケート(生徒・教員・保護者・地域)</li> <li>・実験・実習・制作</li> <li>・カメラ・ビデオ活用・パソコン</li> </ul> | 各グループ  | 各教室              | 各担当者 |
| 10 | 7月  | 24日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 11 | 7月  | 24日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 12 | 7月  | 25日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 13 | 7月  | 25日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 14 | 8月  | 21日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 15 | 8月  | 22日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 16 | 9月  | 13日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 17 | 9月  | 20日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 18 | 10月 | 4日  | (5)<br>まとめ①                      | 評価<br>I<br>II<br>III | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中間発表会に向けたまとめ パワーポイント作成</li> </ul>  |        |                  |      |
| 19 | 10月 | 11日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 20 | 11月 | 1日  | (6)<br>発表①                       |                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中間発表会</li> <li>普通科9チーム 各グループ:7分発表 + 3分質疑応答</li> </ul>  | 2年生普通科 | 会議室              | 2年団  |
| 21 | 11月 | 8日  | (7)<br>探究活動②                     | 評価<br>II<br>III      | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中間発表での意見をまとめ、最終目標・具体的な取り組みの設定</li> <li>■ 探究活動の継続</li> <li>■ 中間発表会(看護科)12/26</li> </ul>   | 各グループ  | 各教室              | 各担当者 |
| 22 | 11月 | 15日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 23 | 11月 | 22日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 24 | 12月 | 13日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 25 | 12月 | 25日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 26 | 12月 | 25日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 27 | 12月 | 25日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 28 | 12月 | 26日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 29 | 12月 | 26日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 30 | 1月  | 10日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 31 | 1月  | 17日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 32 | 1月  | 24日 |                                  |                      |   |        |                  |      |
| 33 | 2月  | 7日  | (9)発表③                           |                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ TR成果発表会・TRアンケート</li> </ul>   | 全校     | 落合総合C            | 2年団  |

2年団: 佐古/栗木・藤田/鈴木・池田/田中・松本/杉/沼野・小林

■形態: 学年単位とし、3年間を通して段階的に発展していく。3年間の見通しをもって、総合的な探究の時間『真庭Try&Report(TR)』を計画する。

【第1学年】“HOW TO LEARN”(ものごとを調べ、まとめる方法を学ぶ)課題別グループ学習[興味・関心を広げる]

【第2学年】“WHAT TO LEARN”(自分で課題を設定し、調べる)進路別課題学習[知識・理解を深める]

【第3学年】“HOW TO LIVE”(進路実現・卒業後の生活のために学ぶ)進路別課題学習[具体的な自身の進路実現]

■学年のテーマ: 『SDGs』

進路につながる探究活動のための面談 → 希望アンケート → チャンネル分け → SDGsの17の目標&169のターゲットからキーワードを見つける → 課題の設定

|                  |  |  |      |                |
|------------------|--|--|------|----------------|
| S<br>D<br>G<br>s | ①健康 6班 21人<br>【キーワード】児童虐待・食品ロス・地産地消・免疫力向上・医療格差・チーム医療 |  | 講義室  | 小林<br>田中<br>栗木 |
|                  | ②教育 2班 11人<br>【キーワード】食育・子育て                          |  | 2-2  | 松本<br>沼野       |
|                  | ③国際・文化 4班 18人<br>【キーワード】多文化共生・教育・認知症・DMAT            |  | 2-1  | 池田<br>藤田       |
|                  | ④美容・ファッション 1班 4人<br>【キーワード】古着・防災                     |  | 被服教室 | 杉              |
|                  | ⑤暮らし 3班 17人<br>【キーワード】労働環境・水害・在宅看護                   |  | 物理教室 | 佐古<br>鈴木       |

2年TR 探究テーマ一覧

| チャンネル | 班  | 班長   | 出席番号   | 名前     | 類型                      | テーマ                         |
|-------|----|------|--------|--------|-------------------------|-----------------------------|
| 健康    | 1  | ○    | 2102   | 金崎 巧樹  | 文系                      | 子どもと親のよりよい関係を目指して           |
|       |    |      | 2121   | 山本 真莉  | 文系                      |                             |
|       |    |      | 2203   | 小林 海翔  | 理系                      |                             |
|       |    |      | 2213   | 硯 干波海  | 文系                      |                             |
|       | 2  | ○    | 2119   | 宮本 清楓  | 文系                      | 飢餓をゼロに ～食品ロス～               |
|       |    |      | 2212   | 近藤 柚花  | 文系                      |                             |
|       |    |      | 2218   | 山本 里采  | 文系                      |                             |
|       |    |      | 2220   | 横山 未来  | 文系                      |                             |
|       | 3  | ○    | 2104   | 坂本 士恩  | 文系                      | 健康な食事                       |
|       |    |      | 2204   | 富田 聖也  | 理系                      |                             |
|       |    |      | 2206   | 藤井 晴己  | 理系                      |                             |
|       | 4  | ○    | 2305   | 大林 鈴奈  | 看護科                     | すべての人に健康を                   |
|       |    |      | 2310   | 杉谷 茜音  | 看護科                     |                             |
|       |    |      | 2312   | 高柳 凜   | 看護科                     |                             |
|       |    |      | 2320   | 藤原 加那  | 看護科                     |                             |
|       | 5  | ○    | 2318   | 早川 里奈  | 看護科                     | 岡山市と真庭市の医療の質の差を調べる          |
|       |    |      | 2319   | 藤田 瑠夏  | 看護科                     |                             |
|       |    |      | 2322   | 松田 優花  | 看護科                     |                             |
|       | 6  | ○    | 2325   | 宮本 桃花  | 看護科                     | 全ての人に健康と福祉を チーム医療について       |
|       |    |      | 2328   | 山崎 ほのか | 看護科                     |                             |
|       |    |      | 2331   | 余座 華鈴  | 看護科                     |                             |
| 教育    | 7  | ○    | 2112   | 石田 和加奈 | 家庭系                     | 食育 ～規則正しい食生活を目指して～          |
|       |    |      | 2113   | 植木 紫帆  | 文系                      |                             |
|       |    |      | 2214   | 藤井 美実  | 文系                      |                             |
|       |    |      | 2217   | 柳 朱乃   | 文系                      |                             |
|       |    |      | 2219   | 横山 綾香  | 文系                      |                             |
|       |    |      | 2321   | 松島 麗未  | 看護科                     |                             |
|       | 8  | ○    | 2303   | 有平 優花  | 看護科                     | 夢のある子育てを目指して ～私たちにできる子育て支援～ |
|       |    |      | 2311   | 高橋 菜々美 | 看護科                     |                             |
|       |    |      | 2323   | 見尾 来夢  | 看護科                     |                             |
|       |    |      | 2326   | 宮本 流那  | 看護科                     |                             |
| 国際文化  | 9  | ○    | 2101   | 池永 智草  | 文系                      | 多文化共生を目指して                  |
|       |    |      | 2201   | 上河 聡太  | 文系                      |                             |
|       |    |      | 2205   | 中山 琉希  | 文系                      |                             |
|       |    |      | 2208   | 丸山 魁斗  | 文系                      |                             |
|       | 10 | ○    | 2207   | 本多 礼緒奈 | 文系                      | 全ての人に教育を ～私たちにできること～        |
|       |    |      | 2116   | 坂根 佑柔  | 文系                      |                             |
|       |    |      | 2215   | 宮本 妃菜  | 文系                      |                             |
|       | 11 | ○    | 2216   | 森本 真子  | 文系                      | 高齢者の健康と福祉 ～認知症～             |
|       |    |      | 2313   | 瀧本 蒼   | 看護科                     |                             |
|       |    |      | 2314   | 竹原 優羽  | 看護科                     |                             |
|       |    |      | 2315   | 土山 夢希望 | 看護科                     |                             |
|       | 12 | ○    | 2306   | 奥田 季希  | 看護科                     | DMAT ～私たちにできること～            |
| 2301  |    |      | 池田 晃輔  | 看護科    |                         |                             |
| 2316  |    |      | 土居 愛琴  | 看護科    |                         |                             |
| 2329  |    |      | 山本 愛奈  | 看護科    |                         |                             |
| 2304  |    |      | 井上 菜津美 | 看護科    |                         |                             |
| 2308  |    |      | 栗村 陽向  | 看護科    |                         |                             |
| 13    | ○  | 2324 | 水杉 礼奈  | 看護科    | 古着から防災へ ～持続可能な衣生活を目指して～ |                             |
|       |    | 2111 | 青木 芽衣  | 家庭系    |                         |                             |
|       |    | 2115 | 岡田 菜摘  | 家庭系    |                         |                             |
|       |    | 2118 | 谷本 未鈴  | 家庭系    |                         |                             |
| 暮らし   | 14 | ○    | 2211   | 北畑 光菜実 | 文系                      | 働きやすい職場とは ～安心・安全な労働環境を目指して～ |
|       |    |      | 2103   | 河野 智久  | ビジネス系                   |                             |
|       |    |      | 2106   | 林 大輔   | 文系                      |                             |
|       |    |      | 2108   | 森岡 拓巳  | 文系                      |                             |
|       |    |      | 2110   | 渡辺 貴行  | 文系                      |                             |
|       |    |      | 2114   | 大澤 陽   | ビジネス系                   |                             |
|       |    |      | 2117   | 武井 妃奈乃 | ビジネス系                   |                             |
|       | 15 | ○    | 2209   | 森下 力   | 文系                      | 水害に備えて ～みんなが安全に行動できるために～    |
|       |    |      | 2105   | 杉山 駿弥  | 文系                      |                             |
|       |    |      | 2107   | 室川 大和  | 文系                      |                             |
|       |    |      | 2109   | 横山 航大  | ビジネス系                   |                             |
|       |    |      | 2202   | 大橋 勝利  | 文系                      |                             |
|       | 16 | ○    | 2210   | 鷲須 友樹  | 理系                      | 在宅看護の課題について                 |
|       |    |      | 2302   | 竹内 豊太郎 | 看護科                     |                             |
| 2307  |    |      | 桑木 ひな子 | 看護科    |                         |                             |
| 2309  |    |      | 小林 なずな | 看護科    |                         |                             |
|       |    |      | 2317   | 東院 美幸  | 看護科                     |                             |
|       |    |      | 2327   | 森下 沙耶樺 | 看護科                     |                             |





# 健康チャンネル



# 子どもと親のより良い関係を目指して

小林海翔 金崎巧樹 硯千波海 山本真莉

テーマ

「年齢ごとの子どもの考え方と親の接し方」




3 すべての人に健康と福祉を

私たちはSDGSの17の目標の中から、3項目めの「すべての人に健康と福祉を」を目標に設定した。

問題視されている子育ての問題

児童虐待

仕事と育児の両立




世間では虐待や仕事と育児の両立の難しさが問題になっている。その改善策として親の負担を減らすこと、子どもの心情を理解することがあげられる。

ボランティア

内容

- ・ プール
- ・ 押し花
- ・ 絵本の読み聞かせ
- ・ 外遊び




実際の子どもの接し方を知るためにボランティアをした。2つの質問をして、保育士が子どものことを大切にしていることが分かった。

○質問内容

対象

「幼児」



- ①個性をつぶさない叱り方
- ②子供が成長するために親ができること

幼児や子どもの教育に関する専門的な知識を知りたいと思い、大学准教授の津々先生に質問をした。

アンケート


○対象

『真庭高校2年の保護者の方』

『落合小学校の保護者の方』

↓

幅広い保護者の意見を得るため



大学准教授の津々先生にアドバイスをいただき、実際に子育てをしている保護者の現状を知るためにアンケートを取った。

何ができるか【まとめ】

アンケートの結果から  
ハンドブックを作成

他の人の意見(気持ち)がわかる

↓

ストレスが軽減する

↓

児童虐待が減少する！

悩みを抱える保護者に対して、そのストレスや悩みを軽減するために保護者同士で悩みを共有することで児童虐待の減少につながると考えた。

# 飢餓をゼロに～食品ロス～

宮本清楓 近藤柚花 山本里采 横山未来

## 2 飢餓をゼロに

飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

栄養が偏っている食事を改善し、地域の農業を活発にする

食品ロス⇒年間2842万トンの食品を捨てられている  
そのうち食べられるのに捨てている食品は  
646万トン

SDG's  JOURNAL [https://sdg-support.or.jp/journal/goal\\_02/](https://sdg-support.or.jp/journal/goal_02/)

## 目的

- ・賞味期限や消費期限切れで捨ててしまうことをなくす
- ・食材を無駄なく使う

このテーマにした理由は将来就きたい職業に関連していたり、食に興味があったから

たとえば、野菜の皮を薄く切ったり、時々消費期限などを確認したりする

## 蒜山おこわ 材料<10人分>

|      |        |                                |
|------|--------|--------------------------------|
| もち米  | 7合     |                                |
| 鶏肉   | 370g   |                                |
| ごぼう  | 1本     | ①もち米を炊く                        |
| 人参   | 1本     | ②野菜を切る                         |
| 小豆   | 適量     | ③鶏肉とごぼうを炒める                    |
| シイタケ | 4本     | ④ダシを③に入れ少し煮る                   |
| <ダシ> |        | ⑤具材とダシに分け、具材は①に入れ、ダシは捨てずにとっておく |
| 水    | 400ml  | ⑥炊けたら軽く混ぜ、ダシを合わせ混ぜる            |
| 醤油   | 大さじ2   |                                |
| 砂糖   | 大さじ2/1 |                                |
| 塩    |        |                                |
| ダシの素 | 小さじ4/1 |                                |

もち米を洗った後の汁を他の料理に使用したり、真庭の食材を使って料理できた

## 風呂吹き大根 材料<10人分>

|      |        |                              |
|------|--------|------------------------------|
| 大根   | 1本     |                              |
| 昆布   | 1枚     |                              |
| 米    | 少量     | ①大根を切って昆布と米、大根が浸かる位の水に入れ、煮込む |
| 水    | 適量     | ②たれを全部混ぜ、粘り気が出るまで火にかける       |
| <タレ> |        | ③大根を皿に盛り、たれを乗せる              |
| 味噌   | 大さじ3   |                              |
| ダシの素 | 小さじ2杯半 |                              |
| 砂糖   | 大さじ1   |                              |
| 酒    | 大さじ1   |                              |

野菜の皮をサラダに活用したり、もち米を洗った汁で時間短縮した

## 食品ロスを減らすために

- ・もち米をといた水で風呂吹き大根を煮た
- ・大根の皮をサラダにした
- ・余った材料は配布した

食べられる分の料理を作ること無駄な廃棄物を減らすことができる

## まとめ

- ・日本は世界の食援助量の2倍も沢山の食材を無駄にしていることが分かった
- ・食品ロスを減らすために献立を考えた
- ・今回は時間がなくてできなかったがまた機会があればポスターを作って広めていき食品ロスを減らしたいと思った

食品ロスを減らすために一人一人が食品を捨てるように気を付けていくことが大切。

# 健康な食事

富田聖也 坂本土恩 藤井晴己

## 選択したSDGsの課題と原因

- 日本の食生活が乱れている
  - 共働き
  - 帰宅が遅く
  - コンビニ弁当
- 健康な食事をしてほしい
- いつまでも健康でいてほしい



## 活動目的

健康な食事が摂れるようになるためには、どんなことが必要か。自分たちにはどんなことができるか調べてみた。

日本の食生活が乱れているため、健康な食事をしてほしいと思った。

健康な食事のために自分たちがどんなことができるか、また何が必要かを考えた。

## 活動内容（調理実習）

献立のポイント！

- 栄養素（タンパク質、炭水化物、ミネラル、脂質、ビタミン）をバランス良く
- 子供からお年寄りまで
- 食べやすい（噛みやすい）
- 美味しい料理であること

健康的な食事をするには  
手間暇がかかる



忙しいと難しい

## 活動内容（調理実習）

銀しぶきカレーライス



・銀しぶきの食物繊維の  
効果で消化促進効果！

・カレーと銀しぶきが案外  
合っておいしかった

・作る作業は簡単だった

・作るのは簡単だったが、洗い物  
が大変だった。2時間近くかかった。

オムライスを作ってみて今後すべきことや課題が見つかった。

地元の特産物を使って栄養も偏りなく摂れる食事を作った。

## 今後の課題

- 忙しい中でも作ることでできる食事
- 必要な栄養素を広める
- 費用が少なく作れる
- もっと調べ学習をする

## まとめ

洗い物まですると、とてつもなく時間がかかることが分かった。

だから冷凍食品やコンビニ弁当が好れる。ご飯を作ってくれる方に感謝したい。

作り置きや惣菜を一品加えるなどしていきたい。

課題の中でも、特に栄養を周りに広めていきたいと思う。

普段作ってくれている料理も忙しい中作っていることが分かった。そのため、食事を作ってくれている人に感謝しなければならない。

# すべての人に健康を

大林鈴奈 杉谷茜音 藤原加那 高柳凜

SDGs  
3

悪性新生物での死亡率が増加している

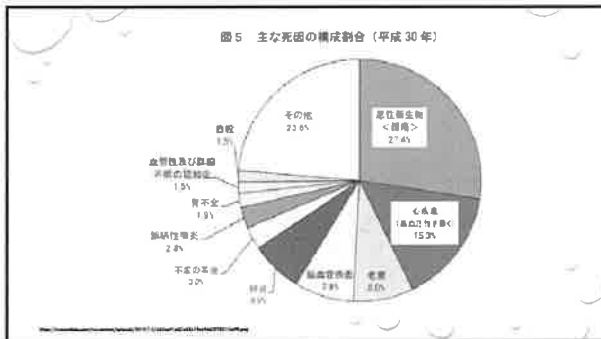
その原因として免疫力の低下が影響しているのではないかと考えた。

## 目的

免疫力を高めるためには何が効果的なのか調べる。

日本人の死亡原因で最も多いのは癌で、二番目に多いのは心疾患、三番目に多いのは脳血管疾患である。癌は長年最も多い死亡原因となっている。がんを予防し、健康を保つためには免疫力を上げることが重要である。

生活習慣病の人が多くなり、食生活の乱れによりがんが発生することがあると考えた。そして、食べ物でがんの予防もできることがわかった。



- ①笑顔になること
- ②体にいい食べ物を食べる

↓  
免疫力を高める

日本人の死亡原因で最も多いのは癌で、二番目に多いのは心疾患、三番目に多いのは脳血管疾患である。癌は長年最も多い死亡原因となっている。

免疫力を上げるには、体温を上げることと、笑うことなどがあげられる。軽い運動をしたり、少し外に出て日光にあたりたり、人とコミュニケーションをとることが笑いに繋がる。そして、食生活で体温を上げることができる食べ物にはニンニク、ショウガなどがある。

## 課題

- 食べ物以外に何か免疫力を高める方法がないかを探す。
- おいしく食べられるレシピを考える。

## まとめ

免疫力を高めることががん予防につながる。  
免疫力を高める栄養素が多くの野菜には含まれているため、積極的に野菜を摂取する

食べ物以外に何か免疫力を高める方法がないかを考える。また、だれでもおいしく食べられるレシピを考える。

癌の予防と、健康を保つためには免疫力を上げることが大切ということがわかった。免疫力を上げるためには適度な運動や、日光を浴びてストレスを軽減することも大切である。適度な運動や日光を浴びること、ストレスを軽減すること、食生活などは全て体温を上げることに繋がっている。

# 岡山市と真庭市の医療の質を調べる

## 藤田瑠夏 松田優花 早川里奈

### 調べようと思った理由

- 自分たちの住んでいる市の医療の現場では、
- どのような医療関係者が活躍しているのか。
- 他の市(岡山市)では、どうなのか。
- 真庭と岡山の医療格差を知りたかった。
- 看護科としてその目線で考えてみたかった。

医療の質とは何かと考え、私たちは医療技術と定義した。医療技術とは人間の健康の維持、回復、促進などを目的とした諸活動について用いられる言葉です。

### 医療従事者の人数

| 人   | 岡山市   | 真庭市 |
|-----|-------|-----|
| 医師  | 3081  | 76  |
| 看護師 | 10022 | 533 |

医療には様々な関係者がおり、連携している。真庭市役所と岡山市役所に電話をし、医師と看護師の数を聞きました。

### 人口一人あたりの医師の数

| 人/万人 | 岡山市 | 真庭市 |
|------|-----|-----|
| 医師   | 44  | 16  |

岡山市の人口は約707,000人真庭市の人口は約45,000人岡山市と真庭市で数に差があることが分かった。

### 以上のデータからわかること

- 真庭市は、岡山市に比べると医師の人数は少ない
- 岡山市は、専門医療が充実している。
- 真庭市は、専門の医師は少ないが、岡山の医師が真庭に来たり、大きな病院に紹介状を書いたりしているので、充実していないわけではない。

岡山市は、専門医療が充実している。真庭市は、専門の医師は少ないが、岡山市の医師が真庭市に来たり、大きな病院に紹介状を書いたりしているので、充実していないわけではない。

### 私たちにできること

- 地域の病院に就職し人数不足による医療格差をなくす!!

地域の病院に就職し人数不足による医療格差をなくす

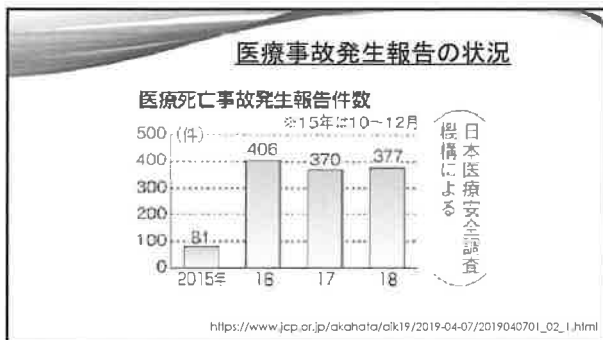
## まとめ

- 真庭市と岡山市の医療格差は、病院や医療従事者の数は真庭市のほうが少ない。しかし、専門医もいるため技術の差はないと考えた。

真庭市と岡山市の医療格差は、病院や医療従事者の数は真庭市のほうが少ない。しかし、専門医もいるため技術の差はないと考えた。

# 全ての人に健康と福祉を チーム医療について

山崎ほのか 宮本桃花 余座華鈴



2016年で医療事故が増え、一度は減ったがまた増加してきている。

### 課題

医療死亡事故が多く医療事故がなくなる  
医療事故発生件数は減ってきているがなくなる

### 目的

医療専門職者と連携することで医療事故を少なくすることができると考えた。  
情報共有を行うことがチーム医療を良くすることにつながると思った。

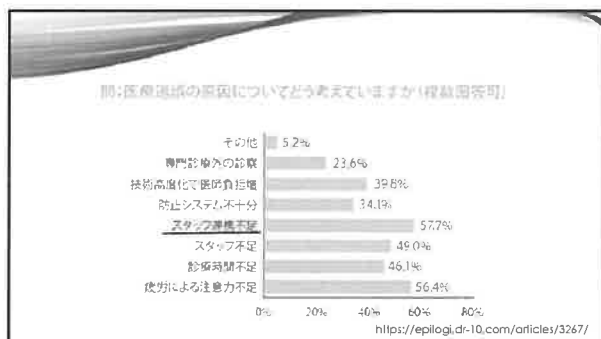
医療事故が増えてきている事から、医療専門職者と連携することで医療事故を少なくすることができると考え、情報共有を行うことがチーム医療を良くすることにつながると思った。

### ~チーム医療とは~

一人の患者に対して、複数の医療専門職が連携して治療やケアに当たること。病院では、診察室や病棟で患者と向き合う医師や看護師のほかにも、医療ソーシャルワーカーや管理栄養士、理学療法士などの医療専門職が働き、それぞれの患者の療養生活を支えている。

<https://medical.nikkeibp.co.jp> がんナビより

病院では診察室や病棟で患者と向き合う医師や看護師の他にも医療ソーシャルワーカーや管理栄養士、理学療法士など多くの専門職が働きそれぞれの患者の療養生活を支えている。



医療事故はスタッフの連携不足で起こっているため、スタッフの意識を高めることで医療事故が減ると考えた。

### 課題

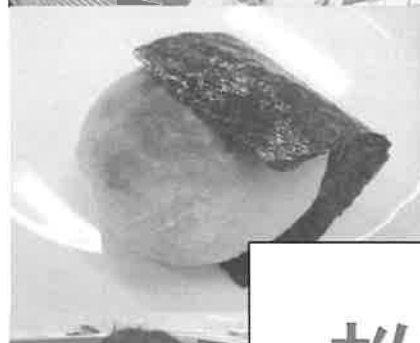
各医療専門職者で的確に情報共有を行うこと  
医療スタッフで連携を取ること  
多職種を理解を深めていき、情報を共有すること

課題として、各医療専門職者で的確に情報共有を行うこと、多職種を理解を深めていき、情報を共有することが大切だと思った。

### まとめ

・医者、看護師以外の医療専門職者と連携することで医療事故を防ぐことが出来ると分かった  
・少しのミスでおおきな問題になることがわかった

医師、看護師以外の医療専門職者と連携することで医療事故を防ぐことが出来ると分かった。



# 教育チャンネル





# 食育～規則正しい食生活を目指して～

植木紫帆 石田和加奈 藤井美実  
柳朱乃 横山綾香 松島麗未

## 探究テーマ(SDGsの課題と原因)

- ・残飯が多い…朝ごはんや給食の大切さを伝え、食品ロスをなくしたい！
- ・園児、児童、患者さんにより健康に過ごしてほしい！  
(栄養摂取の偏り、朝食欠食、生活習慣病、食物アレルギー、食品の安全性…)
- ・食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけてほしい！



## 活動内容①(アンケート調査)

【アンケート内容】

- ・嫌いな食べ物は？
- ・嫌いな食べ物はどのようにしたら食べられた？
- ・朝ごはんは食べますか？
- ・週にどのくらい食べますか？
- ・食べられない理由は何ですか？  
など

【結果】

- ・小学生の嫌いな食べ物は野菜が多い
- ・学年が上がるにつれて食べられないものが食べられるようになる
- ・高学年は野菜とその他の割合が半分
- ・低学年は全体的に嫌いな食べ物が多い



私たちは将来、学校教員・保育士・看護師を目指しており、現在の日本の小学校におけるいろいろな課題を知り、『世界がもし100人の村だったら』という本から印象に残った「食育」について探究した。

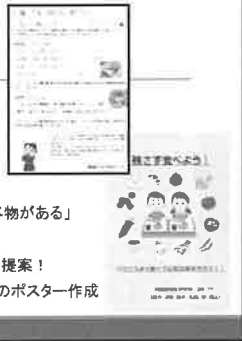
小学生の給食の残飯が多いことに着目し、現状を知るために、落合小学校の児童にアンケートに協力してもらった。さらに、朝食についてのアンケートも追加実施し、高学年・低学年それぞれで結果をまとめた。

## 活動内容②(考察から)

- 【問題】「パンのみ」「ご飯のみ」の児童が多い  
・週に食べない日の方が多児童がいる  
・6年生には「毎日食べない」児童がいる

↓  
【理由】「時間がない」「食欲がない」「嫌いな食べ物がある」

- ↓  
・時間がない朝、手軽に食べられる朝食メニューを提案！  
・「朝ごはんは大事！」「給食を残さず食べよう！」のポスター作成



## 活動内容③(中間発表から)

真庭の郷土料理「けんびき焼き」作り

(けんびき焼き:お湯で練った小麦粉に、あんをつめて焼く)

- ・真庭の郷土料理を知ってほしい！
- ・嫌いな食べ物はにんじん、きのこ類…カレー味なら…
- ・朝食をきちんと食べてほしい…

↓  
もにけんを考案！！



アンケート結果から、問題点とその理由を考え、4種類のポスターを作成したり、サンドイッチなどの朝食ワンプレートメニューを考案してチラシを作成したりして、落合小学校に掲示・配布してもらった。

中間発表での他の班のアドバイスを参考に、真庭の郷土料理「けんびき焼き」を作った。さらにアンケート結果の問題点とその理由を考え、「もにけん」という朝食レシピを自分たちで考案・試作し、ポスターも作成した。

## まとめ

- ・朝ごはんや給食の大切さを伝え、残飯を減らし、食品ロスをなくすよう伝えることができた！
- ・園児、児童、患者さんがより健康に過ごせる朝食メニューを考案し、作る事ができた！
- ・自分たちが考案したオリジナルレシピをポスターやチラシにして紹介することができた！



## これからの課題・わたしたちの目標

これらの経験を活かして、

将来、先生・看護師になり、園児・児童・患者さんに、

**食に関する正しい知識と望ましい食習慣**  
を身につけてもらえるようにする！



朝ごはんや給食の大切さを伝え、栄養摂取の偏りや朝食欠食をなくし、規則正しく、より健康に過ごせるよう促すことができた。自分たちに何ができるのかを6人で考え、実行し、まとめ、発表することができた。

2年生TRで活動した経験を活かして、将来、学校教員・保育士・看護師になったときに、園児・児童・患者さんに、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけてもらい、「SDGsゴール4」を達成したい！

# 夢のある子育てを目指して ～私たちにできる子育て支援～

宮本流那 山本実玖 有平優花 高橋菜々美 見尾来夢

**【SDGS】 目標16**  
**「平和と公正をすべての人に！」**  
選んだ理由...

子育てお母さんのSOSがあることを知った  
(お母さんだけが苦労している...)

お母さんの公正はあるのか？  
お母さんを支援する方法はないのだろうか？


**私たちが力になれる活動をしよう！！**

子育て中のお母さんのSOSがある事、お母さんだけが苦しんでいる事からお母さんの公正はあるのか、そしてお母さんを支援する方法はあるのかと思ひ、私たちが力になれる活動をしたと思つた。

**【きっかけ】**

①子育てにどれだけの費用がかかるか  
気になったから

②お母さんのSOSの声に耳を傾けお母さんたちの  
悩みの現状を知り私たちにできる  
ことがあれば何か力になりたいと  
思つたから



保育園～大学を卒業するまでの教育費にどれほどかかるか、進学を考えている人の今後の見通しを立てることができると思つた。  
両親が子育てに対してどう思っているのか知りたいと思つた。

**【活動内容】**

①インターネットを利用して学費を調べた  
(保育園, 幼稚園, 小, 中, 高, 大学)

②子育てアンケートを作成し集計した  
(苦労したこと, 悩んだこと)

③健康推進課の保健師さん・子育て支援課の  
保健師さん・「サポートあい」の責任者の方に  
お話を伺つた

三週間の臨地実習に行った。  
そこで心の寄り添いの大切さや、不安や悩みを傾聴する大切さの学びから両親を精神的に支えたいと思ひ活動に移した。

**活動①**

・高校にかかる一年間の費用  
公立 約46万 私立 約104万

・大学にかかる一年間の費用  
公立 約82万 私立 約80万  
私立 約218万

**活動②**

・子育てアンケートの集計結果としてお母さんの苦労したこと, 悩んだことでも多かったのが子供への死方についてだった

**活動③**

・事前に考えておいた質問に答えてもらった  
・「サポートあい」という組織について詳しく教えていただいた  
・実際の様子を見せていただいた  
・私たちが力になれると考えた企画を提案した

**【提案させていただいた企画書】**

| お母さん対象            | 子供対象      |
|-------------------|-----------|
| 妊娠中のエピソードを聞かせてもらう | 洗濯物を干す/畳む |
| ハンドマッサージ          | 食器を洗う     |
| ドクターフィッシュ         | 靴磨き       |
| お母さん同士のトーク        | 子供と遊ぶ     |
| お買い物              |           |

「サポートあい」とは真庭の子供が元気に笑つて過ごすことを目標に活動している組織である。この組織のことは論文にもなっており真庭を飛び越え評価されている。

**【今後の方向性】**

提案した企画を実践に移したいが、  
TR内では時間の都合上厳しい

↓

「サポートあい」を広めていくことから始めてみる

- ・小児の授業で発達段階を学ぶ際に利用し広めていく
- ・在宅看護や老年看護で関わる家族の方や知人が困っている時にサポートあいがあると伝える
- ・ポスターやチラシの制作をする

↓

**より多くの人に見てもらいたい知ってもらおう！！**

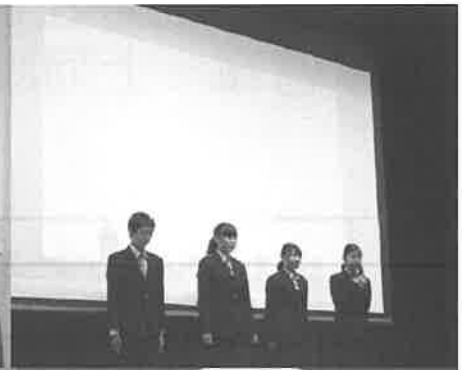
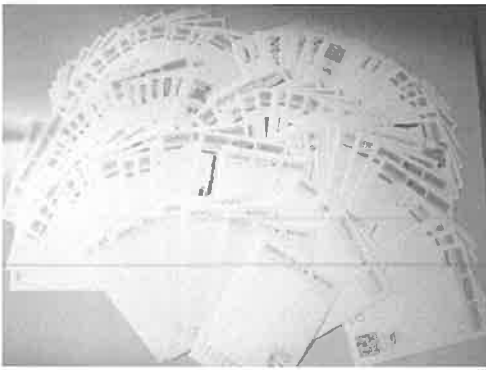
今後の方向性として、夢のある子育て支援をしている「サポートあい」という場所の存在を広めること。また妊娠中のお話を聞かせてもらうという企画も実施してみたい。

**【まとめ】**

子育てを支えたいという思ひから私たちにできる支援や企画を考えたいこと...

- ・お母さんがどれだけ苦労して私たちを育ててくれたのかを再確認した
- ・真庭市に夢のある子育て支援をしているシステムがあることを知った
- ・自分たちでどのようなボランティア活動ができるのかを考えやすくなった
- ⇒まずは、支援を必要としている人にこのシステムがあることを伝える
- ・子育ては助け合うことで明るい家庭を築いていけるのではないかと考えた
- ・私達自身の将来にも繋がっていくと感じた

私たちはこの活動を通し、今ある素晴らしい資源を皆で子育てができるよう繋ぎ、この街で夢のある子育てを支援する第1歩になると思つた。



# 国際・文化 チャンネル



# 多文化共生を目指して

池永智章 上河聡太 丸山魁斗 中山琉希

## 選択したSDGsの課題と原因

### 課題

訪日外国人に対する日本人の不理解

### 原因

文化の違いをなかなか認められず、知識も不足しているから



JAPAN SDGs Action Platform  
(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>)

## 活動目的

日本を訪れる外国人を少しでも快く  
迎え入れるために、様々な対策を  
考える

ニュースなどで訪日外国人が文化の違いで困っている状況を知り、このSDGsの目標に決定した。

まず初めに実際に訪日外国人がどのようなことに困っているのか調べた。その結果、温泉やトイレの利用、他にも会話などで困っていることが分かった。

## 訪日外国人から見た日本の問題点

1. 温泉などの施設に入れないことがある
  - ・以前温泉に行ったとき、タトゥーが原因で温泉に入れなかったことがある
2. トイレの利用
  - ・洋式トイレは流し方がわからない
  - ・和式トイレだと座る向きや使い方がわからない
3. 外国人の日本での会話
  - ・日本人の「本音と建て前」

インタビュー (https://hibocare.jp/media/news/1653)

## 活動成果

- ▶ 湯原温泉に行き実際に温泉を体験した
- ▶ 観光案内所で話を伺い、訪問客の状況を聞いた（交通の便、国籍...）
- ▶ すべての場合においてタトゥーが禁止されているわけではない

トイレに関しては「ボタンが多すぎる」「和式トイレが不清潔なイメージがある」、会話では「本音と建前の文化が外国にはないため理解できない」という意見があった。その中でも特にタトゥーに着目して問題を解決しようと思った。

湯原温泉の利用状況を調査しに行った。アジア圏の観光客が多く、注意書きなどは中国語や韓国語で書かれていることが分かった。一部ではあるがタトゥーの人でも温泉に入れることがある。

## 今後の活動

- ▶ タトゥーに対する理解を地域の人にも深めてもらえるようなポスターを作成する
- ▶ 温泉以外のことで困っていることがないか外国人に直接インタビューをし、それを元に自分たちにできることがポスターの他にもないか考える

## まとめ

訪日外国人に対する日本人の理解があれば・・・  
→ 差別や格差の解消にも繋がる



JAPAN SDGs Action Platform  
(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>)


この活動で得た知識をもとに地域の人にタトゥーに対する理解を深めてもらう活動などをしていきたい。

この活動を通して様々な文化の理解を深め、広めることで差別や格差をなくしていきたいと思う。

# 全ての人に教育を～私たちにできること～

坂根佑菜 本多礼緒奈 森本真子 宮本妃菜

**選んだSDGsの目標**



課題: 誰もが平等に教育を受けることができていない

原因: 国ごとの教育制度や環境、歴史的背景

朝日新聞デジタル、「2030SDGsで変える」<https://sdgs.edutown.jp/>

**今回調べた国**

- ・中東アジア … シリア
- ・ヨーロッパ州 … フィンランド
- ・北アメリカ州 … アメリカ
- ・アジア州 … 韓国

**【分かったこと】**  
 ①世界の教育状況は大幅に格差がある

いま世界は誰もが平等に教育を受けられない状況にあり、その原因として国ごとの教育制度や環境、歴史などが考えられる。


4つの国の教育制度を日本と比べるとシリアでは紛争があったり、アメリカではホームレス学生がいたりして、世界の教育状況には大幅な格差があることが分かった。

“多くの子供たちに平等に教育を受けてもらう為に”

日本ユネスコ協会連盟「書き損じハガキキャンペーン」とは？

- ・住所を書き間違えたはがき
- ・古くて使えないはがき

⇒ **寄付に変わる**




日本ユネスコ協会連盟「書き損じはがきキャンペーン」  
<https://www.unesco.or.jp/wakibonji/hakitsunji/>

合計 **283**枚

11枚で一人が一月学校に通えるようになる

↓ つまり…

今回の募集で  
**約 25**人が通える！



多くの子供たちに平等な教育を受けてもらう方法を考えた結果、ユネスコ主催の「書き損じはがきキャンペーン」に参加し、校内でハガキを集めることにした。

集まったハガキをユネスコに送ったことで、募金活動だけでなく、自分たちにもできる活動があるのだと思い達成感を得た。

1つの目標達成が…




**繋がる！！**

行啓書立法人スマイル、「10667-14 質の高い教育をみんなに」はなぜ必要なのか？  
<https://www.hakuhinsei.com/archives/2307>

**活動を通して**

“身近なものが支援に繋がる”

「発信」していくことが最も気軽に  
 取り組める支援！！



日本ユネスコ協会連盟「書き損じはがきキャンペーン」  
<https://www.unesco.or.jp/wakibonji/hakitsunji/>

一つの目標が達成できれば、ほかの目標を達成できる可能性もある。目標同士はつながり合っていることを周囲に発信していく必要がある。

そのために私たちがおこなった活動をより多くの人に発信し、知ってもらうことが大切だと感じた。

# 高齢者の健康と福祉～認知症～

竹原優羽 瀧本蒼 奥田季希 土山夢希望

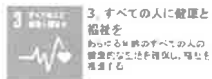
## 選択したSDGsの課題と原因

～課題～

認知症患者が増えていること

～原因～

認知症に対しての知識がなく予防ができていない人が多いため



イマココラボ, <https://imacocollabo.or.jp/about-sdgs/>

## 目的

健康や福祉について知識をもってもらうことで、高齢社会における課題発見・解決につなげる。

私たちは高齢者の健康と福祉について調べた。そこで認知症患者が増えてきた問題に対してなにか対策できないかと思い活動した。

課題を発見し、解決することによって一人でも多くの認知症患者を減らし、認知症患者ではない人も日常生活を見直してもらいたいと考えた。

## 活動内容

DHA・EPAたっぷりの魚料理を作る

## イワシとれんこんのミニハンバーグ



感想

- ・魚の生臭さが消え、食べやすかった
- ・魚が苦手な子どもでも食べられそう
- ・魚の皮は剥かなくてもいいが、剥いたほうが食べやすい
- ・ケチャップや大根おろしを付けるとより美味しく食べれる

認知症予防にはDHA・EPAが効果的だということ調べた。そこでDHA・EPAをたくさん含む食べ物の中でも最も認知症予防に効果のある青魚に注目し、次の料理を作った。

今回はイワシとれんこんのミニハンバーグを作ってみた。DHAは1,119mg、EPAは1,020mg入っている。

## 今後の課題

実際に作ってみたが、作るだけで終わってしまったので今後の課題としては、活動内容を知ってもらって認知症予防に努めてもらうように考えて活動する。

## まとめ

人にとって食べること・動くことは認知症予防と生命活動に欠かせないことがわかり、高齢社会における課題発見・解決に努めることが大切だと感じた。

今回は作るだけで終わったので、レシピの配布やポスター作りなどをして多くの人に知ってもらう。

認知症にならないために日常生活を見直し、身近な食材で認知症予防の料理を作ってみませんか？





# 美容・ファッション チャンネル





# 古着から防災へ ～持続可能な衣生活を目指して～

青木芽衣 岡田菜摘 谷本未鈴 北畑光菜実

## I テーマ設定の理由


### 循環型社会と3R

1 SDGs目標12「つくる責任・つかう責任」について考える

2 いらなくなった衣服の活用

3 防災につなげる

持続可能な衣生活を目指す



資源の無駄使いは環境破壊、生産国の貧困につながる。そこで衣類の入手や処分に至るまで、資源や環境に配慮した持続可能な衣生活をしなければいけない。このことからSDGs目標12について研究することにした。


## 1 古着に関するアンケート調査

### 結果

半分以上の人の家に古着がある  
古着を廃棄している人が多い

↓

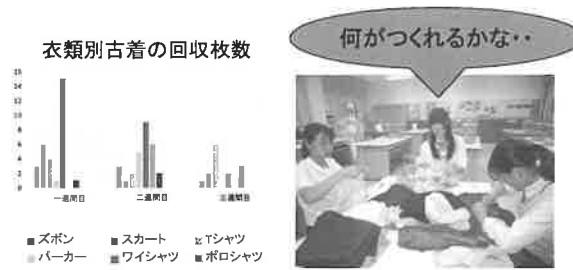
**古着を回収！  
防災の視点でリメイク！**



本校の生徒・職員を対象にアンケートを行なった結果、着なくなった衣類を廃棄処分する人が46%で半数を占めていた。そこで校内で古着を回収するために、リサイクルBOXを作成し設置した

## 衣類別古着の回収枚数

何ができるかな..



■ズボン ■スカート △Tシャツ  
■パーカー ■ワイシャツ ■ポロシャツ

防災グッズとして製作

古着を72枚回収した。そこで何ができるか。防災と古着をどうつなげてリメイクするのか考えた。その結果、本校の備蓄倉庫に保管できるものの視点で考え、防災グッズを製作することとした。



ブラウスから赤ちゃん用おむつ。Tシャツ、Gパンから非常用持ち出し袋。トレーナーから防災ずきんが完成した。製作中、手作りの良さと作り方への関心が高まり楽しかった。廃棄物を減らすことができた。

## まとめ


### わかったこと

- 資源の活用性と計画的な衣類の購入の必要性
- 古着で防災グッズが作れる
- 衣服のリメイクを通して衣生活を見直した

### 考えたこと

- 消費者として「つかう責任」の重大さ
- どのように作られているか
- 何をかうか どのようにかうか

備蓄倉庫に設置




製作した防災グッズは、備蓄倉庫に保管した。緊急電話は、非常用持ち出し袋に入れて事務室入り口に設置した。古着廃棄物の活用を通して、消費者として「つかう責任」の重大さに気づいた。

## まとめと今後の課題

### 私たちにできること

- ① 不必要なものは買わない
- ② 3Rを考えた行動をする
- ③ フェアトレードの商品を買う
- ④ 環境に配慮した商品を買う
- ⑤ 障がい者の支援につながる商品を買う

**エシカル消費をめざす**  
人や社会・環境に配慮した消費行動。



私たちは消費者として計画的な購入、不必要なものは買わない。人や社会・環境に配慮したエシカル消費をめざしたい。今後はこの活動を家庭クラブで引き継ぎ、リサイクル意識と防災意識を高めたい。



# 働きやすい職場とは ～安心・安全な労働環境を目指して～

林大輔 河野智久 森岡拓巳 渡辺貴行 森下力  
武井妃奈乃 大澤陽

**SDGsの課題**

高校卒業後、就職を考えている人が集まっているグループ

↓

**安心、安全な労働環境の実現に向けて探求**

8 働きがいも  
経済成長も

8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。

8.8 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

**活動内容**

- ・日本で起きている労働問題の調査 → 新聞調査
- ・地元企業のインタビュー → 北房振興局
- ・地元の労働環境の調査 → アンケート調査

↓

**私たちにできることは？**

私たちは高校卒業後、就職を考えている人が集まっているグループなので、SDGsの『8 働きがいも・経済成長も』に興味を持ち、安心・安全な労働環境の実現に向けて探求活動を始めた。

新聞調査の結果、2019年1月から6月までの半年間で労働問題に関する記事は77件と多く、それらは、障がい者雇用・人手不足・ハラスメント問題・賃金・女性雇用・外国人労働者・労働時間の7つに分けられると考えた。

**インタビューとアンケートのまとめ**

- ・一定数の割合で働きにくいと感じている人がいる
- ・休暇などの制度は整ってきているが、人手不足や人間関係などで制度が使いにくいと感じている人がいる
- ・障がい者の雇用はまだあまり進んでいない
- ・退職後、再雇用の形で働き続ける人が増えている

- ・職場の環境だけではなく、家庭環境も整っていないと安心して働けない（男性の家事・育児の参加）

**働きやすい職場の条件**

- ① 様々な支援制度の導入  
(各種休暇制度、個人に合わせた勤務形態、福利厚生等)
- ② ①の制度を利用しやすい環境づくり  
(職場の雰囲気、コミュニケーション、周囲の理解)
- ③ 家庭での家事・育児の分担

インタビューとアンケート調査の結果、色々な意見が出てきました。それらをまとめると、職場の環境だけではなく、家庭環境も整っていないと安心して働けないということが分かった。

調査の結果をもとに、働きやすい職場の条件を考えてみました。職場の制度や環境だけでなく、家庭での家事・育児の分担をし、家庭と仕事の両立が必要だと考えた。

**私たちにできること**

真庭高校生が  
インターンシップや企業訪問

→

どのような制度があるか  
職場の雰囲気を調査

↓

会社の人に見てもらい  
制度の見直しや職場の環境を  
間接的に変えてもらう

←

それらを「食べログ」の  
ようにレビューできる  
HPの開設、書き込み  
☆☆☆☆☆

←

就職を考えている高校生にも  
見てもらい就職活動に活かして  
もらう

**実現に向けての今後の課題**

- ・就職先を考える際に、給料や休日の数だけでなく、どのような制度があるか必ずチェックする
- ・入社後、誰とでも積極的に話ができるようコミュニケーション能力を高め、率先して働きやすい職場を実現する
- ・高校生である私たちが親をサポートし、負担が減るように協力する
- ・結婚して、家庭を持った際、家事や育児を分担しながら仕事と家庭を両立できるようにしていく

多くの会社の方に見てもらうために、HPの情報を発信・拡散する方法を考え、実践したい。また、反響が大きくなれば、地元だけでなく全国的に展開できるようなHPにしたい。

これらの活動で学んだことを、日々の生活や今後働き始めたときに活かしていきたい。働きやすい職場を実現していきたい。

# 水害に備えて ～みんなが安全に行動できるために～

大橋勝利 杉山駿弥 鷲須友樹 横山航大 室川大和

## SDGsの原因と課題



- ・西日本豪雨で地元真庭市も被害を受けた人がある。
- ・災害が自分たちの身近に迫っていると感じた。
- ・災害について知り、災害時の対策を考える必要がある。

数ある自然災害の中でもSDGsの13番目の「気候変動に具体的な対策を」の自然災害に絞り昨年あった西日本豪雨に関連づけて調べることにした。

## 活動目的

- ・水害についての知識を広め、理解を深めてもらう。
- ・地域に呼びかけをすることで被害を抑える。
- ・真庭市の若者の災害に対する認知率を上げる。

地元真庭でも西日本豪雨で被害を受けて身近に感じ、他人事でないと思い活動を始めた。

## 活動内容

- ・真庭市の行政へのインタビュー
- ・地域の方へのアンケートの実施
- ・真庭高校生へのアンケートの実施

行政へのインタビューは自衛隊、消防、市役所で行い、どの行政も「自助、公助、共助」の大切さを言われた。しかし、地域の方や真庭高校生のアンケート結果では「自助・公助・共助」の認知度は低かった。

## 真庭高校生へのアンケートの調査結果・考察

- ・高校生の災害に関する関心が低い。
- ・災害が起きた時の備えをしている人が少ない。
- ・避難場所を知っている人は多い。
- ・自分たちは災害に合わないと油断している人が多い。
- ・災害の備えの具体的な物がわからない。

高校生の災害に対する関心の低さや非常食などの備えの低さがよくわかった。

## 今後の活動

- ・広報真庭に若い人たち向けの水害時にどのような行動をとればいいのかという記事を作成し掲載していただきたい。
- ・地域に災害についての情報を広め地域の方々の災害に対する意識を高める活動を続けていく。

真庭高校にはこち防(こちら市民課防災係)があるので生徒の認知度をこち防と連携しながら上げていきたい。

## まとめ

- ・地域の災害への意識が自分たちの思ったより低かったので地域の災害への意識を高めることが必要だと思った。
- ・自分たちができることは地域の方が災害が起きた時に地域で避難できるように情報を発信していくことだ。

高齢者が多い地域では、災害時には若者の力が必要になる。その時、素早く行動ができるよう若者の認知度を上げていきたい。

# 在宅看護の課題について

竹内豊太郎 桑木ひな子 小林なずな 東院美幸 森下沙耶樺

## SDGsの課題と原因

### 課題

在宅看護を利用できない現状がある

### 原因

- ・日本人口の高齢化
- ・総人口の約4人に1人が65歳以上
- ・医療スタッフの減少



私達は在宅看護を利用できない現状があることを知り、真庭市の在宅看護の現状を調べることになりました。

## 活動の目的

- ・真庭市の在宅看護の課題を調べる
- ・在宅看護を受けることによってどのようなメリットやデメリットがあるのかを調べる

### 活動内容

- ・文献調査（インターネット検索）
- ・インタビュー調査

## 在宅看護のメリット

- ・住み慣れた自宅などで生活を続けながら療養ができる。
- ・かかりつけの医師等が直接自宅に訪問するので療養上の相談よりも具体的なケアができる。
- ・1対1で本人の思いに寄り添ってお世話をするので利用者が安心して任せられる。

## 在宅看護のデメリット

家族の介護負担が心配される。

⇒介護サービスを利用するなどして負担を軽くする方法もある。だが、1人暮らしの場合には在宅看護の限界もある。

## 在宅看護の重要性

「家に帰りたい、連れて帰りたい」などの思いにできるだけ寄り添った看護

利用者本人がどう生活したいか、そのためになにをするかを考える必要がある。

## 調査でわかったこと

- ・在宅看護を利用する人が年々増加しているので看護師の受け入れ態勢を改める
- ・在宅看護ができる病院を増やす。
- ・一つの病院での受け入れる患者の人数を増やす。
- ・在宅看護を利用する上で、家族の協力が不可欠であり、家族に対して看護師のアドバイスが重要である。

## インタビュー調査

落合病院訪問看護ステーション  
網島幸枝さんの話を聞いて

## 私たちができること

- ・在宅看護を利用する上で、家族の協力が不可欠であることを理解してもらえるポスターを作成する。
- ・患者の家族にも在宅看護のケアを知ってもらうため、私たちが学校で学んだ知識をもとに、ケアに関するパンフレットを作る。

在宅看護を利用する上で、家族の協力が不可欠であることがわかり、私たちにできることを考えました。

## まとめ

現在の在宅看護は看護師、スタッフの減少により受け入れが厳しくなっていることを知りました。また、幅広い年齢層の方が利用しているケアが出来なくなっています。

この現状を踏まえた上で、在宅看護ができる病院と在宅看護師を増やすことが大事だと考える。

今回のTRで学んだことを少しでも改善できるようにポスターを作って、在宅看護の現状を伝えていきたいです。



# 第3学年



矢吹・井上・下山・鳥越  
竹原・難波・青野・水本

# 令和元年度 3年生 真庭トライ&レポート(TR) 年間活動計画

| No. | 月 日    | プロセス                  | 評価                   | 内 容  | 形 態             | 活動場所  | 担当者  |
|-----|--------|-----------------------|----------------------|--|-----------------|---|------|
| 1   | 4月15日  | (1)テーマ導入              | 評価<br>I              | 真庭トライ&レポート ガイダンスとプロジェクト希望調査  | 3年<br>普通科<br>全体 | 会議室   | 矢吹   |
| 2   | 4月22日  | (2)テーマ設定<br>(3)探究活動計画 |                      | テーマ設定①(志望理由)手帳を使って3年間の活動を洗い出す①(ブレンストミグ)  |                 |   |      |
| 3   | 5月27日  | (4)探究活動               | 評価<br>II<br>III      | ■五感を通じた実体験を積み重ねる。<br><br>進路に関する情報を「自分の目で見、耳で聞く、手で触れる、足で訪れる」<br><br>・各プロジェクトで外部講師招聘可<br>・図書館・インターネットでの調べ学習<br>・校外インタビュー<br>・アンケート(生徒・教員・保護者・地域)<br>・実験・実習・制作<br>・カメラ・ビデオ活用・パソコン<br>・調査(同じOCに複数回,異なるOCで比較分析) | 各プロジェクト         | 各プロジェクト<br>下記参照<br><br>PC使用<br>電算室<br>(1年視聴覚) | 各担当者 |
| 4   | 6月3日   |                       |                      |  |                 |   |      |
| 5   | 6月10日  |                       |                      |  |                 |   |      |
| 6   | 6月17日  |                       |                      |  |                 |   |      |
| 7   | 6月24日  |                       |                      |  |                 |   |      |
| 8   | 7月8日   |                       |                      |  |                 |   |      |
| 9   | 9月30日  |                       |                      |  |                 |   |      |
| 10  | 10月7日  | (5)まとめ<br>(6)発表       | 評価<br>I<br>II<br>III | ■まとめ パワーポイント作成<br>・スライド6枚 A4タテ   | 各クラス            | 各HR   | HR担任 |
| 11  | 10月28日 |                       |                      |  |                 |   |      |
| 12  | 11月11日 |                       |                      |  |                 |   |      |
| 13  | 11月25日 | (7)フィードバック<br>・総括     | 評価<br>I<br>II<br>III | ■TR評価アンケート<br>■『後輩たちへのメッセージ』記入   | 各クラス            | 各HR   | HR担任 |
| 14  | 12月9日  |                       |                      |  |                 |   |      |

※3年団:鳥越・竹原・井上・難波・矢吹・水本・青野・下山

■形態:学年単位とし、3年間を通して段階的に発展していく。3年間の見直しをもって、『総学TR』を計画する。  
 【第1学年】“HOW TO LEARN”(ものごとを調べ、まとめる方法を学ぶ)課題別グループ学習[興味・関心を広げる]  
 【第2学年】“WHAT TO LEARN”(自分で課題を設定し、調べる)進路別課題学習・看護臨床実習における看護研究[知識・理解を深める]  
 【第3学年】“HOW TO LIVE”(進路実現・卒業後の生活のために学ぶ)進路別課題学習[具体的な自身の進路実現]

■月曜日6限。12月までで終了。2月7日成果発表会は1・2年生のみ。

■探究活動における7つのプロセス: (1)テーマ導入, (2)テーマ設定, (3)探究活動計画, (4)探究活動, (5)まとめ, (6)発表, (7)総括・フィードバック

■評価:上記7つのプロセスを3つ(1, 2, 3/4/5, 6, 7)に分けて、それぞれ担当教員がABCで評価する。出欠はクラス担任が管理する

■3年生(F):『自分の進路』という柱から【テーマ設定】を行う。※体験の質・量を向上。『地域とつながる』視点。  
 1年『しめ山プロジェクト』, 2年『真庭発見』  
 プロジェクト内のグループ編成については、個人・グループどちらでもOK。  
 例)志望大学の公開講座に参加→課題の発見→テーマ設定→地域とつながる探究活動→進路に結びつける

|   |              |                      |
|---|--------------|----------------------|
| <p>■① 国公立大学を中心とした入試対策チャンネル<br/>                     (国公立4年大AO推薦を目指す生徒+公立短大AO推薦を目指す生徒, CT利用の推薦も含む。)<br/>                     グループではなく、個人でテーマ設定(1・2年時に探求したテーマを継続する)<br/>                     各自狙いとするAO・推薦入試を挙げ、それにに向けた取り組み<br/>                     調査研究プレゼン→金曜7限小論文トレーニング</p>                                | 電算室<br>3-2HR | 鳥越<br>竹原<br>井上<br>難波 |
| <p>■② 私立大学・専門学校への入試対策チャンネル<br/>                     (私大・短大・専門 進学希望者) ※テーマ設定については、個人・グループいずれも可とする。<br/>                     ※GW・夏休みでのオープンキャンパスに向けた取り組み(予約・注意事項・面接)<br/>                     ※受験校決定・決定後には徹底研究(入試の内容に応じた学習・活動に取り組む。)<br/>                     ※合格後には、プレゼンテーション・PC活用講座 (進学後に必要な分野の学習に取り組む。)</p> | 講義室<br>3-1HR | 水本<br>矢吹             |
| <p>■③ 就職を主とした対策チャンネル<br/>                     (就職希望者) 求人票の見方, SPI2攻略, 適性検査・一般常識トレーニング, 面接,<br/>                     真庭地域産業調べ(真庭高校や落合高校の歴史), 資格調べ<br/>                     内定獲得後は、社会人マナー講座(ネクタイ・化粧), 礼状, 年賀状など。</p>  | 進路<br>資料室    | 下山<br>青野             |

※活動場所【HR】【図書室】【社会科教室】【電算室PC】【4-1】【4-2】

※鳥取環境大学環境論文, 愛媛大学社会共創コンテスト, 福知山田舎力甲子園, 自分ゴト学会, プレゼンテーション学会など

※赤松校長・山崎副校長・吉原教頭にも就職面接など指導サポートをしていただく

※森下先生にも可能な範囲で医療看護系志望生徒の指導を依頼する





